

福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事

図面リスト					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 00	表紙・図面リスト	A - 25	矩計図-1 (EV棟)	S - 01	構造設計標準仕様
A - 01	建築工事特記仕様書 5-1	A - 26	矩計図-2 (渡り廊下棟)	S - 02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)
A - 02	建築工事特記仕様書 5-2	A - 27	矩計図-3 (EV棟)	S - 03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)
A - 03	建築工事特記仕様書 5-3	A - 28	矩計図-4 (EV棟)	S - 04	鉄骨構造標準図 (1)
A - 04	建築工事特記仕様書 5-4	A - 29	矩計図-5 (渡り廊下棟)	S - 05	鉄骨構造標準図 (2)
A - 05	建築工事特記仕様書 5-5	A - 30	17号棟1階バリアフリー化部分断面図-1	S - 06	杭伏図
A - 06	建築概要・付近見取図・工事区分表・アセスメント特記仕様書	A - 31	17号棟1階バリアフリー化部分断面図-2	S - 07	基礎伏図
A - 07	配置図・面積表・仮設計画図	A - 32	建具配置図	S - 08	基礎リスト (1)
A - 08	建物求積図	A - 33	建具表	S - 09	基礎リスト (2)
A - 09	仕上表	A - 34	展開図-1	S - 10	基礎リスト (3)、杭頭補強リスト
A - 10	1 階現況平面図	A - 35	展開図-2・壁リスト	S - 11	地中梁リスト (1)、耐圧版リスト
A - 11	2、3 階現況平面図	A - 36	部分詳細図-1	S - 12	地中梁リスト (2)
A - 12	4 階現況平面図	A - 37	部分詳細図-2	S - 13	1 階柱 1 階梁床伏図
A - 13	17号棟、25号棟現況断面図	A - 38	部分詳細図-3	S - 14	1 階柱 2 階梁床伏図
A - 14	1 階平面図 (増築部分)	A - 39	部分詳細図-4	S - 15	2 階柱 3 階梁床伏図
A - 15	1 階平面図 (17号棟既存部分)	A - 40	部分詳細図-5	S - 16	3 階柱 4 階梁床伏図
A - 16	2、3 階平面図 (増築部分)	A - 41	外構図-1	S - 17	4 階柱 R階梁床伏図
A - 17	4 階平面図 (増築部分)	A - 42	外構図-2	S - 18	各通り軸組図 (1)
A - 18	屋根伏図 (増築部分)	A - 43	外構図-3	S - 19	各通り軸組図 (2)
A - 19	1 階天井伏図 (増築部分)	A - 44	エレベーター図-1	S - 20	各通り軸組図 (3)
A - 20	1 階天井伏図 (17号棟既存部分)	A - 45	エレベーター図-2	S - 21	各通り軸組図 (4)
A - 21	2、3 階天井伏図 (増築部分)	A - 46	エレベーター図-3	S - 22	鉄骨部材リスト (EV棟)
A - 22	4 階天井伏図 (増築部分)	A - 47	エレベーター図-4	S - 23	台柱・注脚リスト
A - 23	立面図-1 (増築部分)	A - 48	エレベーター図-5	S - 24	鉄骨部材リスト (渡り廊下棟)
A - 24	立面図-2 (増築部分)			S - 25	注脚工法設計・施工標準図
				S - 26	デッキ合成スラブ 設計・施工標準仕様書
				S - 27	X5通り鉄骨架構詳細図 (1)
				S - 28	X5通り鉄骨架構詳細図 (2)
				S - 29	Y2通り鉄骨架構詳細図 (1)
				S - 30	Y2通り鉄骨架構詳細図 (2)

建 築 工 事 特 記 仕 様 書		特 記 事 項	
Ⅰ.工 事 概 要		Ⅱ.建 築 工 事 仕 様	
1.工 事 名 称 福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事		○ 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)、「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)及び「公共建築木造工事標準仕様書」(令和4年版)による。	
2.工 事 場 所 鹿児島市平川町6004番地		○ 特記事項の適用は次のとおりとする。	
3.工 事 種 目 (・ 新 築 ○ 増 築 ○ 改 築 ・ 改 修 ・ 其 他)		1)項目は ○ 印の付いたものを適用する。	
4.工 事 期 間 令和 8 年 3 月 6 日まで		2)特記事項は ◎ 印の付いたものを適用する。	
		○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。	
		○ 印と ◎ の付いた場合は、共に適用する。	
		3)特記事項に記載の() 内表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の当該項目、当該図、又は当該表を示す。	
		4)形状寸法の単位は、特記なきかぎりミリメートルとする。	
Ⅲ.一 般 事 項		○ 1. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて	
適用		両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例] 産業廃棄物収集運搬車 ←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字	
適用		なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬される場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。	
適用		○ 15. 内装仕上に使用する材料等の選定について	
適用		1)ホルムアルデヒドを発生する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等	
適用		2)クロルピリホスについて クロルピリホスを添加しないこと。クロルピリホスを添加した材料でないこと。	
適用		3)建築材料の種別、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 ア)施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 イ)材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ウ)工事終了後、内装仕上部分を写した写真を提出すること。	
適用		※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。	
適用		○ 16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合	
適用		1)現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」として取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ア)契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 イ)工事請負契約書第20条より工事が一時的に中止されている期間 ウ)橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 エ)前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間	
適用		2)発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。	
適用		○ 17. 現場代理人の兼任について	
適用		1)現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の ア)から オ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。 なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、イ)、ウ)、オ)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。 ア)兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円未満であること。 イ)発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ウ)兼任する工事は、概ね1時間以内で移動できる範囲 エ)発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 オ)兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。	
適用		2)手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。	
適用		3)受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。	
適用		○ 18. 低入札価格調査に基づく措置について	
適用		低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。	
適用		1)施工体制の強化 ア)低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。))には、専任の主任技術者等を配置すること。 イ)調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に關し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 a)65点未満の工事成績評定を通知された場合 b)工事請負契約書に基づき修繕又は損害賠償を請求された場合 c)品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d)自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合	
適用		2)監督体制の強化 ア)受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 イ)受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。	
適用		○ 19. 「快速トイレ」の試行について	
適用		1)本工事は、建設現場における「快速トイレ」設置の試行対象工事である。	
適用		2)受注者は積極的に快速トイレの試行に取り組むこと。	
適用		3)快速トイレを設置する場合は、「建設現場における「快速トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。	
適用		○ 20. 枠組足場の設置について	
適用		枠組足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)によるものとする。 なお、これにより難い場合は、監督員と協議の上、決定することとする。	
適用		○ 21. 交通誘導員について	
適用		本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。 また、受注者は工事中事前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。	
適用		22. 地下工事について	
適用		地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をする。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。 建設場所等の事前調査等は事前に打合せを行い漏漏のないようにすること。	
適用		○ 23. 杭打ち・地盤改良工事について	
適用		地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に透水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。	
適用		○ 24. 周辺住民への説明等について	
適用		工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないよう十分に注意すること。 (近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。)	
適用		○ 25. 本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。	
適用		○ 26. ヤンバルサカヤスデのまん延防止対策について	
適用		ヤンバルサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。)	
適用		1)原則、土・樹木等は、発生地からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。	
適用		2)工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。	
適用		3)やむを得ず、土・樹木等を発生地から搬出する場合は、薬剤処理・蒸気蒸発、搬出を行うこと。	
適用		4)発生地地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。	
適用		5)未発生地地区においても、発生地地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。	
適用		○ 27. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公害災害防止対策要領等その他関係法令に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。	
適用		○ 28. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。	
適用		○ 29. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。	
適用		○ 30. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。	
適用		○ 31. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。	
適用		○ 32. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとする。	
適用		○ 33. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。	
適用		○ 34. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。	
適用		○ 35. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。	
適用		○ 36. 暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。	
適用		○ 37. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。	
適用		○ 38. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(建物の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。 また、工事後後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。	
適用		39. 本工事に伴いスラブに設置する墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。	
適用		○ 40. 工事完成写真の仕様について	
適用		1)インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとする。	
適用		2)カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理を行わないこと。	
適用		3)完成検査若しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	
適用		○ 41. 再生資材(再生クッシャーラン等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。	
適用		○ 42. 法定外労災保険の付保等について	
適用		1)法定外の労災保険の付保 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。	
適用		2)墜落制止用具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用具の使用を講じること。	
適用		○ 43. 営繕工事における週休2日試行工事について	
適用		1)本工事は、営繕工事における週休2日試行工事の対象である。	
適用		2)試行に当たっては、「営繕工事における週休2日試行工事実施要領(令和6年5月7日施行)(以下、「実施要領」という。))」に基づき行うものとする。なお、実施要領は鹿児島市ホームページから入手できる。	
適用		○ 44. 電子納品	
適用		1)本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン(案)【建築・設備編】(以下、ガイドラインという。))」に定める基準に基づいて作成した電子データを目指す。	
適用		2)ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD-R又はDVD-R)で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。	
適用		○ 45. 架空線の防護措置について	
適用		架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。	
適用		○ 46. 施工体制点検等への協力	
適用		請負代金額が4,500万円(建築一式工事は9,000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,500万円(建築一式工事は9,000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施する中で、受注者はこれに協力すること。	
適用		○ 47. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出	
適用		工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。	
適用		○ 48. 監理技術者等の途中交代	
適用		監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1)受注者の真にやむを得ない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2)橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点 3)ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及ぶ場合 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。	
適用		○ 49. 監理技術者等の途中交代の試行について	
適用		本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1)工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間中は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2)受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。	
適用		○ 50. 公共工事における現場一斉閉鎖の実施について	
適用		受注者は、公共工事における現場一斉閉鎖の実施に協力するものとする。なお、現場閉鎖の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているので確認のこと。)	
適用		有村和浩建築設計事務所	
適用		福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事	
適用		一級建築士 第 258086 号	
適用		建築工事特記仕様書 5-1	
適用		有村和浩	
適用		鹿児島市建設局建築部建築課	
適用		A-1	
適用		Ver.R70401	

[illegible]

章		項		目		特記事項		章		項		目		特記事項																																														
7 鉄骨工事	○ 4. 溶 接 接 合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・レ形 ・K形 ・() (7. 6. 4) 余盛り高さ ※ 鉄骨精度検査基準による ・() (7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 () (7. 6. 12) 溶接部の試験 ※ 外観試験 (a)() (b)() ※ 超音波探傷試験 ※行う AOQL(工場溶接) ※ 4.0% ・2.5% 検査水準 ※第6水準 ・()						11 タイル工事	○ 1. 共 通 事 項	伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁(※ 表11. 1. 1 ・ 図示による) 屋内() 寸法 ※ 9. 7. 3 ・()						12 木工工事	2. 防 腐 ・ 防 蟻 ・ 防 虫 処 理	しろあり防除工事 鹿児島県土木部建築課監修 鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島県支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする) 土壌処理 ※ 行う(範囲:) ・ 行わない 木材処理 ※ 行う(範囲: 各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く) ・ 行わない 防腐・防蟻処理 ・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12. 3. 1) 防虫処理 ・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 (12. 3. 2) 土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。 木材処理のみ行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。																																										
	○ 5. 錆 止 め 塗 装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲() (7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲() 種別 鋼製スリーブ内面(※ A種 ・ B種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面 () (7. 8. 4)							○ 3. R C造等の内部間仕切軸組及び組	木材 間仕切軸組に用いる製材 ・ 杉 ・ 松 ・() 床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし根太) ・ ひのき ・ 保存処理木材 ・() 床組に用いる製材(上記以外) ・ 杉 ・ 松 ・()																																																		
	○ 6. 耐 火 被 覆	種類 (図示) (7. 9. 2) 材料 (図示) 工法 (図示) 耐火性能(図示) (7. 9. 3)							4. 窓、出入口その他	木材 窓、出入口、その他に用いる製材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ ひのき ・() (12. 5. 1) その他 杉 ・()																																																		
	○ 7. 工 事 現 場 施 工	建方精度 ※ 鉄骨精度検査基準による ・() (7. 10. 2) アンカーボルト ○ 構造用アンカーボルト 形状(ベースバック仕様による)寸法() (7. 10. 3) ・アンカーフレーム 形状()寸法() ・建方用アンカーボルト 保持及び埋込工法(・ A種 ※ B種 ・ C種) (表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法 工法(※ A種 ・ B種)厚さ() (7. 11. 2)							5. 床 板 張 り	木材 縁甲板、上がりがまちに用いる製材 ※ ひのき ・() ・ 図示による (12. 6. 1)																																																		
8 コンクリートブロック工事	○ 8. 軽 量 形 鋼	ボルト接合 ※ 普通ボルト接合 ・() (7. 11. 2)						12 木工工事	6. 壁及び天井下地	木材 ・ 杉 ・ 松 ・() ・ 図示による (12. 7. 1)																																																		
	○ 9. 溶 融 亜 鉛 め っ き 工	亜鉛めっき (7. 12. 4)(表14. 2. 2) <table><tr><th>亜鉛めっき種別</th><th>材 料</th><th>適 用 部 位</th></tr><tr><td>A 種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>B 種</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>C 種</td><td>最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr></table> 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 高力ボルト接合摩擦面 ○ プラスト処理 ・() (7. 12. 5)							亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類		B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類		C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類		1. 共 通 事 項	※ 公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)5章の規定による。 ※ 建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木標仕(5. 1. 1) 部材寸法、その他 木標仕(5. 2. 2) 柱 : (120×120) @ 950 間柱 : (120×60) @ 455 胴縁 : (13×45) @ 455 木摺 : (13×75) @ 455 天井 吊木受 : (45×120～150) @ 950 吊木 : (45×45) @ 950 野縁受 : (45×45) @ 950 野縁 : (45×45) @ 455 ※ 但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。 構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木標仕(5. 2. 4) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 (※ 図示 ・()) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト (※ 図示 ・()) ・ せん断力を受けるボルト (※ 図示 ・()) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木標仕5章各節の規定による。 ・() ※ 構造金物は2マーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。																																						
	亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位																																																									
	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類																																																										
B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類																																																											
C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類																																																											
1. 補 強 コ ン ク リ ー ト フ ロ ッ ク 造	ブロックの種類 () (8. 2. 2) モジュール呼び寸法() 正味厚さ () 各部の配筋 ※図示による (8. 2. 5) 配筋 (8. 3. 4) <table><tr><th>縦 筋</th><th>横 筋</th><th>開口補強筋(縦横)</th><th>端部補強筋</th></tr><tr><td>D10－400@</td><td>D10－400@</td><td>1－D13</td><td>1－D13</td></tr></table> 壁鉄筋の継手() 定着() 末端部折り曲げ形状() (8. 4. 2) 区分(一般・コーナー、平ハネ、外壁用)厚さ(100)幅(600)長さ(図示) 耐火性能(1時間) (8. 4. 3) 外壁パネル構法 構法の種別:(・ A種 ・ B種)工法()目地幅() 耐火目地材() (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種別:(・ A種 ・ B種)工法()目地幅() (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種別:(・ B種 ・ C種) (8. 5. 4)						縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋	D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13	2. 木 材	※ 公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)5章の規定による。 ※ 建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木標仕(5. 1. 1) 部材寸法、その他 木標仕(5. 2. 2) 柱 : (120×120) @ 950 間柱 : (120×60) @ 455 胴縁 : (13×45) @ 455 木摺 : (13×75) @ 455 天井 吊木受 : (45×120～150) @ 950 吊木 : (45×45) @ 950 野縁受 : (45×45) @ 950 野縁 : (45×45) @ 455 ※ 但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。 構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木標仕(5. 2. 4) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 (※ 図示 ・()) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト (※ 図示 ・()) ・ せん断力を受けるボルト (※ 図示 ・()) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木標仕5章各節の規定による。 ・() ※ 構造金物は2マーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。																																												
縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋																																																									
D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13																																																									
○ 3 A L C パ ネ ル	ブロックの種類 ※ 表8. 3. 1 (8. 3. 2) 配筋 (8. 3. 4) <table><tr><th>縦 筋</th><th>横 筋</th><th>開口補強筋(縦横)</th><th>端部補強筋</th></tr><tr><td>D10－400@</td><td>D10－400@</td><td>1－D13</td><td>1－D13</td></tr></table> 壁鉄筋の継手() 定着() 末端部折り曲げ形状() (8. 4. 2) 区分(一般・コーナー、平ハネ、外壁用)厚さ(100)幅(600)長さ(図示) 耐火性能(1時間) (8. 4. 3) 外壁パネル構法 構法の種別:(・ A種 ・ B種)工法()目地幅() 耐火目地材() (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種別:(・ A種 ・ B種)工法()目地幅() (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種別:(・ B種 ・ C種) (8. 5. 4)						縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋	D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13	3. 接 合 金 物 ・ 接 合 具 等	構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木標仕(5. 2. 4) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 (※ 図示 ・()) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト (※ 図示 ・()) ・ せん断力を受けるボルト (※ 図示 ・()) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木標仕5章各節の規定による。 ・() ※ 構造金物は2マーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。																																												
縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋																																																									
D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13																																																									
9 防水工事	1. 合 成 高 分 子 系 ルーフィングシート防水	(9. 4. 2～3)(表9. 4. 1) <table><tr><th>工 程 種 別</th><th>適 用 箇 所</th><th>仕 上 げ 塗 料 塗 り</th><th>厚 さ</th></tr><tr><td>・ S－F1</td><td></td><td>・ カラー ・ シルバー</td><td>※ 1.2mm ・</td></tr><tr><td>・ S－F2</td><td></td><td></td><td>※ 1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S－M1</td><td></td><td>・ カラー ・ シルバー</td><td>※ 1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S－M2</td><td></td><td></td><td>※ 1.5mm ・</td></tr></table> 機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること (9. 4. 4) 可塑性移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ・()						工 程 種 別	適 用 箇 所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ	・ S－F1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.2mm ・	・ S－F2			※ 1.5mm ・	・ S－M1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.5mm ・	・ S－M2			※ 1.5mm ・	4. 仕 口 及 び 継 手 の 工 法	※ 「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号) 木標仕(5. 4. 2) による。																															
工 程 種 別	適 用 箇 所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ																																																									
・ S－F1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.2mm ・																																																									
・ S－F2			※ 1.5mm ・																																																									
・ S－M1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.5mm ・																																																									
・ S－M2			※ 1.5mm ・																																																									
10 石工事	2. 塗 膜 防 水	ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1～2) <table><tr><th>工 程 種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ X-1 (絶縁工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr><tr><td>・ X-2 (密着工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr></table> ゴムアスファルト系塗膜防水 <table><tr><th>工 程 種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ Y-1</td><td>地下外壁</td><td></td></tr><tr><td>・ Y-2</td><td>屋内</td><td>保護層 ・ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table>						工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考	・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根		・ X-2 (密着工法)	※ 屋根		工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考	・ Y-1	地下外壁		・ Y-2	屋内	保護層 ・ 適用する ・ 適用しない	1. 長 尺 金 属 板 葺	(13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1) <table><tr><th>屋根葺き形式</th><th>材 種 (板・コイル)</th><th>表 面 処 理</th><th>板厚(mm)</th></tr><tr><td>・ 心木なし瓦葺葺</td><td>・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</td><td>・ フッソ樹脂塗装</td><td>※ 0.4 ・ 0.5</td></tr><tr><td>・ 立て平葺</td><td>・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)</td><td>・ 亜鉛めっき塗装</td><td>・ 0.6 ・ 0.8</td></tr><tr><td>・ 横葺</td><td>・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</td><td>・ 焼付塗装</td><td>・ 0.8 ・ 1.0</td></tr><tr><td></td><td>・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</td><td></td><td>・ 1.2 ・</td></tr><tr><td></td><td>・ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 鼻隠し・ケラバ</td><td></td><td></td><td>※ 0.6</td></tr></table> 専門工事業者は製造所の指定業者とする 塗膜の耐久性の種類 表面 ・ 1類 ・ 2類 ・ 3類 裏面 ・ 1類 ・ 2類 ・() めっき付着量 ・() 下葺材料 ※ アスファルトルーフィング940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による 横葺きの場合のけらば納め ・ つかみ込み納め ・ けらば納め 材料 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・ 0.6 ・ 0.8) (13. 3. 2)(13. 3. 3) ・ (板厚(mm) ・) 寸法 山高 ()mm 山ピッチ ()mm 形式 ※ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※ 図示による 軒先面戸板 ※ 有り ・ 無し 断熱材張り (種別: 厚さ: 防火性能:) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による						屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚(mm)	・ 心木なし瓦葺葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	・ フッソ樹脂塗装	※ 0.4 ・ 0.5	・ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6 ・ 0.8	・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・ 焼付塗装	・ 0.8 ・ 1.0		・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)		・ 1.2 ・		・ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)			・ 鼻隠し・ケラバ			※ 0.6
	工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考																																																									
	・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根																																																										
	・ X-2 (密着工法)	※ 屋根																																																										
工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考																																																										
・ Y-1	地下外壁																																																											
・ Y-2	屋内	保護層 ・ 適用する ・ 適用しない																																																										
屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚(mm)																																																									
・ 心木なし瓦葺葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	・ フッソ樹脂塗装	※ 0.4 ・ 0.5																																																									
・ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6 ・ 0.8																																																									
・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・ 焼付塗装	・ 0.8 ・ 1.0																																																									
	・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)		・ 1.2 ・																																																									
	・ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)																																																											
・ 鼻隠し・ケラバ			※ 0.6																																																									
○ 塗 布 防 水	○ ケイ酸質系						13 屋根及びとい工事	2. 折 板 葺	材料 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・ 0.6 ・ 0.8) (13. 3. 2)(13. 3. 3) ・ (板厚(mm) ・) 寸法 山高 ()mm 山ピッチ ()mm 形式 ※ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※ 図示による 軒先面戸板 ※ 有り ・ 無し 断熱材張り (種別: 厚さ: 防火性能:) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による																																																			
○ 3. シ ー リ ン グ	シーリングの種類は、表9. 7. 1による (9. 7. 2)(表9. 7. 1) 目地寸法 ※ 9. 7. 3(1)(7～ウ) ・() (9. 7. 3) 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9. 7. 5)						○ 3. と い	(13. 5. 2)(表13. 5. 1) 材種等 ※ 図示による 外部縦どい受け金物 ※ ステンレス製 ・ 鋼製(亜鉛めっき) (13. 5. 2) 形状・取付間隔 ※ 図示による																																																				
○ 4. 屋根コンクリート防水	屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金こて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による)						4. 保証書及び期間	屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。 保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。																																																				
○ 5. 保証書及び期間	防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。						有村和浩建築設計事務所 一級建築士 第 258086 号 有村和浩																																																					
11 タイル工事	1. 共 通 事 項	石の割付け ・() ・図示による (10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げる場合 ・監督員と協議 ・図示による (10. 1. 5) ワックスの使用 ・使用する ・使用しない (10. 2. 1)						有村和浩建築設計事務所 一級建築士 第 258086 号 有村和浩																																																				
	2. 材 料	テラゾ 種類及び大きさ ※ 大理石(1.5～12mm) ・() (10. 2. 1) テラゾブロック 形状 ・ 平物 ・ 役物 仕上げ面 ・ 片面 ・ 両面 寸法 (図示による) 表面仕上げ ・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き						福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事 建築工事特記仕様書 5－3 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R70401																																																				
	○ 1. 共 通 事 項	伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁(※ 表11. 1. 1 ・ 図示による) 屋内() 寸法 ※ 9. 7. 3 ・()						A－3																																																				
	○ 2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験	※ 外観の確認 ※ 打診による確認 ・ 引張接着試験 (11. 1. 7)																																																										
12 木工工事	○ 3. 材 料	タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2) <table><tr><th>施工箇所</th><th>形状・寸法</th><th>耐凍害性</th><th>耐滑り性</th><th>役物</th><th>色</th></tr><tr><td>昇降口床</td><td>50×50</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>○ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td>外部スロープ</td><td>50×50</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>○ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 標準 ・ 特注</td></tr></table> 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) タイル試験張り (・実施する ○ 実施しない) タイル見本焼き(・実施する ○ 実施しない) (11. 2. 3) ・ 既調合モルタル() (11. 2. 7)(表11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗)) タイル張りの種別 ・() ・() 工法 ・() ・() (11. 3. 3) ・ 外装タイルにおける目地詰め (・行う ・行わない) (11. 3. 5) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法)						施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	昇降口床	50×50	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	・ 有 ○ 無	○ 標準 ・ 特注	外部スロープ	50×50	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	・ 有 ○ 無	○ 標準 ・ 特注			・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注			・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注	有村和浩建築設計事務所 一級建築士 第 258086 号 有村和浩																						
	施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色																																																						
	昇降口床	50×50	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	・ 有 ○ 無	○ 標準 ・ 特注																																																						
	外部スロープ	50×50	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	・ 有 ○ 無	○ 標準 ・ 特注																																																						
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注																																																							
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注																																																							
4. セメントモルタルによる タ イ ル 張 り	・ 既調合モルタル() (11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 ・() ・() 工法 ・() ・() (11. 3. 3) ・ 外装タイルにおける目地詰め (・行う ・行わない) (11. 3. 5) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法)						福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事 建築工事特記仕様書 5－3 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R70401																																																					
5. 有機系接着剤 に よ る タ イ ル 張 り	・ 外装タイルにおける目地詰め (・行う ・行わない) (11. 3. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法) (11. 3. 5)						A－3																																																					
13 屋根及びとい工事	1. 材 料	木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が (12. 2. 1) 難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 ・ 地域産材の場所 ()地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している 市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生 産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたものの 指定部分 ・ 構造材全て ・ その他() 含水率 構造材 ※ 20%以下とする。 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種 製材 「JAS1083」による製材 下地用針葉樹製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ・ 図示による ※ 2級 造作用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 板類における等級 ※ 枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類の見え掛り面は上小節、 それ以外は小節以上 ・ 図示による 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※ 1等 ・ 図示による ・() 含水率 ※ 10%以下 ・ 図示による ・() 「JAS1083」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種 (表12. 2. 2) 造作用集成材 「集成材のJAS」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり造作用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 「集成材のJAS」以外の造作用集成材 造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・図示による ・() 化粧ばり造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・図示による ・() 化粧ばり構造用集成柱 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・図示による ・() 造作用単板積層材 「JAS0701(単板積層材)」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※図示による 含水率 ※ 14%以下 ・図示による ・() JAS3079 (直交集成板) 品名、曲げ強度、種別、接着性能(使用環境)、樹種及び寸法 ※ 図示による 合板等 下地用普通合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 厚さ ※ 5. 5mm ・ 図示による 接着の程度 ※ 1類 ・ 図示による 板面の品質 ※ 2等以上(広葉樹) ※ C－D以上(針葉樹) ・ 図示による 下地用構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による 厚さ ※ 12mm ・ 図示による 接着の程度 ※ 1類(湿潤箇所を除く) ※ 特類(湿潤箇所) ・ 図示による 等級 ※ 2級以上 ・() 板面の品質 ※ C－D以上 ・ 図示による 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※特類 ・ 図示による 天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による パーティクルボード 表裏面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ ※ 図示による 曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※ 厚さ15mm、曲げ強さ13タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ 構造用パネル 品名、厚さ ※ 図示による M D F 表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分 ※ 図示による 難燃性による区分、厚さ ※ 図示による 接合具等 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し (12. 2. 2) 諸金物の形状、寸法、材質 ※ 12. 2. 2(2)(ア)による ・() ・ 図示による 諸金物の形状、寸法、材質 ※ 12. 2. 2(2)(ア)による ・() ・ 図示による						有村和浩建築設計事務所 一級建築士 第 258086 号 有村和浩																																																				
	2. 木 材	木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が (12. 2. 1) 難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 ・ 地域産材の場所 ()地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している 市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生 産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたものの 指定部分 ・ 構造材全て ・ その他() 含水率 構造材 ※ 20%以下とする。 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種 製材 「JAS1083」による製材 下地用針葉樹製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ・ 図示による ※ 2級 造作用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 板類における等級 ※ 枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類の見え掛り面は上小節、 それ以外は小節以上 ・ 図示による 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※ 1等 ・ 図示による ・() 含水率 ※ 10%以下 ・ 図示による ・() 「JAS1083」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種 (表12. 2. 2) 造作用集成材 「集成材のJAS」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり造作用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 「集成材のJAS」以外の造作用集成材 造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・図示による ・() 化粧ばり造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・図示による ・() 化粧ばり構造用集成柱 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・図示による ・(

14
金属
工事

項目

特記事項

○ 1. 一般事項

あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・実施する ・実施しない (14. 1. 3)

○ 2. 表面処理

・ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1)

種 類	施 工 箇 所
・ AB-1種(無着色)	
・ AB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ AC-1種(無着色)	
・ AC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ BA-1種(無着色)	
・ BA-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
※BB-1種(無着色)	アルミ建具
・ BB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ BC-1種(無着色)	
・ BC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ C種	

陽極酸化皮膜着色方法 ※ 二次電解着色 (色合:) ・ ()

・ 鉄鋼の垂鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4)

表面処理方法	種 類	施 工 箇 所
溶融垂鉛めっき	・ A種	
	・ B種	
	・ C種	
電気垂鉛めっき	・ D種	
	・ E種	
	・ F種	

○ 3. 軽量鉄骨天井下

野縁等の種類 屋内 ※ 19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1)
屋外 ・ 19形 ※ 25形
・ 野縁受、吊ボルト及びピンサート間隔(屋外) () (14. 4. 3)(表14. 4. 2)
・ 野縁の間隔(屋外) ()
・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※ 図示による ・ () (14. 4. 4)
・ 天井ふところが1.5m以上の補強方法 ※ 図示による ・ ()
・ 屋外の軒・ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※ 図示による ・ ()

○ 4. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 1～14. 5. 4)(表14. 5. 1)

種 類	部 材	施 工 箇 所
・ 50形	・ スタッド ・ ランナ	
○ 65形 ○ スタッド ・ ランナ	EV棟一般壁下地	
・ 90形 ・ スタッド ・ ランナ		
○ 100形 ○ スタッド ・ ランナ	EVシャワ耐火間仕切壁下地	

5. 金属成形板張り

形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理 (14.2.1～3、表14.2.1～2による)
・ スパンドレル形	・ 押出し	※ アルミニウム製			
	・ ロール	・			
・ パネル形	※ プレス				

伸縮調整継手 ※ 設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)

○ 6. アルミニウム製笠木

種 類	表面処理	備 考
○ 250形	・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種	・ 隅角部及び突出部等
○ 300形	・ BA-1種 ・ BA-2種 ※ BB-1種 ・ BB-2種	の役物は本体製造所の
・ 350形	・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種	仕様による

※ 工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること

15
左官
工事

○ 1. モルタル塗り

材料 (15. 3. 2)
モルタル ○ 現場調合材料 ・ 既調合材料(材料は監督員の承諾による)
防水モルタルの防水剤
製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)
・ 既製目地材 形状 ()

○ 2. 仕上塗材仕上げ

材料 (15. 6. 2)(表15. 6. 1～2)
JIS A 6909(建築用仕上塗材)

種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等
・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
○ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E	※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※ アクリル系 外 観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック

16
建具
工事

○ 1. アルミニウム製建具

(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1,2)

種 別	外 部 に 面 する 建 具	内 部 建 具	枠見込み(mm)
※ 普通ドア	※ コンクリート系	・ A種 ・ B種	※ 70 ・
セツ、サツ	鉄骨下地	・ C種	※ 100 ・ 図示
	・ 木下地	・ D種 ・ E種	※ 70
・ 防音ドアセット	遮音性の等級()		
・ 断熱ドアセット	断熱性の等級()		
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性の等級()		
表面処理(表14.2.1による)	※ BB-1種 ・	※ AC-1種 ・	

網戸防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3)
製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

項目

特記事項

○ 2. 鋼製建具

(16. 4. 2,4,5)(表16. 4. 1,2)

種 別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼板類の厚さ
○ 標準型建具	○ 表16. 4. 1を適用する ・ 適用しない	・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・	※表16. 4. 2による ・ 適用しない
・ 標準型建具 以外の建具	・ 表16. 4. 1を適用する ・ 適用しない	・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・	※表16. 4. 2による ・ 適用しない

製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)
材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ () (16. 6. 3)
表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ () (16. 6. 4)
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5)
製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

3. ステンレス製建具

材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ () (16. 6. 3)
表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ () (16. 6. 4)
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5)
製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

4. 木製建具

建具材の含水率 ※ A種 ・ B種 ・ C種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1)
かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 ()
ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙
枠 ・ 木製枠 ・ 鋼製枠 ()
くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ・ ()
フラッシュ戸 表面板の厚さ ※ 表16.7.6 ・ () (16. 7. 3)
見込み寸法 かまち戸(※ 36mm ・) ふすま戸(※ 19.5 ・ 21 ・ 18) (16. 7. 3)
戸ふすま(※ 30mm ・) 紙張り障子(※ 30mm ・)

○ 5. 建具用金物

※ 建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 1,2,3)(表16. 8. 1)
マスターキー ※ 製作する ○ 製作しない (16. 8. 4)
鍵箱 ※ 必要 (組用) ・ 不要

6. 重量シャッター

(16. 11. 2～5)

種 類	耐 風 圧 性 能	開 閉 機 能	シャッターケースの設置	危 害 防 止 機 構
・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※ 上部電動式 (手動併用)	・ 有 ・ 無	
・ 外壁用防火シャッター	・ 120 ・	・ 上部手動式	※ 有	※ 危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式
・ 屋内用防火シャッター				
・ 防煙シャッター				

7. 軽量シャッター

開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) (16. 12. 2)
耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80 ・
スラットの材質 ※ 塗装垂鉛めっき鋼板又は鋼帯 ・ () (16. 12. 3)
スラットの形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4)

○ 8. ガラス

JIS規格品 (16. 14. 2)
※ 材料、厚みは図示による

○ 9. ガラス留め材

アルミニウム製建具 ※ シーリング(SR-1) (16. 14. 2,3)
・ ガasket(グレイジングチャンネル形)(窓に適用)
鋼製・ステンレス製建具 ※ シーリング(SR-1) (表 9. 7. 1)
木製建具 ※ シーリング(SR-1)

10. ガラスブロック積み

JIS A 5212(ガラスブロック(中空)) (16. 14. 5)
表面形状 () 呼び寸法 () 厚さ ()
壁面金属枠及び補強材 ()
力骨

材 質	寸 法	形 状
※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状腹筋及び単筋
・	・	・

シーリング材 ()
金属製化粧カバー 材質 () 寸法 () 形状 ()
ガラスブロックの目地幅の寸法
平積み ※ 8～15mm ・ ()
曲面積み ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・ ()
伸縮調整目地位置 ※ 6m以下 ・ ()
目地部の力骨の補強方法 ※ 製造所の仕様 ・ ()

18
塗装
工事

○ 1. 材 料

※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。

○ 2. 素地ごしらえ

・ 木部 不透明塗料塗り (※ A種 ・ B種) (18. 2. 2)(表 18. 2. 1)
透明塗料塗り (・ A種 ※ B種)
・ 鉄鋼面 (・ A種 ・ B種 ※ C種) (18. 2. 3)(表 18. 2. 2)
(耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする)
・ 垂鉛めっき鋼面 (・ A種 ・ B種) (18. 2. 4)(表 18. 2. 3)
・ モルタル及びせっこうプラスター面 (・ A種 ※ B種) (18. 2. 5)(表 18. 2. 4)
・ コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面 (・ A種 ※ B種) (18. 2. 6)(表 18. 2. 5)
(耐候性塗料塗り(DP)、2液形ポリウレタンエマル塗り、アクリルシリコン樹脂エマル塗り、
常温乾燥膜形成素エマル塗りについては、表18. 2. 6による)
○ せっこうボード及びその他ボード面 継目処理工法 (※ A種 ・ B種) (18. 2. 7)(表 18. 2. 7)
その他 (・ A種 ※ B種)

○ 3. 塗料塗り

○ 錆止め塗料塗り (18. 3. 2～3)(表 18. 3. 1～6)

下 地	塗 料 種 別	塗 り 種 別
鉄鋼面	SOP	※ A種
	EP-G	・ A種 ※ B種
	DP	1回目 ※ C種
	2・3回目	※ D種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※ A種 ・ B種
	EP-G	※ C種
	DP	※ B種

○ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
塗料種類 ※ 1種 ・ 2種 (18. 4. 2)
木部塗り種別 (屋外) ※ A種 ・ B種 (18. 4. 3)
(屋内) ・ A種 ※ B種 (多孔質広葉樹の場合を除く)
鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※ B種 (18. 4. 4)
・ クリヤラッカー塗り(CL) (18. 5. 2)(表 18. 5. 1)
塗り種別 ・ A種 ※ B種
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表 18. 6. 1)
塗り種別 ・ A種 ※ B種

項目

特記事項

○ 1. ビニル床シート、
ビニル床タイル及び
ゴム床タイル張り

・ 耐候性塗料塗り(DP) (18. 7. 2)(表 18. 7. 1)
・ 鉄鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 3)(表 18. 7. 2)
・ 垂鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 4)(表 18. 7. 3)
○ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) (18. 8. 2～5)(表 18. 8. 1～4)
○ 塗り種別(下地:コンクリート、モルタル、フラスター、せっこうボード等) ・ A種 ※B種
○ 塗り種別(下地:鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面) ・ A種 ※B種 (18. 9. 2)(表 18. 9. 1)
○ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
塗り種別 ・ A種 ※B種
・ ウレタン樹脂フニス塗り(UC) (18. 10. 2)(表 18. 10. 1)
木部塗り種別(一般木部及びフローリングは1液形) ・ A種 ※B種
・ オイルステイン塗り(OS) (18. 11. 2)(表 18. 11. 1)
塗料 ・ () ・ 図示による
・ 木材保護塗料塗り(WP) (18. 12. 2)(表 18. 12. 1)
塗り別 ・ A種 ※B種

19
内装
工事

○ 1. ビニル床シート、
ビニル床タイル及び
ゴム床タイル張り

接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン (19. 2. 2)
不検出のもので、水性形のものとする。
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものである(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。
ビニル床シート

種 類	色 柄	厚 さ	工 法	備 考
※ FS	・ 無地	◎ 2.0	※ 熱溶接	○ 防滑性ビニル床シート
・	・ 模様	◎ 2.5	・ 突付け	○ ビニル床シート(トレ用)

ビニル床タイル

種 類	色柄	厚さ(mm)	備考
・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル
・ 複層ビニル床タイル(FT)	・ 模様	・ 3	
・ コンポジションビニル床タイル(KT)			

特殊機能床材
帯電防止床シート又は床タイル 種類 () 性能 () 厚さ ()
視覚障害者用床タイル 種類 () 形状 ()
耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ ()
ビニル幅木 厚さ(※ 1.5mm以上) 高さ(※ 60mm ◎ 75mm) 種類 ()
ゴム床タイル 種類 () 厚さ () 色柄 () 寸法 ()
下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種類 ビニル床シート、タイル ()
ゴム床タイル ()

2. カーペット敷き

・ 繊維ゆたん 種類 (・ A種 ・ B種 ・ C種) 織り方 () (19. 3. 2～3)(表19. 3. 1～2)
バイル形状 (・ カットバイル ・ ループバイル ・)
帯電性(人体帯電圧 ※ 3kV以下)
・ タフテッドカーペット バイル形状 (・ カットバイル ・ ループバイル ・)
バイル長 () 帯電性(人体帯電圧 ※ 3kV以下)
工法 (・ グリッパ ・ 全面接着)
・ タイルカーペット 種類 (※ 第1種 ・) バイル形状(※ ループバイル ・)
寸法 (※ 500mm角 ・) 総厚さ(※ 6.5mm ・)
平場敷き方 (※ 市松敷き ・)
階段敷き方 (※ 模様流し ・)
下敷き材 (※ JIS L 3204 第2種2号 呼び厚さ8mm ・)
取付け用付属品 見切り 材質 () 種類 () 形状 ()
押え金物 材質 () 種類 () 形状 ()

3. 合成樹脂塗床

(19. 4. 2～3)(表19. 4. 4～8)

材 料	種 類	仕 上 げ の 種 類
・ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのペ工法 (※ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのペ工法 (※ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 (※ 平滑 ・ 防滑)
・ 薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 平滑仕上げ

4. フローリング張り

(19. 5. 2～7)(表19. 5. 1～5)

工 法	フローリング種類	寸 法 等	樹 種	
※ 釘留め工法 (接着剤併用)	※ 根太張り工法	単層 ※ フローリングボード	表19. 5. 1	・ なら
		複合 ・ A種 ・ B種 ※ C種	表19. 5. 2	・ さくら
	・ 直張り工法	単層 ※ フローリングボード	表19. 5. 3	・ なら
		複合 ・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 4	・ さくら
・ 接着工法	単層 ・ フローリングブロック	※ 図示による		・ なら
		・ フローリングボード	表19. 5. 5	・ さくら
	複合 ・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 6		

5. 畳敷き

畳の種類 (和室) ・ A種 ・ B種 ・ C種 (19. 6. 2)(表 19. 6. 1)
・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)
(柔道場) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

有村和浩建築設計事務所
一級建築士 第 258086 号
有村和浩

福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事
建築工事特記仕様書 5ー4
鹿児島市建設局建築部建築課

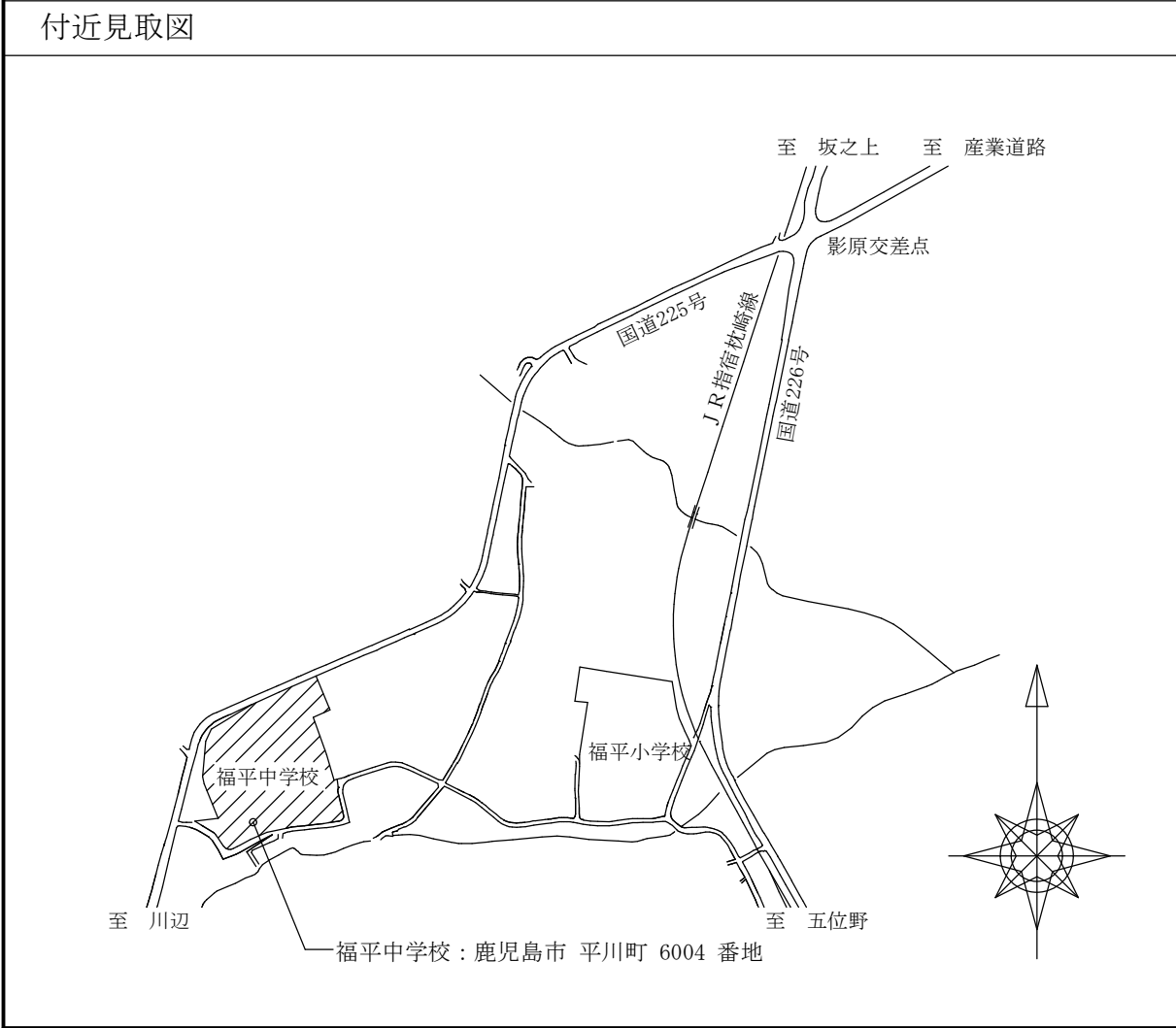
Aー4

Ver.B70401

章		適用		項 目		特 記 事 項		章		適用		項 目		特 記 事 項															
19 内 装 工 事	○	6. せっこうボード、 その他ボード及び 合 板 張 り		せっこうボード、その他ボード類 (19. 7. 2～3) (表 19. 7. 1～5)		種 類 種 別		張 り 方		厚 さ		備 考		6. 階 段 滑 り 止 め		材種 ※ SUS ・ () (20. 2. 7) 形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし 両端フラットエンド ・ 無 ※ 有 幅(mm) ・ 35 ※ 40 取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)													
		○ せっこう ボ－ド		○ GB-R ・ GB-S ・ GB-F ・ GB-L		○ 下地 張 り		天井 ※ 突付け ・ 継目処理 ・ 目透し 壁 ○ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し		○ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0				○ 7. 床 目 地 棒		(20. 2. 8) 床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。 ・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製 H 型 (幅40 内外厚さ2)													
		○ 化粧せっこう ボ－ド		○ トラバーチン 模様 (GB-D) ・ 木目模様 (裏桟付) (GB-D)		直 張 り		天井 ※ 突付け ・ 継目処理 ・ 目透し 壁 ※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ※ 目透し		○ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0		※ 不燃 ・ 準不燃 ※ 455×910 ・ 910×910				8. 黒 板 及 び ホワイ トホ－ド		(20. 2. 9) <table><tr><td>・ 黒板</td><td>※ 研出し ・ 焼付け</td><td></td><td>※ 緑 ・ 黒 ※ 緑 ・ 黒</td><td>※ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td></tr><tr><td>・ ホワイトボード</td><td>※ ほうろう白板</td><td></td><td>※ 白 ※ 白</td><td>・ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td></tr></table> 黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。 (製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)		・ 黒板	※ 研出し ・ 焼付け		※ 緑 ・ 黒 ※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け	・ ホワイトボード	※ ほうろう白板		※ 白 ※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け
		・ 黒板	※ 研出し ・ 焼付け		※ 緑 ・ 黒 ※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け																							
		・ ホワイトボード	※ ほうろう白板		※ 白 ※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け																							
		○ 無石綿けい 酸カルシウム板						天井 ※ 突付け ・ 継目処理 ※ 目透し		○ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12		JIS A5430に準拠し たノンアスベストのもの				9. 鏡		厚さ ※ 5mm ・ (20. 2. 10)											
		・ 木毛 セメント板		・ 難燃木毛 セメント板 (2級以上) ・ 断熱木毛 セメント板		・ 30分耐火 以上 ・ 準不燃		継目用金物		・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50		監督員の承諾に よる工場				○ 10. 表 示		・ 対人衝突防止表示 ※ 図示 (市販品 ※ ステンレス製 径約30mm ・) ・ 無し ・ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。(20. 2. 11) ○ 室名表示 ※ 図示による											
		合板類		材 種		樹 種 等		厚 さ(mm)		工 法																			
		・ 普通合板		・ 生地そのまま又は透明塗料塗りの場合 (・ ラウン ・ しな ・)		・ 5.5 ・ 9 ・ 12		・ A種 ※ B種																					
		・ 特殊合板		・ 天然木化粧合板の化粧単板 (・ ラウン ・ しな ・) ・ 特殊加工化粧合板の仕上げの種類 (・)		化粧単板厚 ※ 0.3未満 ・ 4.2 ・ 4.0		・ A種 ※ B種 ※ B種																					
下地		・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地																											
7. 壁 紙 張 り		施工箇所		壁 紙 の 種 類		防火性能の級別		素地ごしえ						○ 1. 路 盤		・ 厚さ: ※ 図面による (22. 3. 2) ・ 材料: ※ 再生クラッシュラン RC-40 ・ クラッシュラン C-40 ・ 図面による (22. 3. 3) 再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。													
		紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質							22 舗 装 工 事		2. アスファルト舗装		・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 4. 2) ・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ () ・ シールコートの適用: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 3) ・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ・ () (22. 4. 4) ・ 切り取り検査: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6) ・ アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行う ※ 行わない												
○ 8. 断 熱 ・ 防 露		種 類		施行箇所		厚さ(mm)		品 質 等						○ 3. コンクリート舗装		・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 5. 2) ・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22. 5. 3) ・ 注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ・ () ・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm													
		・ 押出法ポリスチレン フォーム保温材	※ 2種b ※ 3種b	・ 一般部 ・ ・ 屋根 ・ ビット上部	・ 20 ・ 45.50 ・ 20 ・ 45.50	特定フロンを使用しないもの								4. 透水性アスファルト 舗 装		・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 7. 2) ・ 路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする													
○ 9. そ の 他		○ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)		※ 断熱材補修部分 ○ 一般部 ・ 熱橋部		・ 15 ○ 30		特定フロンを使用しないもの 難燃性 (※ 3級 ・) ※ A種 1 ・ A種 1H						5. ブロック系舗装		・ 種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 鋪石舗装 (22. 8. 1) ・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 8. 2) ・ ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ・ ()													
		製造所: 監督員の承諾する製造所												6. 砂 利 敷 き		・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 9. 2) ・ 種別: ・ A種 ・ B種 再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。													
20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 の 工 事	○	1. フリーアクセス フロア		床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・ (20. 2. 2) 表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル (・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ) 床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 ・ 寸法 ※ 450角以上、600角以下 ・ 適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・ (中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・ (最上階) ※ 1.0以上 ・ 耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・ 空調用孔あきパネル 枚数 () 材質 () コンセント開口 適用室 () コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。 試験方法は、JIS A 1450 (フリーアクセスフロア試験方法) による。 特記以外の仕様は製造所の仕様とする。		2. 可 動 間 仕 切 (既 製 間 仕 切)		構造形式		表面板及び厚さ		パネル仕上げ		パネル見込み															
21 排 水 工 事	○	7. 壁 紙 張 り		施工箇所		壁 紙 の 種 類		防火性能の級別		素地ごしえ				○ 1. 路 盤		・ 厚さ: ※ 図面による (22. 3. 2) ・ 材料: ※ 再生クラッシュラン RC-40 ・ クラッシュラン C-40 ・ 図面による (22. 3. 3) 再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。													
														2. アスファルト舗装		・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 4. 2) ・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ () ・ シールコートの適用: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 3) ・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ・ () (22. 4. 4) ・ 切り取り検査: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6) ・ アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行う ※ 行わない													
														○ 3. コンクリート舗装		・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 5. 2) ・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22. 5. 3) ・ 注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ・ () ・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm													
														4. 透水性アスファルト 舗 装		・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 7. 2) ・ 路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする													
														5. ブロック系舗装		・ 種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 鋪石舗装 (22. 8. 1) ・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 8. 2) ・ ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ・ ()													
22 舗 装 工 事	○	1. フリーアクセス フロア		床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・ (20. 2. 2) 表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル (・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ) 床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 ・ 寸法 ※ 450角以上、600角以下 ・ 適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・ (中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・ (最上階) ※ 1.0以上 ・ 耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・ 空調用孔あきパネル 枚数 () 材質 () コンセント開口 適用室 () コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。 試験方法は、JIS A 1450 (フリーアクセスフロア試験方法) による。 特記以外の仕様は製造所の仕様とする。		2. 可 動 間 仕 切 (既 製 間 仕 切)		構造形式		表面板及び厚さ		パネル仕上げ		パネル見込み															
23 移 動 間 仕 切 (ス ラ イ ド イ ン グ ウ ォ ー ル)	○	3. 移 動 間 仕 切 (スライディングウォール)		パネル操作方法 () (20. 2. 4) パネル表面材の材質 (※ 鋼板 ・) パネル表面材仕上げ (・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り ・) パネル圧接装置操作方法 () 遮音性能 (・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上)) ハンガーレール 取付下地補強方法 (※ 20. 2. 4(3)(ウ) ・) 固定方法 (・ あと施工アンカー(材質: ・ 、寸法:) ・ 製造所 評価名簿による		4. ト イ レ ブ ー ス		表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) (20. 2. 5) ・ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型 製造所 評価名簿による																					
24 手 す り 及 び タ ラ ッ プ	○	5. 手すり及びタラップ		種 類		材 料 の 種 別		表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2による)																					

建築概要

工事概要	工事名称	福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事				
	建設場所	鹿児島市平川町6004番地				
	主要用途	EV、バリアフリートイレ、渡り廊下				
	工事種別	増築、昇降口バリアフリー改修工事				
法指定	用途地域	市街化調整区域				
	防火地域	指定なし				
	建ぺい率	50%				
	容 積 率	80%				
	高さ制限	—				
	そ の 他	—				
規模・構造	主要構造	● 耐火建築物 ○ 準耐火建築物 ○ その他				
	主体構造	鉄骨造				
	階 数	地上4階				
	最高高さ	17.250 m	軒 高	16.800 m		
面 積	敷地面積	19,213.00 m2				
		増築部分		既存部分	合計	
		EV棟	渡り廊下棟			
	建築面積	41.69 m2	19.61 m2	3,730.98 m2	3,792.28 m2	
	延床面積	166.76 m2	0 m2	6,763.23m2	6,929.99 m2	
	建ぺイ率	19.74 %				
	容 積 率	35.32 % (容積率算定面積＝6,929.99.12m2 - 145.08m2 = 6784.91 m2)				



工事区分表

施工項目	建築工事	機械工事	電気工事	施工項目	建築工事	機械工事	電気工事
外部仮設足場	○			同上用開口補強	○		
仮設仕切壁	○			衛生器具・手すり等の裏板	○		
内部足場	○			壁付け衛生器具周りのコーキング	○		
天井点検口（開口・開口補強共）	○			雨水枡及びU字溝、雨水管（埋設配管）撤去及び新設	○		
天井開口（器具用）			○	汚水枡撤去及び新設		○	
換気扇、フード			○	シンク撤去及び新設	○		
鏡・衛生器具		○		土間コンクリートはつり復旧（屋外屋内共）	○		
ステンレス手摺り（便所内衛生器具用）		○		エレベーター設置（付属工事含む）	○		
設備配管・ダクト用スリーブ（地中梁・壁等）		○	○	エレベーター電源1次側配線・配管工事			○
				エレベーターインターホン職員室間の配線・配管工事			○

石綿含有建材の対象物及び処理方法について

◎石綿含有建材の除去作業について

1. 既存建材における石綿含有の有無

- 未調査（以下の既存仕上材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。）

調査箇所（ ）

◎調査済（ ◎有 ・ 無 ）

【使用箇所】
校舎17号棟：外壁仕上塗材、床長尺シート、1・2階廊下天井パルプセメント板
※使用箇所のとりこわし及び改修工事に先立ち、石綿含有仕上塗材の除去工事を行うこと。

2. 法令等の遵守

大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。
大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。
また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。

3. 事前調査

除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。

4. 施工計画

除去作業に先立ち、施工計画書（除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等）を作成して監督員に提出 すること。
施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。
作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。

5. 除去作業

1) 共通事項

- 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
- 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする事。
- 作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。
- 作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。
- 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
- 除去した石綿含有成形品及び養生材、保護衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。

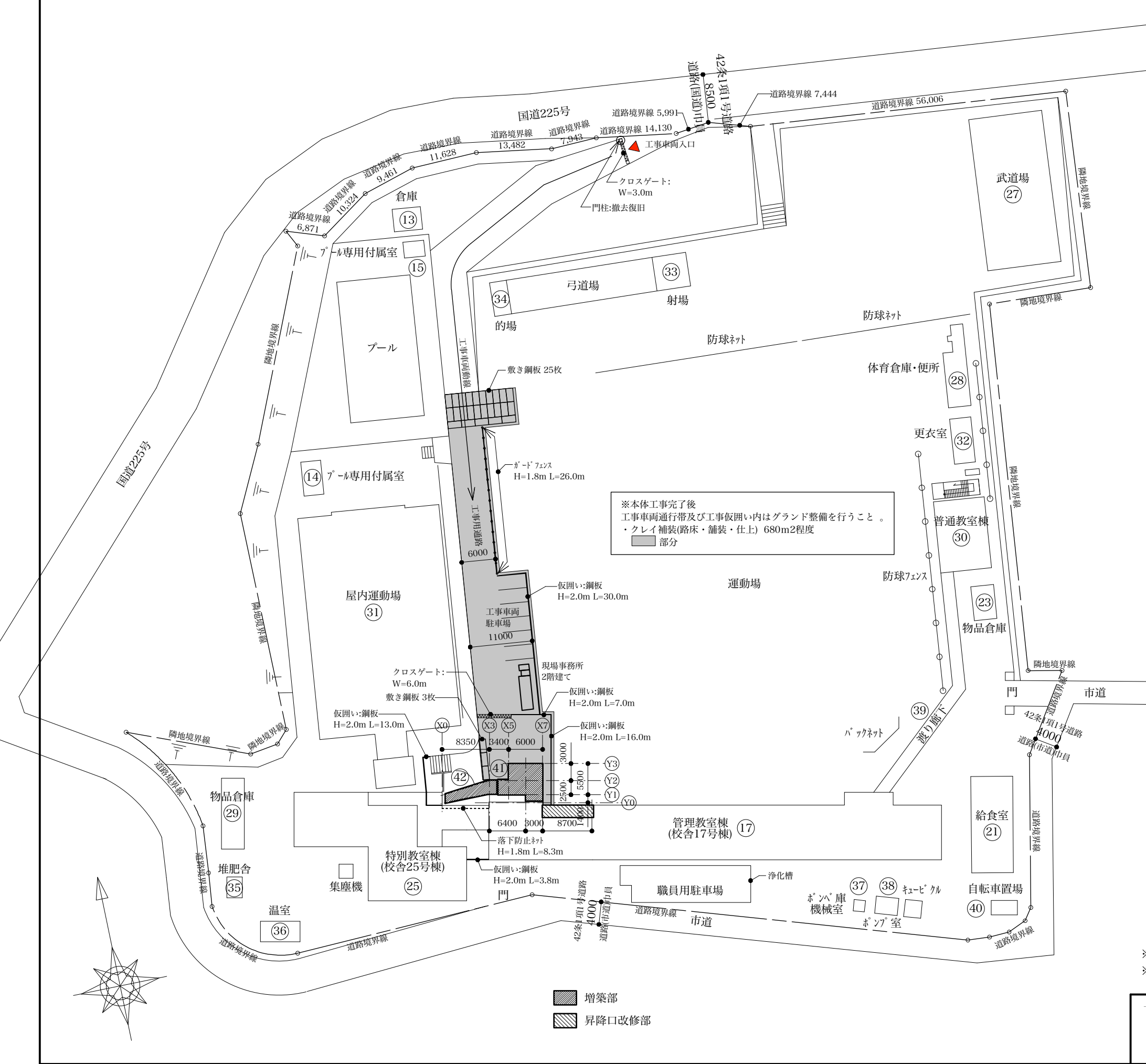
2) 除去作業（けい酸カルシウム板第1種を除く石綿含有成形品）

- 切断、破砕等することなくそのまま取り外すこと。
- 切断等以外の方法により作業実施が技術上困難なときは、薬液等により湿潤化すること。

3) 除去作業（下地調整材）

- 除去工法は、以下の処理工法とすること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
 - 剥離剤併用手工具ケレン工法
 - 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
- 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。

一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所 一級建築士所 第 258086 号 有村和浩	福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事		
	建築概要・付近見取図 工事区分表・アスベスト特記仕様書	—	A－6
	鹿児島市建設局建築部建築課		



敷地面積表	
	施設台帳より
敷地面積	19,213.00 m2

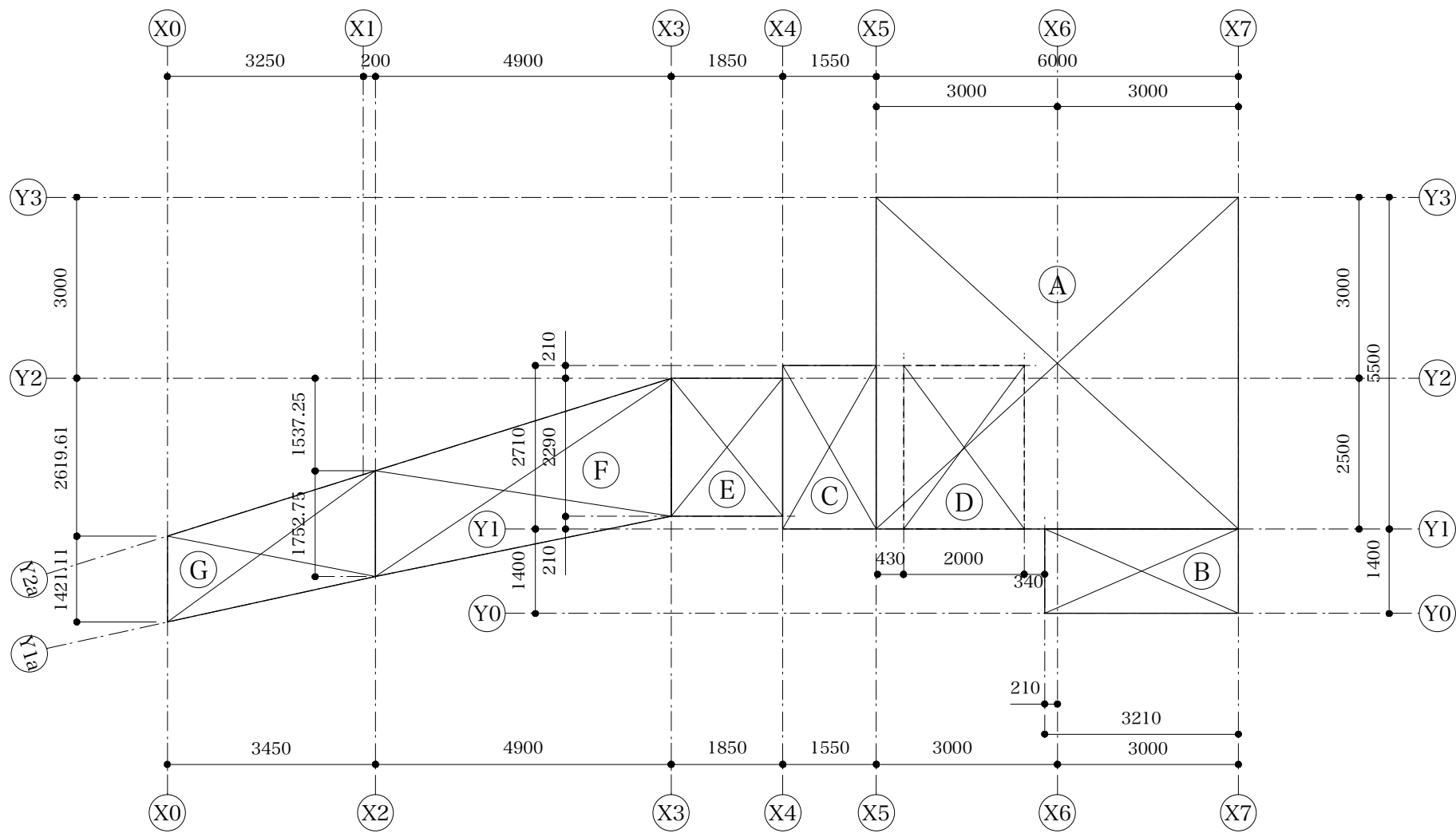
既存建物面積表					
符号	建物	構造	階数	建築面積 m2	延床面積 m2
⑬	倉庫	S造	1	20.00	20.00
⑭	プール専用付属室	S造	1	21.00	21.00
⑮	プール専用付属室	RC造	1	10.36	10.36
⑰	管理教室棟	RC造	4	834.88	3,076.01
⑳	給食室	RC造	1	148.80	125.12
㉓	物品倉庫	RC造	1	24.00	24.00
㉕	特別教室棟	RC造	4	470.94	1,653.00
㉗	武道場	S造	1	451.22	349.70
㉘	体育倉庫・便所	RC造	1	50.06	50.06
㉙	物品倉庫	RC造	1	50.00	50.00
㉚	普通教室棟	木造	2	115.56	228.96
㉛	屋内運動場	RC+木造	1	1,283.91	981.22
㉜	更衣室	RC造	1	29.60	29.60
㉝	射場	S造	1	36.00	36.00
㉞	的場	CB造	1	18.00	18.00
㉟	堆肥舎	木造	1	9.93	9.93
㊱	温室	アルミ造	1	25.20	25.20
㊲	ポンプ庫+機械室	RC造	1	12.59	12.59
㊳	ポンプ室	RC造	1	35.28	35.28
㊴	渡り廊下	S造	1	76.45	0
㊵	自転車置場	木造	1	7.20	7.20
合計				3,730.98	6,763.23

増築建物面積表					
符号	建物	構造	階数	建築面積 m2	延床面積 m2
㊶	EV棟	S造	4	41.69	166.76
㊷	渡り廊下棟	S造	4	19.61	0

総括表			
	申請面積	既存面積	全体面積
建築面積	61.30 m2	3,730.98 m2	3,792.28 m2
延床面積	166.76 m2	6,763.23 m2	6,929.99 m2

※道路幅員、崖、敷地の高低差、方位等について現場調査済みです。
※ブロック塀等の実施要領に該当するブロック積みはありません。

一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所 一級建築士所 第 258086 号 有村和浩	福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事		
	配置図・面積表・仮設計画図	1/700	A-7
	鹿児島市建設局建築部建築課		



1階～4階平面図

棟	符号	計算式	面積
EV棟	(A)	6.000 × 5.500	33.0000
	(B)	3.210 × 1.400	4.4940
	(C)	1.550 × 2.710	4.2005
	(D)	2.000 × 2.710	5.4200
渡り廊下棟	(E)	1.850 × 2.290	4.2365
	(F)	(1.75275+2.290) × 4.900 × 1/2	9.9047
	(G)	(1.42111+1.75275) × 3.450 × 1/2	5.4749
EV棟	建築面積	A + B + C	41.69 m2
渡り廊下棟	建築面積	E + F + G	19.61 m2
合計	建築面積		61.30 m2
EV棟	延床面積	(A + B + C) × 4	166.76 m2
渡り廊下棟	延床面積		0 m2
合計	延床面積		166.76 m2
EVシャフト面積		D × 4	21.68 m2
容積率算定面積		166.76m2 - 21.68 m2 =145.08 m2	

EV棟外部仕上表					
部 位	仕上・下地	部 位	仕上・下地	部 位	仕上・下地
屋根	仕上：防水コンクリートタンピング金ゴテ同時押え t=170~250 水勾配 1/75 下地：—	基礎立上り	仕上：モルタル金ゴテ薄塗 下地：コンクリート打放し	EXP. J	EV棟-17号棟：SUS製 （屋根-屋根） C=200 耐火仕様 EV棟-17号棟：SUS製 （外壁コーナー） C=200 耐火仕様
外壁	仕上：アクリル系複層塗材E 下地：ALC t=100（1時間耐火）	ドレイン	鋳鉄製縦引きドレイン 塗膜防水用 125A/2カ所、100A/1ヶ所	排水溝（風除室前）	本体：コンクリート製 W195×H75 蓋：SUS製グレーチング W200 歩行用細目滑り止め仕様（受枠共）
		縦樋	カラーVP管 125A、100A、65A（ALC用SUS製掴み金物はさみ固定タイプ共 @1200）		
軒天	仕上：EPG塗装 下地：ケイ酸カルシウム板 t=6 目透し張り（不燃 NM8578） LGS 25型	笠木	バラベツト笠木：アルミ製 W300 W225 水切り笠木：アルミ製 W135	雨水枡	本体：コンクリート製 500×500×H400（内径 300×300）規格品 蓋：スチール製グレーチング 400×400 滑り止めタイプ（T-2）

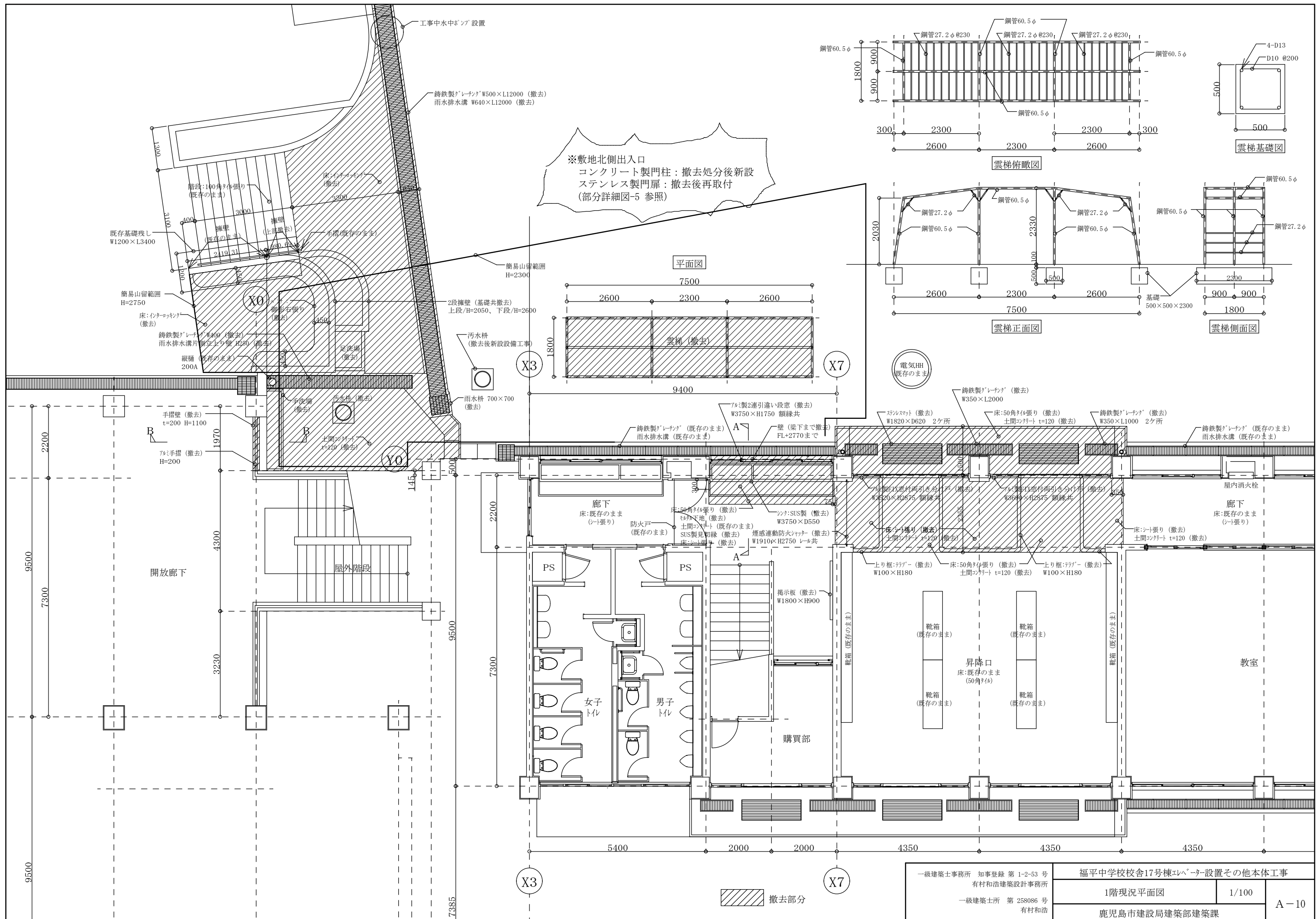
渡り廊下棟外部仕上表					
部 位	仕上・下地	部 位	仕上・下地	部 位	仕上・下地
屋根	仕上：防水コンクリートタンピング金ゴテ同時押え t=170~250 水勾配 1/37.7 下地：—	笠木天端 (外部立上り共)	仕上：アクリル系複層塗材E 下地：コンクリート金ゴテ 水勾配 1/10 W100×H150	ドレイン	鋳鉄製縦引きドレイン 塗膜防水用 100A/1ヶ所
				縦樋	カラーVP管 100A (SUS製掴み金物共 @2000)
スロープ床	仕上：防滑性複層ビニル床シート (屋外用) t=2.5 下地：コンクリートスラブ t=170 (150+20)	EXP. J	EV棟-渡り廊下棟：アルミ製 (屋根-外壁) C=200 EV棟-渡り廊下棟：SUS製 (床-床) C=200 渡り廊下棟-25号棟：SUS製 (床-床) C=200 渡り廊下棟-25号棟：アルミ製 (屋根-外壁) C=200 25号棟側下地L-100×100×7 (溶融亜鉛メッキ) 25号棟側下地L-125×90×7 グラス (溶融亜鉛メッキ)	排水溝 (1~4階)	本体：コンクリート製 W150×H75 蓋：SUS製グレーチング W200 歩行用細目滑り止め仕様 (受枠共)
柱・梁	仕上：溶融亜鉛メッキ 下地：—			手摺	スチール製 H=1759、H=1752 全て溶融亜鉛メッキ処理 笠木/FB-12×38、支柱/FB-12×38 @900、手摺子/FB-12×32 @100、手摺子受け/FB-12×38、GPL-12 2-M12
軒天	仕上：コンクリート打放し 下地：—			H形鋼コーナークラート	樹脂製H形鋼エッジ用カバー W45×D32 (1階梁 X0~X3通り間)
				雨水管 (土中埋設)	VP管 125A、65A

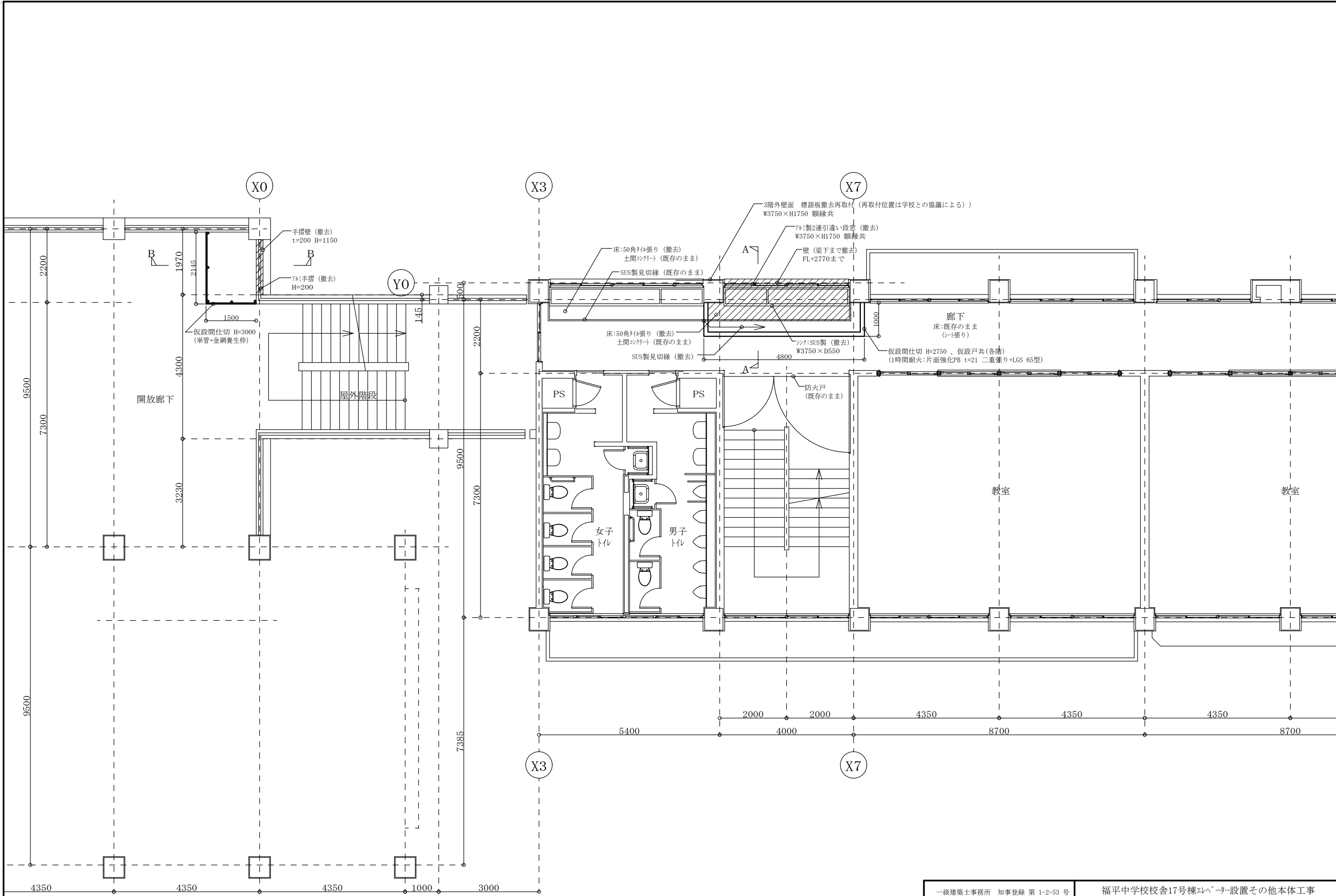
17号棟外部仕上表					
部 位	仕上・下地		部 位	仕上・下地	
スロープ床	仕上：防滑性磁器質タイル 100×100 勾配 1/12 端部／垂れ付き段鼻タイル W=100 下地：張りモルタル、土間コンクリート t=120、砂利敷き t=100		排水溝	本体：土間コンクリート W195×H75 蓋：SUS製グレーチング W200 歩行用細目滑り止め仕様（受枠共）	
				U字溝（既存） 蓋 縦樋	SUS製グレーチング W350×L1000 歩行用細目滑り止め仕様（受枠共） 3ヶ所 カラーVP管 100A（SUS製掴み金物（@1200mm以下）内部コーン式アンカー使用）

外構仕上表					
部 位	仕上・下地		部 位	仕上・下地	
床-1（着色部分）	仕上：コンクリート刷毛引き t=120 ワイヤメッシュ 6φ 150×150 水勾配 1/50 下地：砂利敷き t=100		擁壁（上部手摺壁）	仕上：アクリル系複層塗材E 下地：コンクリートの上モルタル薄塗り金ゴテ	
床-2（既存床復旧） （着色部分）	仕上：インターロッキング敷き t=60 下地：砂敷き t=30、砕石敷き t=100		足洗い場 手洗い場	仕上：磁器室タイル 50×50 面台共 下地：張りモルタル、コンクリート t=100	
			雨水枡	本体：コンクリート製 740×740×H500 （内径 450×450） 蓋：スチール製グレーチング 600×600 ノンスリップタイプ（T-2仕様）	

内部仕上表								
室 名	床		巾 木	壁		天井		備 考
	仕上	下地		仕上	下地	仕上	下地	
EVホール	防滑性複層ビニル床シート t=2.0	1F/アンダーレイシート t=5 土間コンクリート金ゴテ t=150 2〜4F/コンクリート金ゴテ t=100〜150 QLデッキ t=50	ビニル巾木 H=75	EPG塗装	ケイ酸カルシウム板 t=6 目透し張り PB t=9.5 LGS 65型 外壁面/ガラスウール 10K t=50	化粧石膏ボード t=9.5	LGS 19型	シンク：SUS製（部分詳細図参照） 天井点検口：アルミ製 450×450 壁出隅コーナー見切縁：塩ビ製 階数表示サイン、突出しサイン、シーサイン（部分詳細図参照）
バリアフリートイレ/1階 車椅子対応トイレ/ 2〜4階	消臭防滑性複層ビニル床シート t=2.0 （トイレ用）	↑	シート巻上げ H=100	腰壁（FL+1200以下）/メラミン化粧板 t=3 腰壁（FL+1200以上）/EPG塗装	ケイ酸カルシウム板 t=6腰上壁/目透し張り 耐水PB t=9.5 LGS 65型、Y2通り/100型 外壁面/ガラスウール 10K t=50	↑	↑	ライニング天板：メラミンポストフォーム t=20（部分詳細図参照） 床下点検口（1階のみ）：SUS製 600×600 タラップ（地下ピット内）：SUS製 19φ W=400 3段 天井点検口：アルミ製 450×450 壁出隅コーナー見切縁：塩ビ製 衛生器機、手摺、鏡、ベビーチェア、ベビーシート（全て設備工事）
風除室	防滑性複層ビニル床シート t=2.0	コンクリートスラブ金ゴテ t=150	ビニル巾木 H=75	EPG塗装	ケイ酸カルシウム板 t=6 目透し張り PB t=9.5 LGS 65型	↑	↑	壁出隅コーナー見切縁：塩ビ製
EV昇降路	地下ピット/ケイ酸質系塗布防水	地下ピット/コンクリート t=200	—	地下ピット/ケイ酸質系塗布防水 1〜4階/強化 PB t=21+21 二重張り	地下ピット/コンクリート 1〜4階/LGS 100型	現場吹付け発泡ウレタン t=30	コンクリートスラブ t=150	—
17号棟 1 階 昇降口通路	防滑性磁器質タイル 100×100	張りモルタル 土間コンクリート t=150 ポリエチレンフィルム t=0.15 敷砂 t=30 再生グラツァーラン t=100	既存のまま （塗装 H=100）	既存のまま（塗装） 一部補修部分/EPG塗装	— 一部補修部分/モルタル金ゴテ	既存のまま（ケイ酸カルシウム板 t=6の上塗装） 一部補修部分/EGP塗装	— 一部補修部分/ケイ酸カルシウム板 t=6 目透し張り LGS19型	2900
17号棟 1 階 昇降口スロープ	防滑性複層ビニル床シート t=2.0 勾配 1/12	土間コンクリート金ゴテ t=150 土間コンクリート t=150 ポリエチレンフィルム t=0.15 敷砂 t=30 再生グラツァーラン t=100	↑	—	—	↑	↑	2750 ~2900
17号棟1〜4階 廊下	既存のまま（ビニル床シート） 一部補修部分/防滑性複層ビニル床シート t=2.0	— 一部補修部分/土間コンクリート（既存）	既存のまま （塗装 H=100） 一部補修部分/ ビニル巾木H=75	既存のまま（塗装） 一部補修部分/EPG塗装	— 一部補修部分/ケイ酸カルシウム板 t=6 目透し張り PB t=9.5 LGS 65型	既存のまま （1,2階/ポリウレタンボード t=6の上塗装） （3,4階/化粧石膏ボード t=9.5） 一部補修部分：1,2階/EGP塗装 3,4階/化粧石膏ボード t=9.5	— 一部補修部分：1,2階/ケイ酸カルシウム板 t=6 目透し張り LGS19型 3,4階/LGS19型（既存）	2750

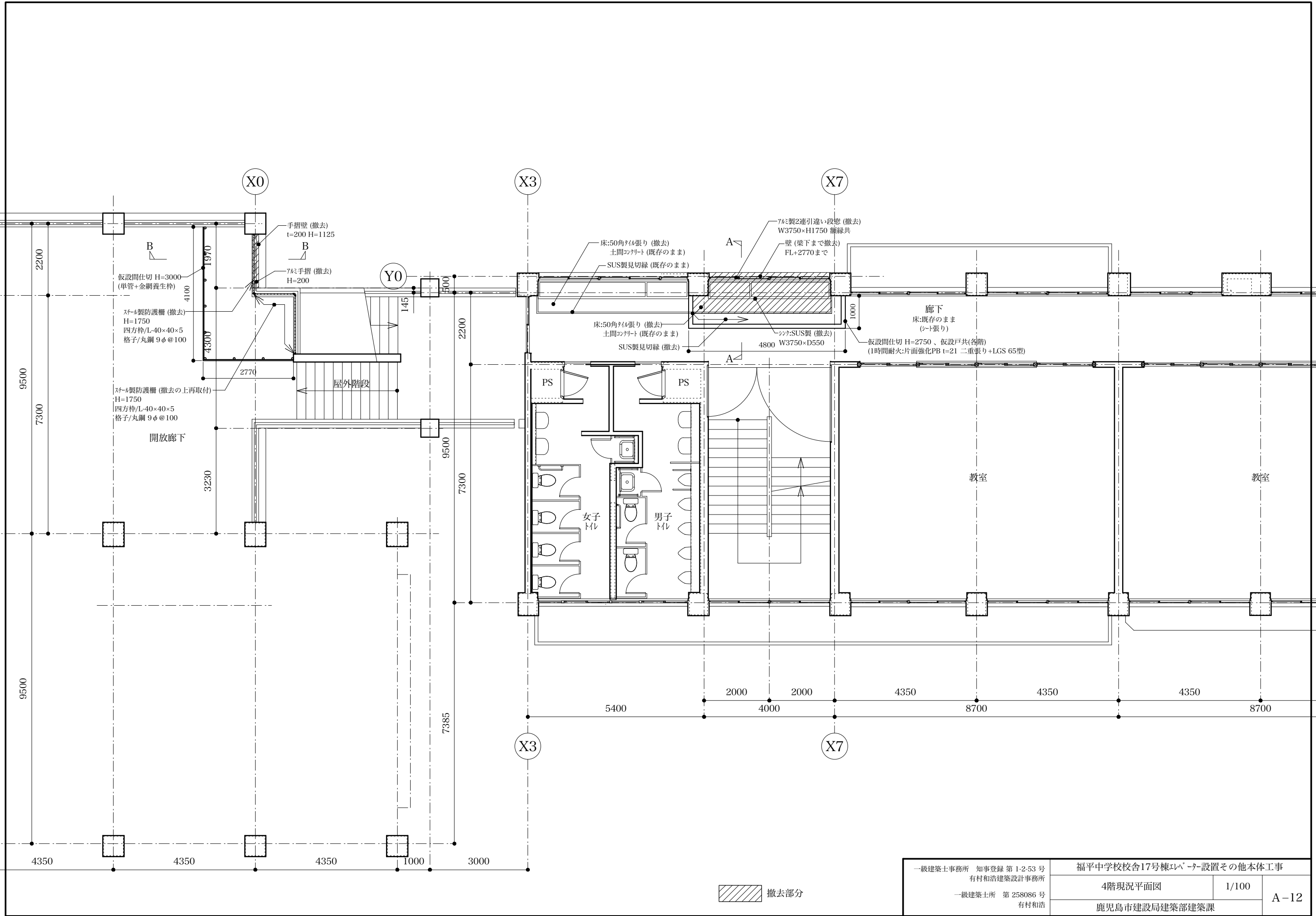
※耐火構造認定番号 ・外壁1時間耐火構造：ALC板 t=100 平成12年建設省告示第1399号 第一-六-ロ ・柱1時間耐火被覆：吹付けロックウール t=25以上 FP060BM-9408 ・壁付柱1時間耐火被覆：ALC板 t=100+吹付けロックウール t=25以上 FP060CN-9408 ・梁1時間耐火被覆：吹付けロックウール t=25以上 FP060BM-9408 ・壁付柱1時間耐火被覆：ALC板 t=100+吹付けロックウール t=25以上 FP060BM-9356 ・床1時間耐火構造：デッキプレート EZ50 FP060FL-0079 ・床1時間耐火構造：コンクリートスラブ 平成12年建設省告示第1399号 第三-ニ-イ ・エキスパンションジョイント（EXP. J）：耐火仕様 遮炎性能 EAJ-防災-3022 同等品		※EV昇降路堅穴区画仕様（1時間耐火） ・強化石膏ボード t=21+21 片面二重張り LGS 100型 FP060NP-0487 一部グラスウール t=100 10K 充填（1/4側、EVホール側）		※特記事項 ・内装仕上に用いる建築材料は、全てF☆☆☆☆を使用する。 ・法37条の指定建築材料は、全て日本工業規格又は日本農林規格に適合したものを使用する。	
一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所		一級建築士所 第 258086 号 有村和浩		福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事	
仕上表		—		A-9	
鹿児島市建設局建築部建築課					



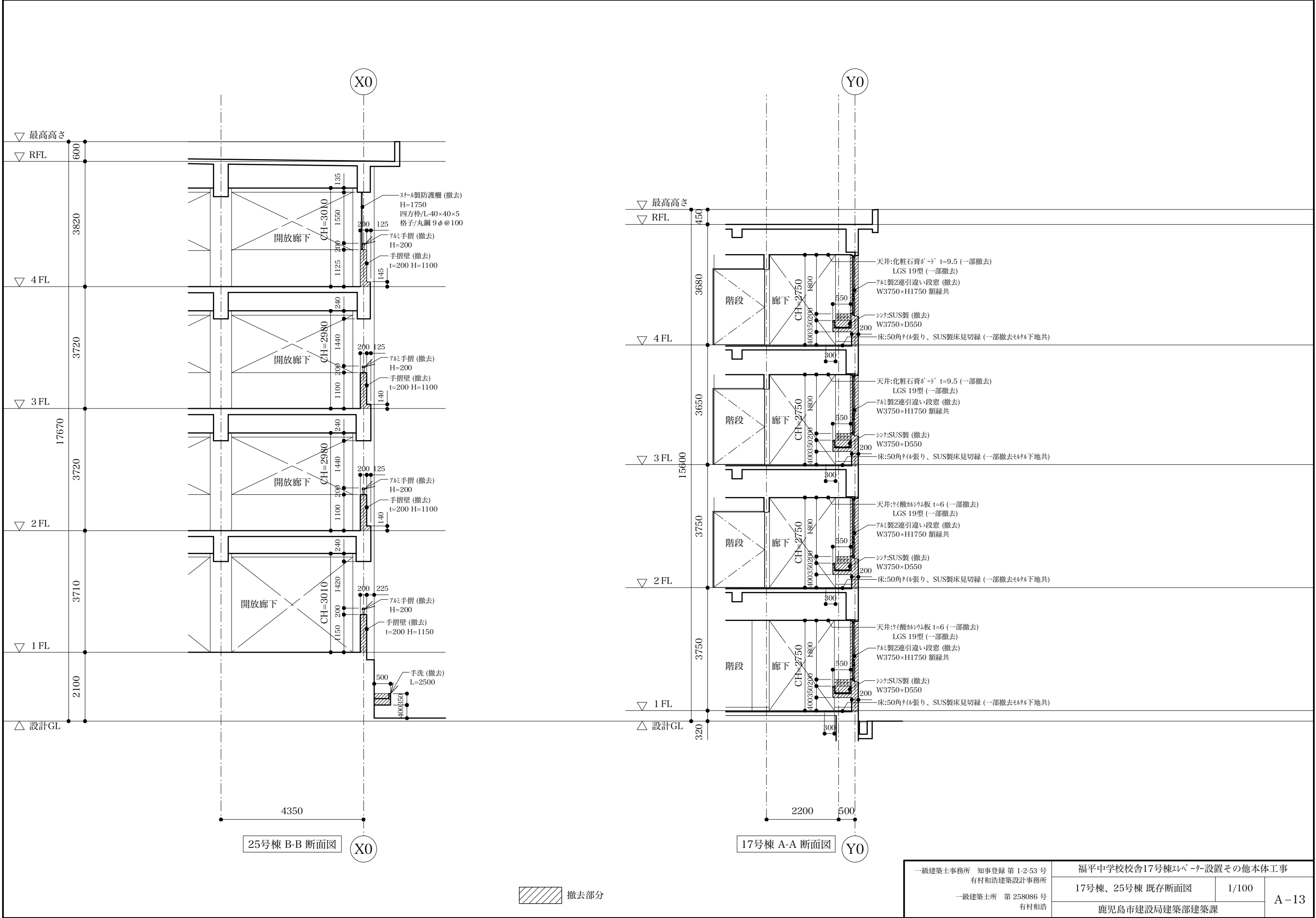


撤去部分

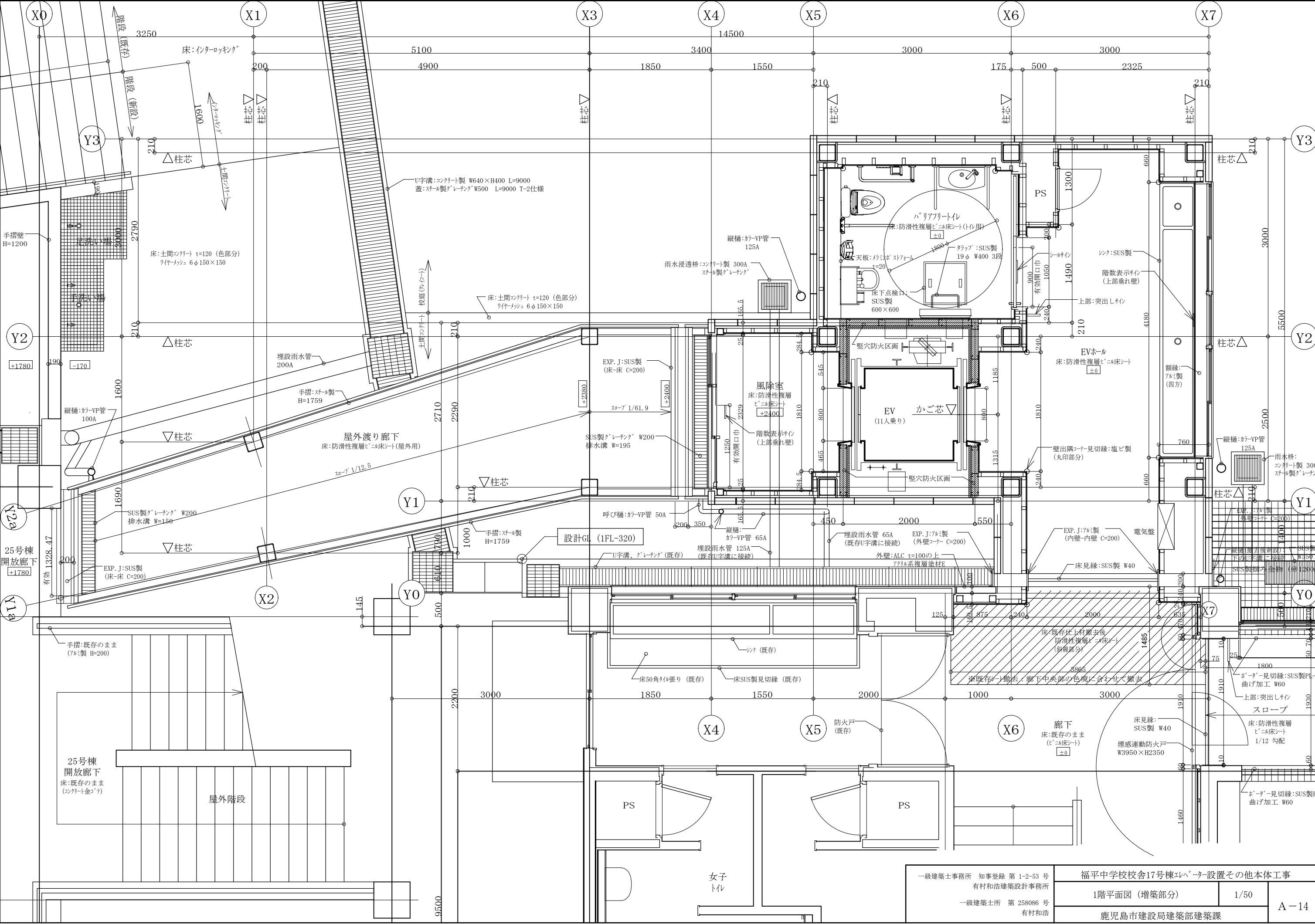
一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所 一級建築士所 第 258086 号 有村和浩	福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事		
	2、3階現況平面図	1/100	A-11
	鹿児島市建設局建築部建築課		

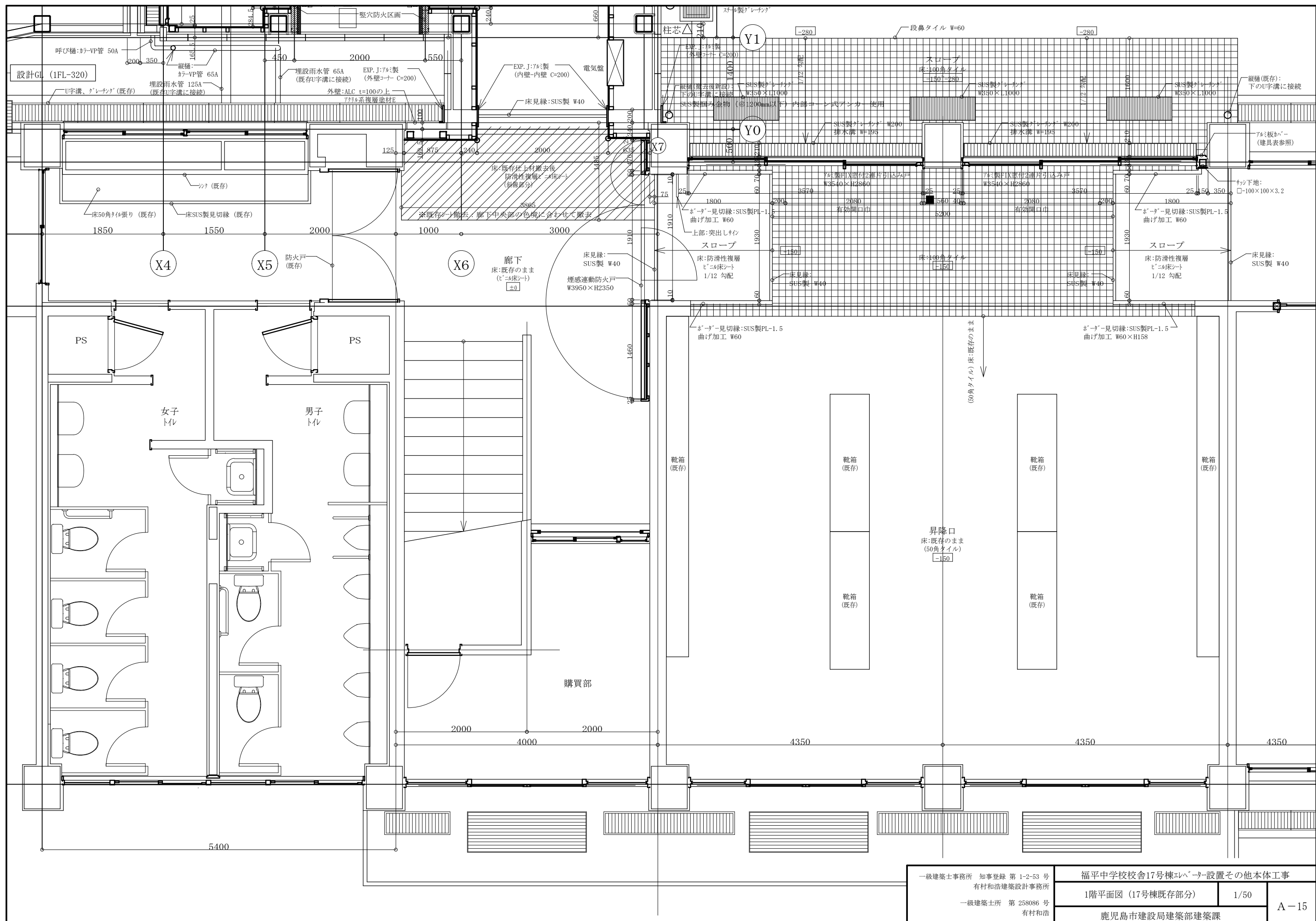


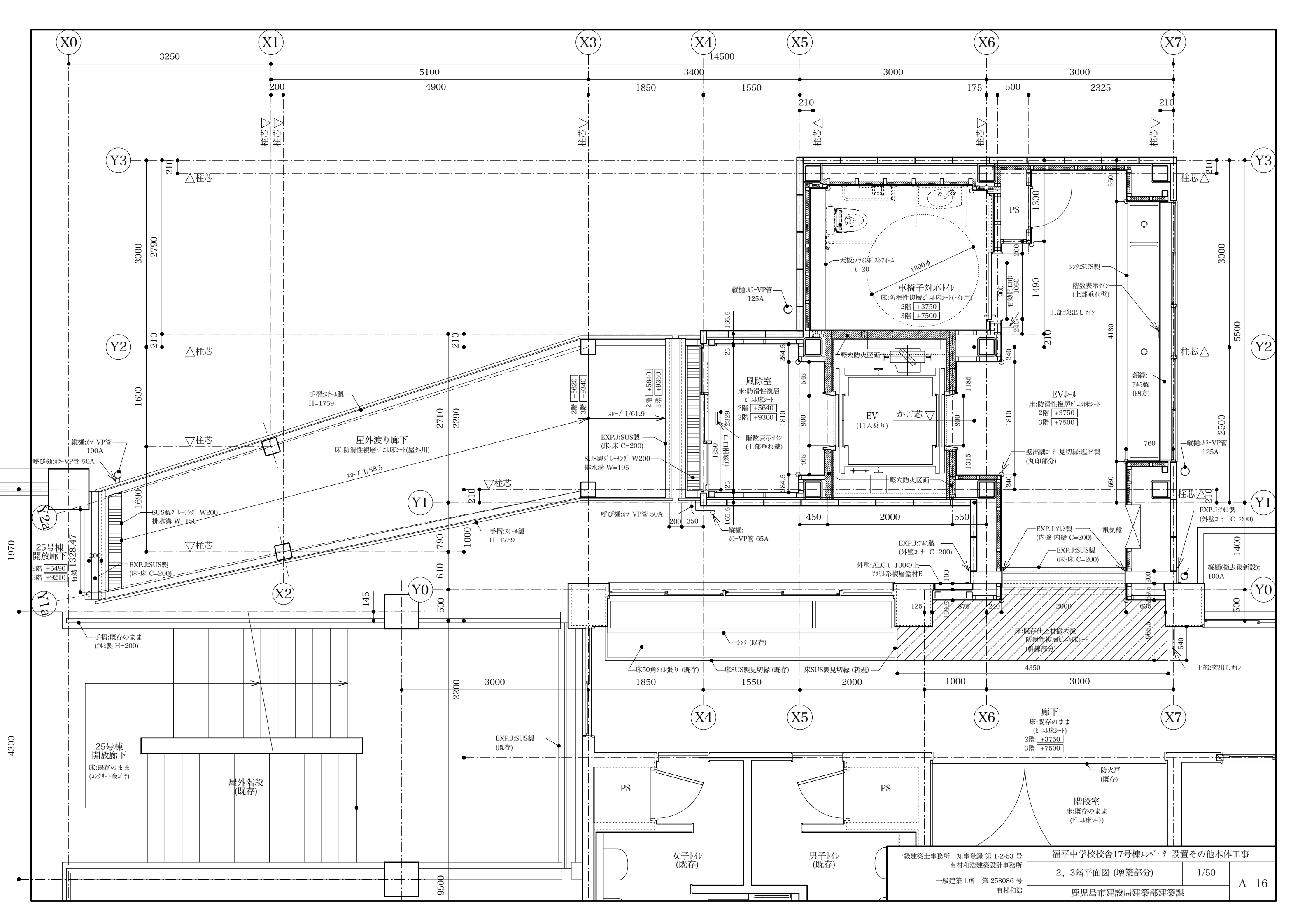
一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所 一級建築士所 第 258086 号 有村和浩	福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事		
	4階現況平面図		1/100
	鹿児島市建設局建築部建築課		A-12

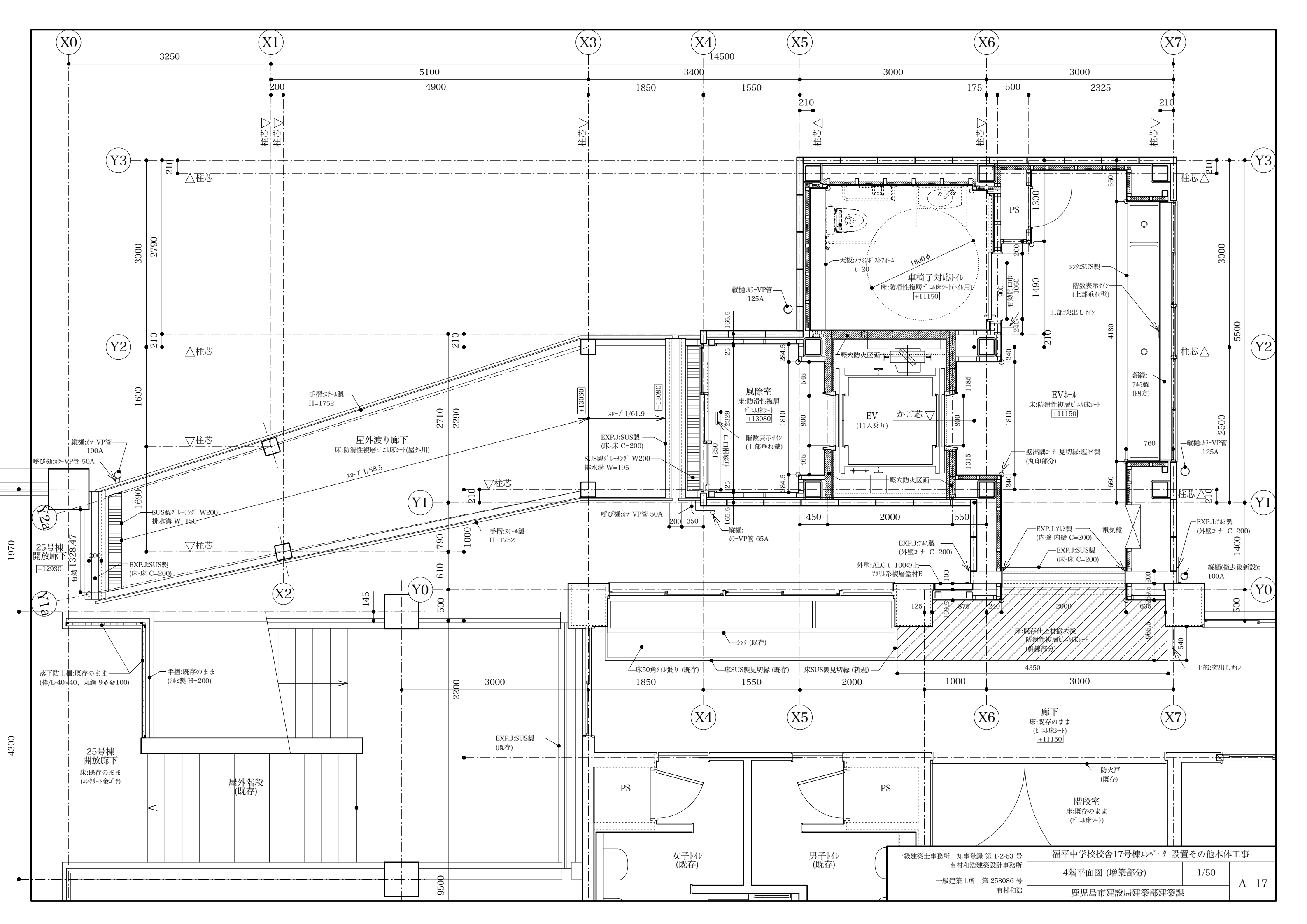


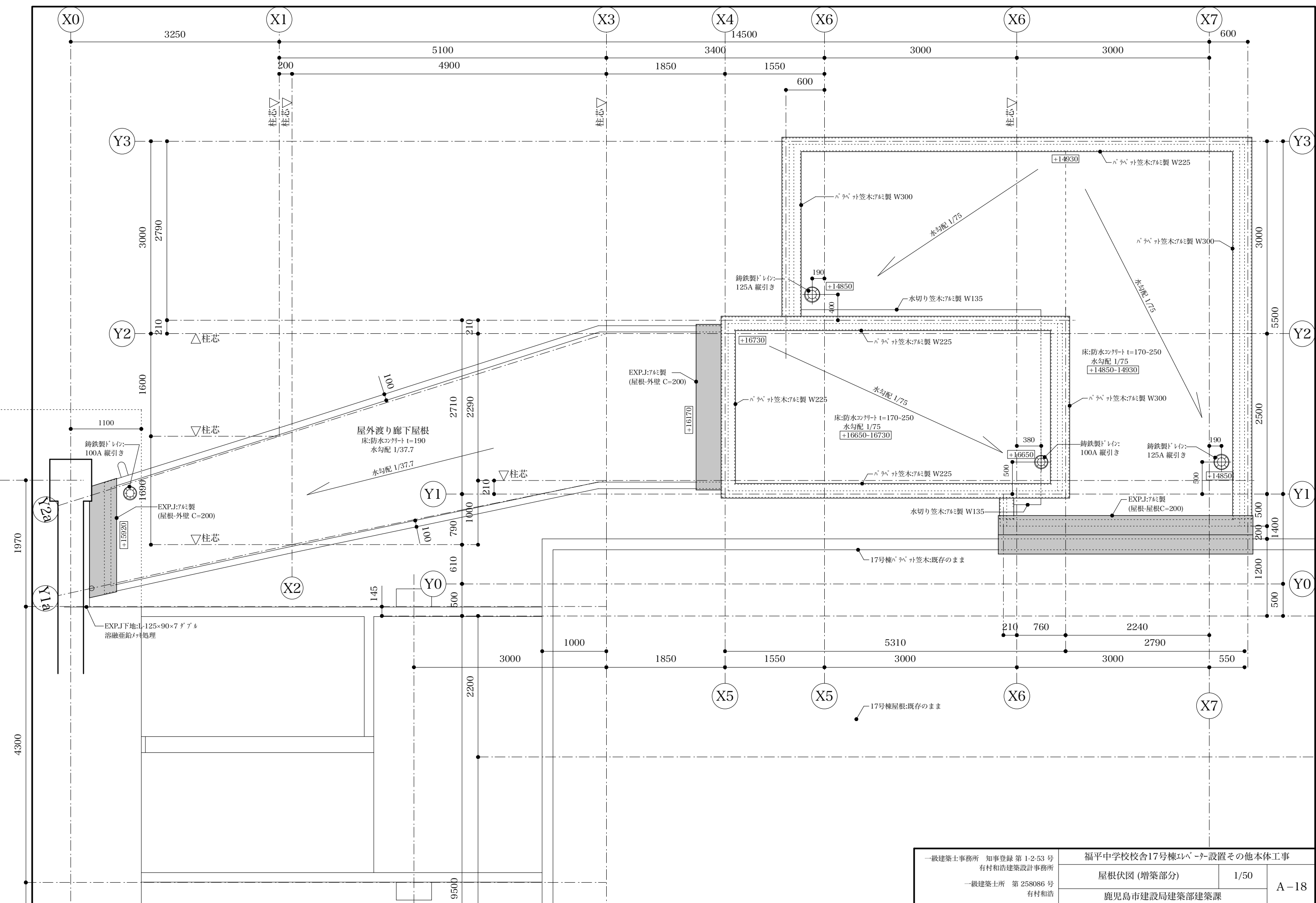
一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所 一級建築士所 第 258086 号 有村和浩	福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事		
	17号棟、25号棟 既存断面図	1/100	A-13
	鹿児島市建設局建築部建築課		

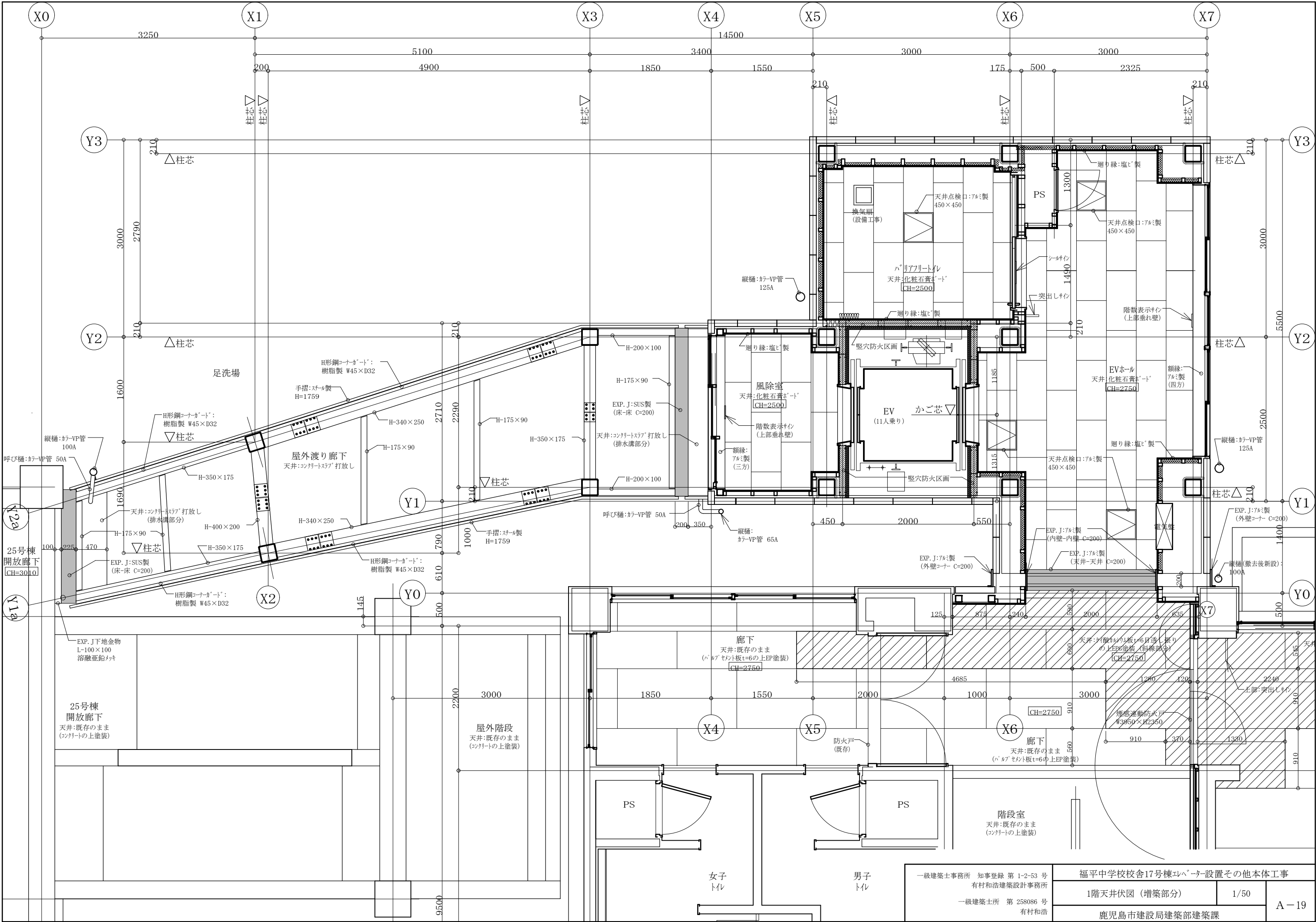


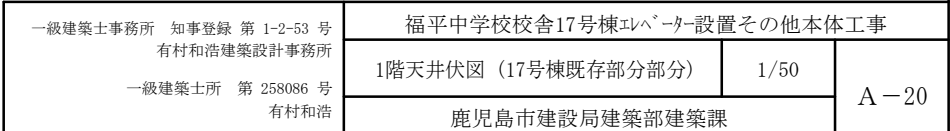


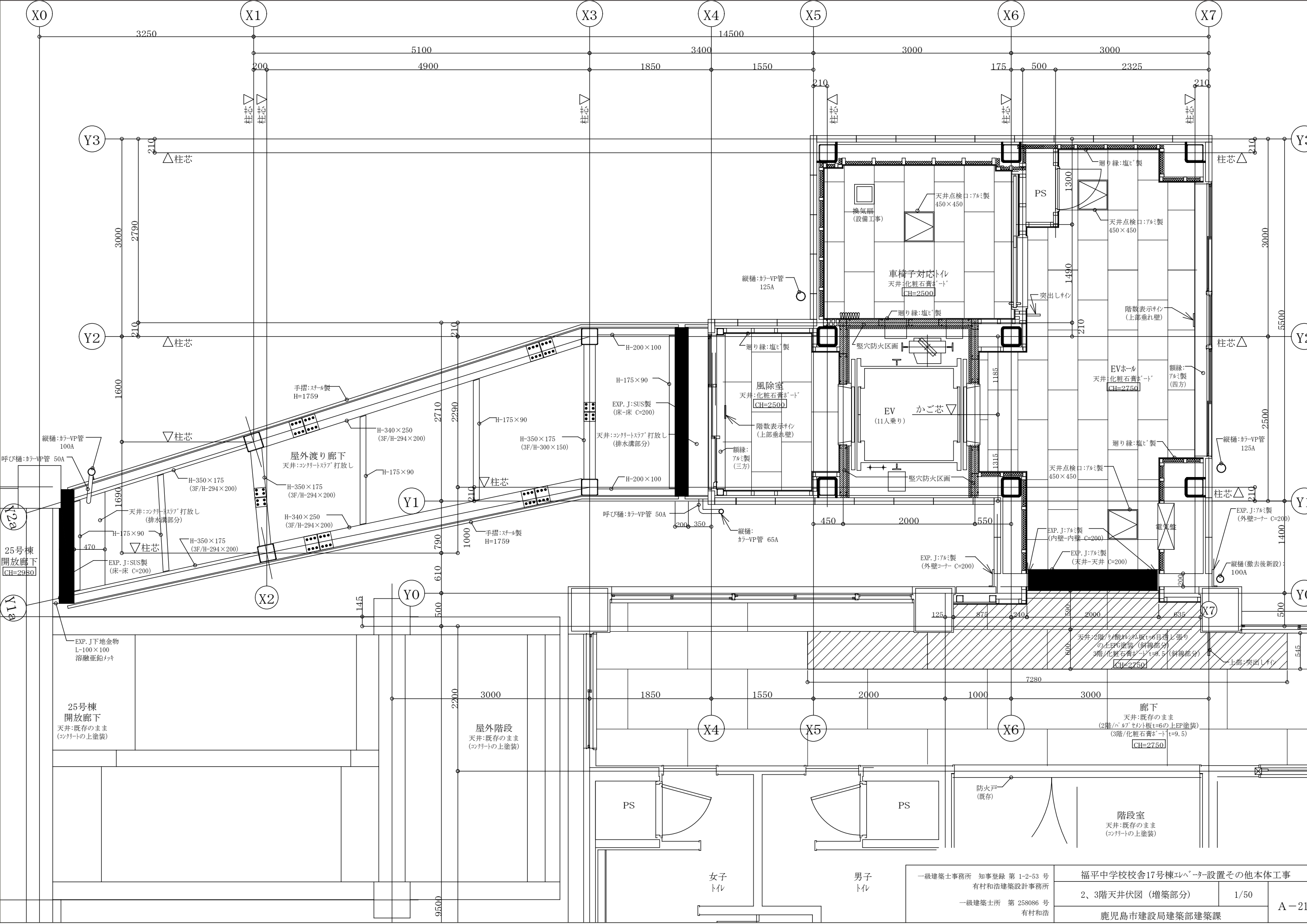


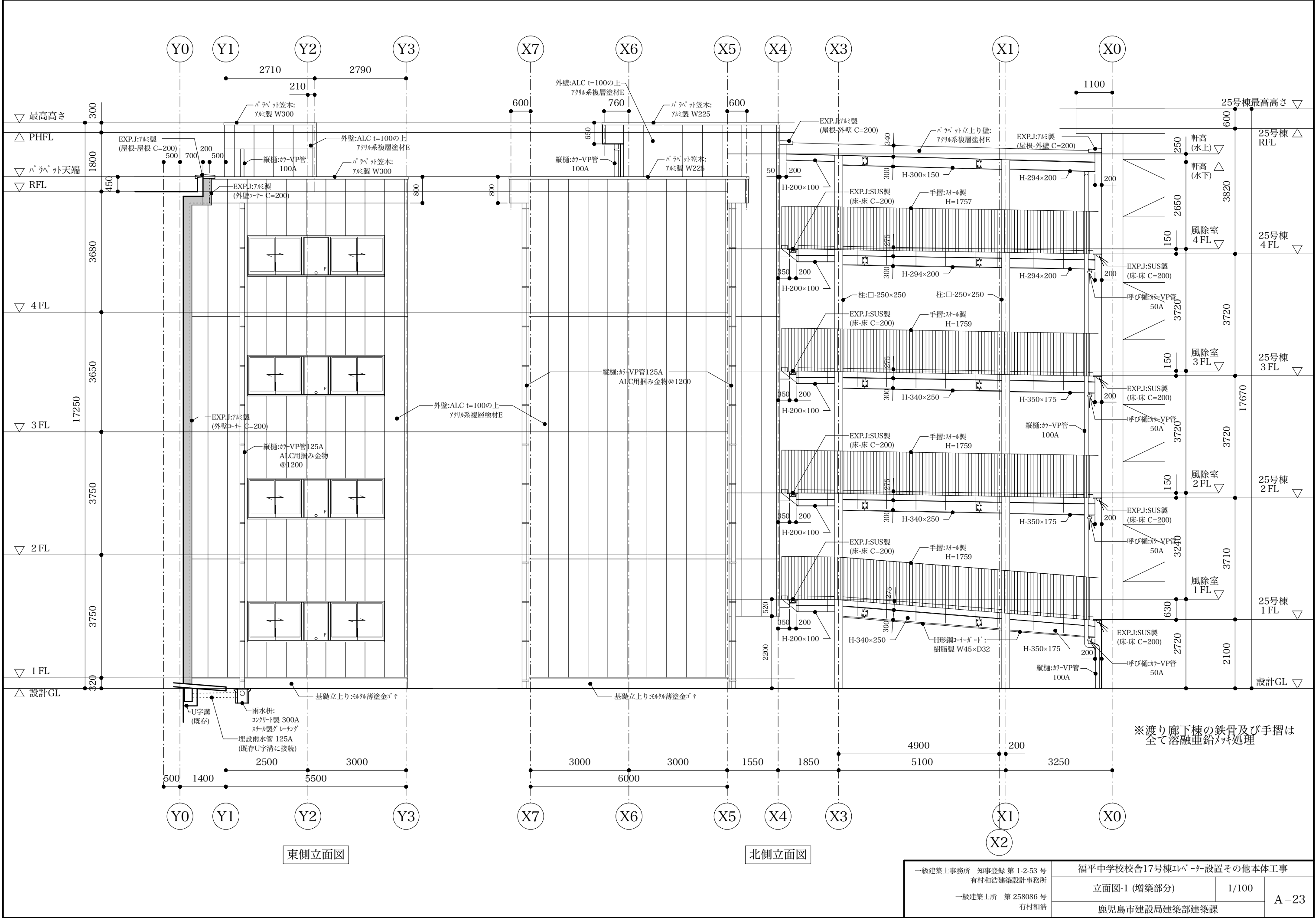








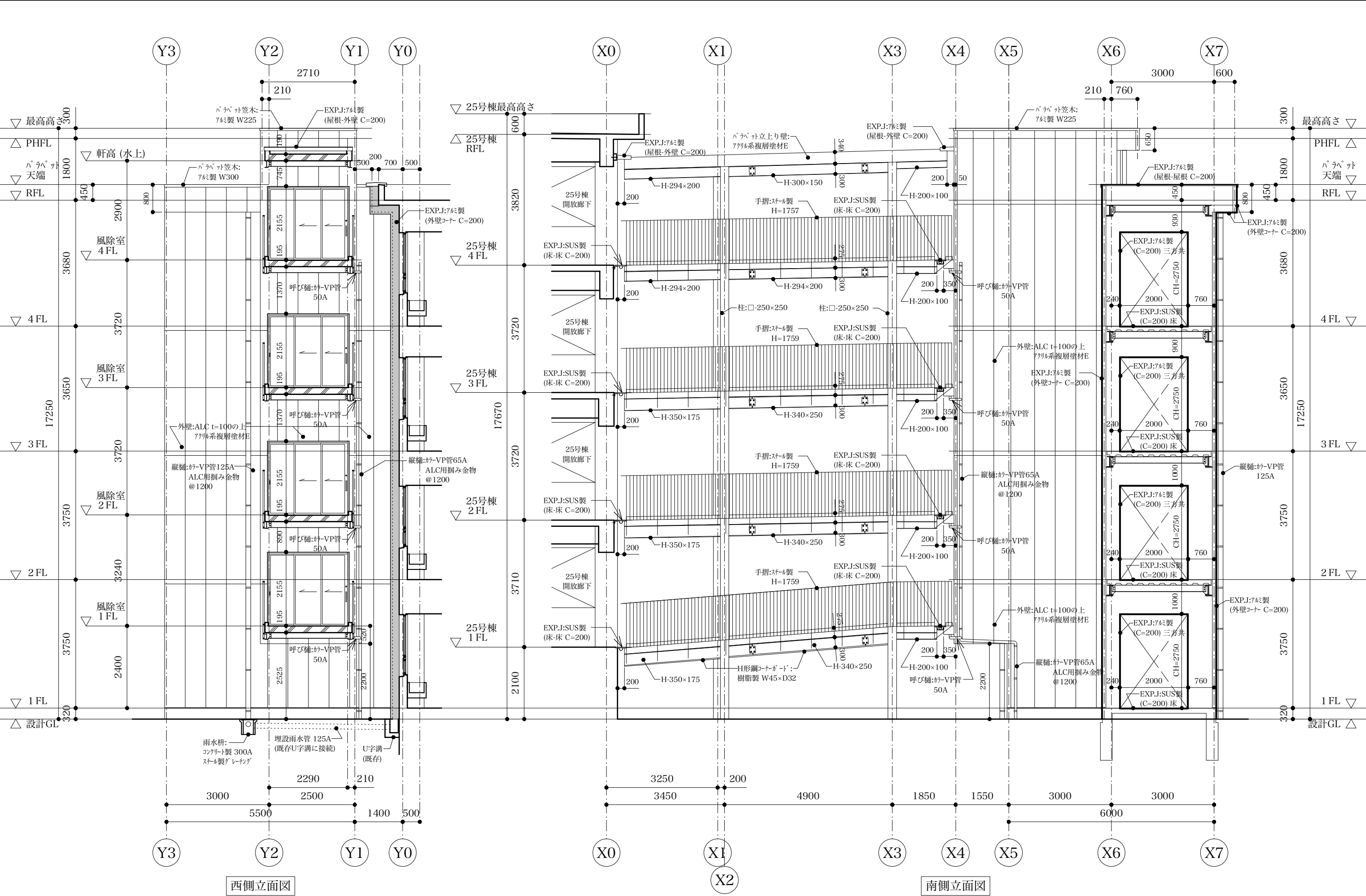


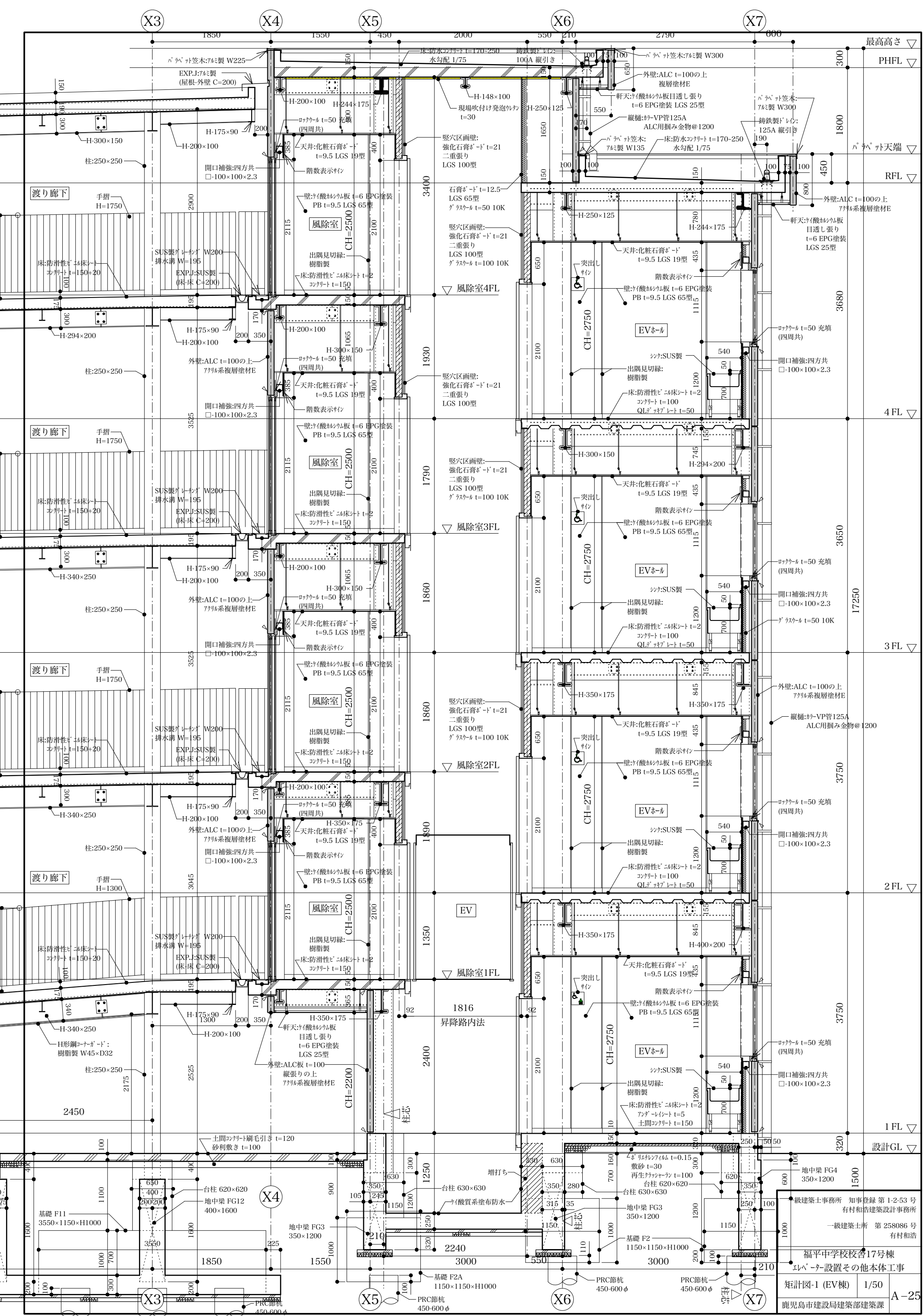


東側立面図

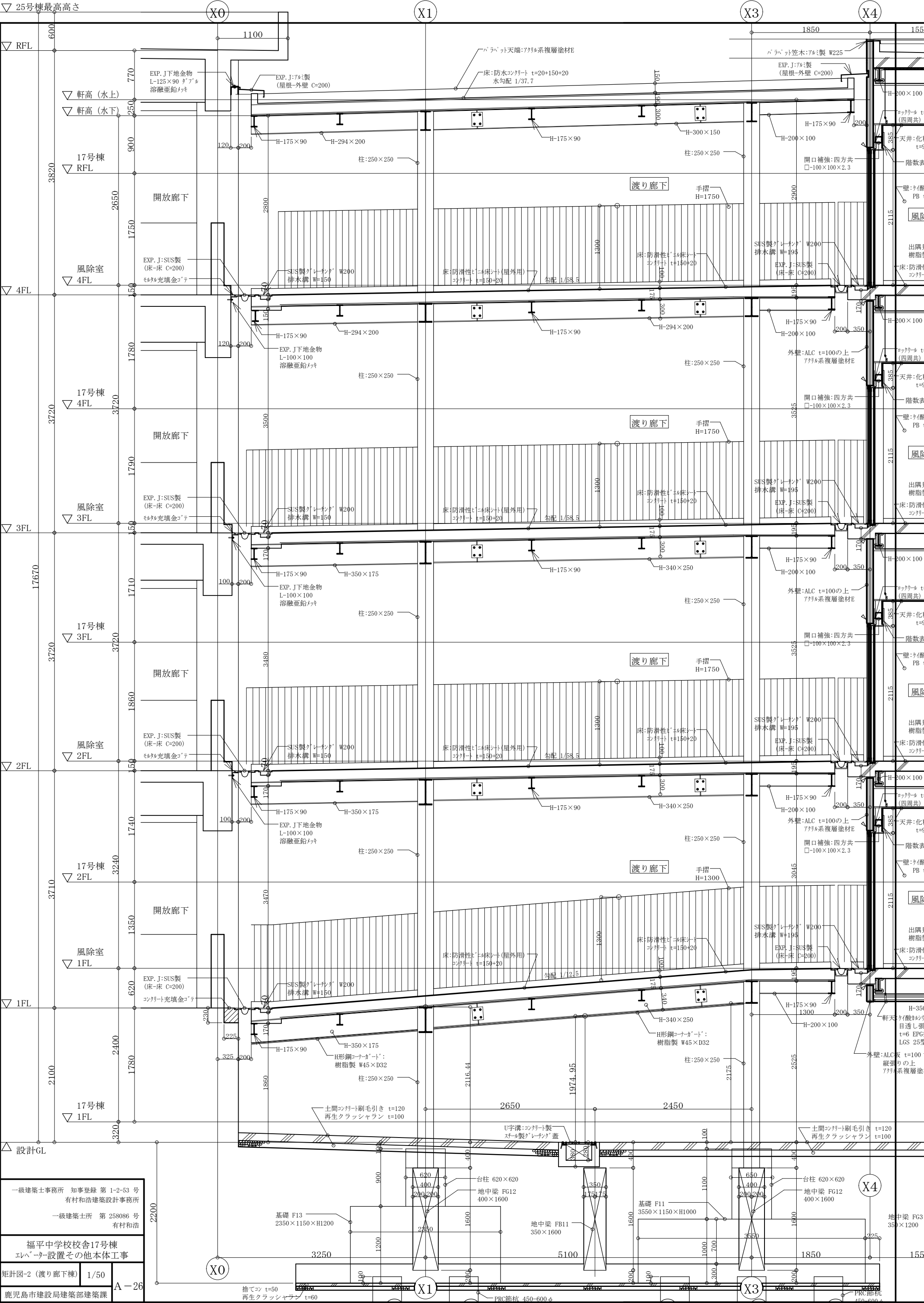
北側立面図

一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所 一級建築士所 第 258086 号 有村和浩	福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事		
	立面図-1 (増築部分)		1/100
	鹿児島市建設局建築部建築課		A-23

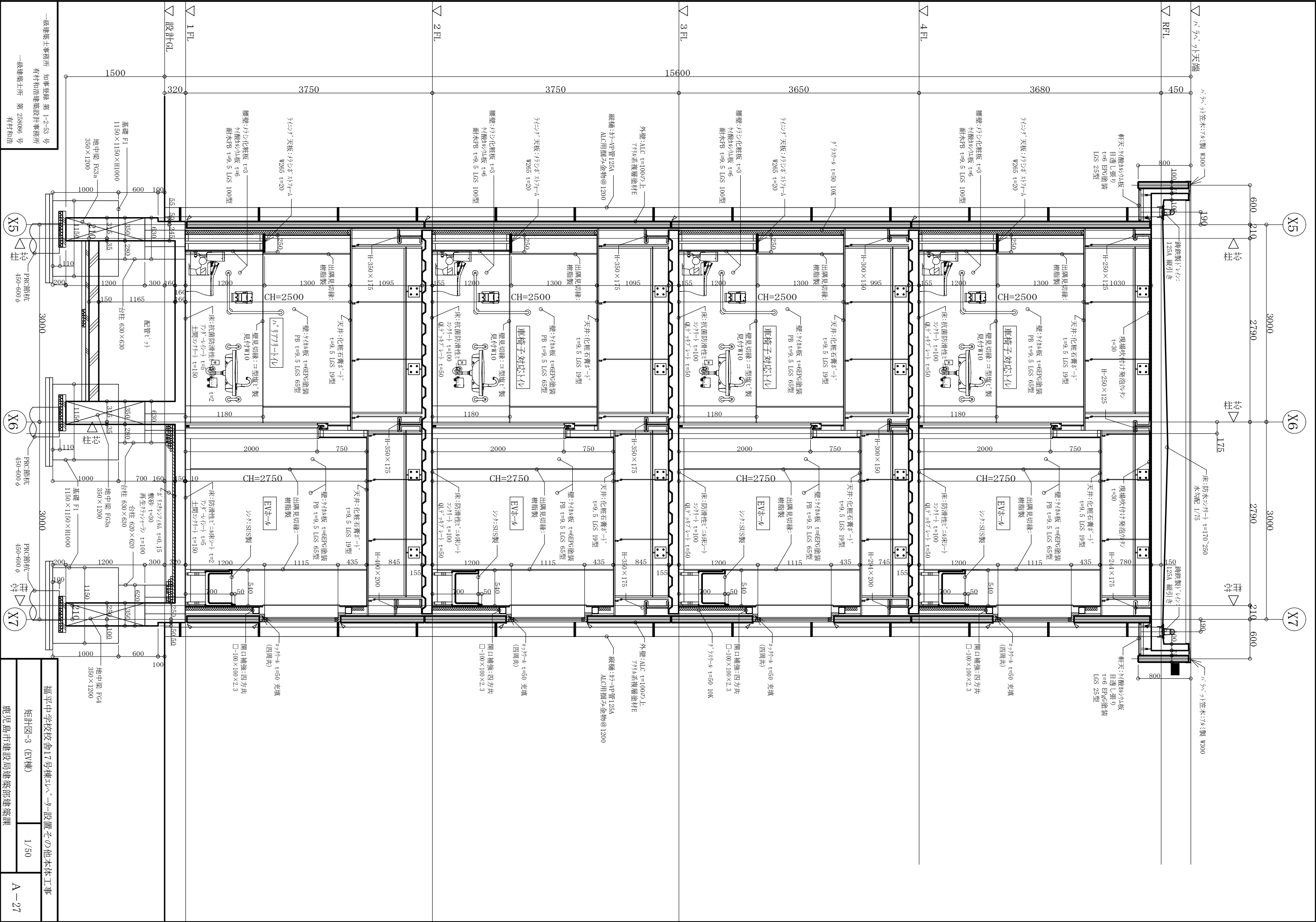


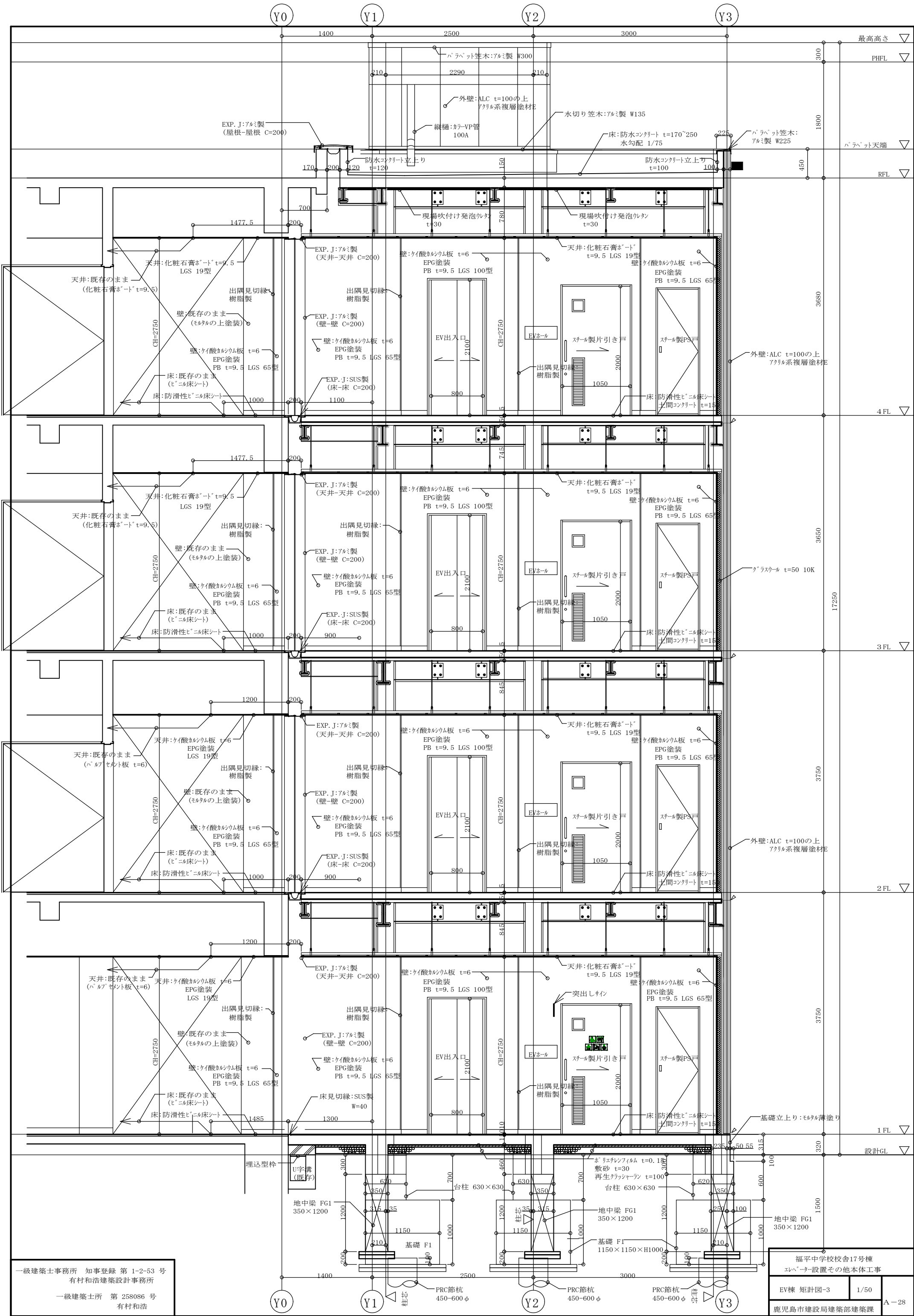


▽ 25号棟最高高さ



一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所	
一級建築士所 第 258086 号 有村和浩	
福平中学校校舎17号棟 エレベーター設置その他本体工事	
矩計図-2 (渡り廊下棟)	1/50
A-26	
鹿児島市建設局建築部建築課	

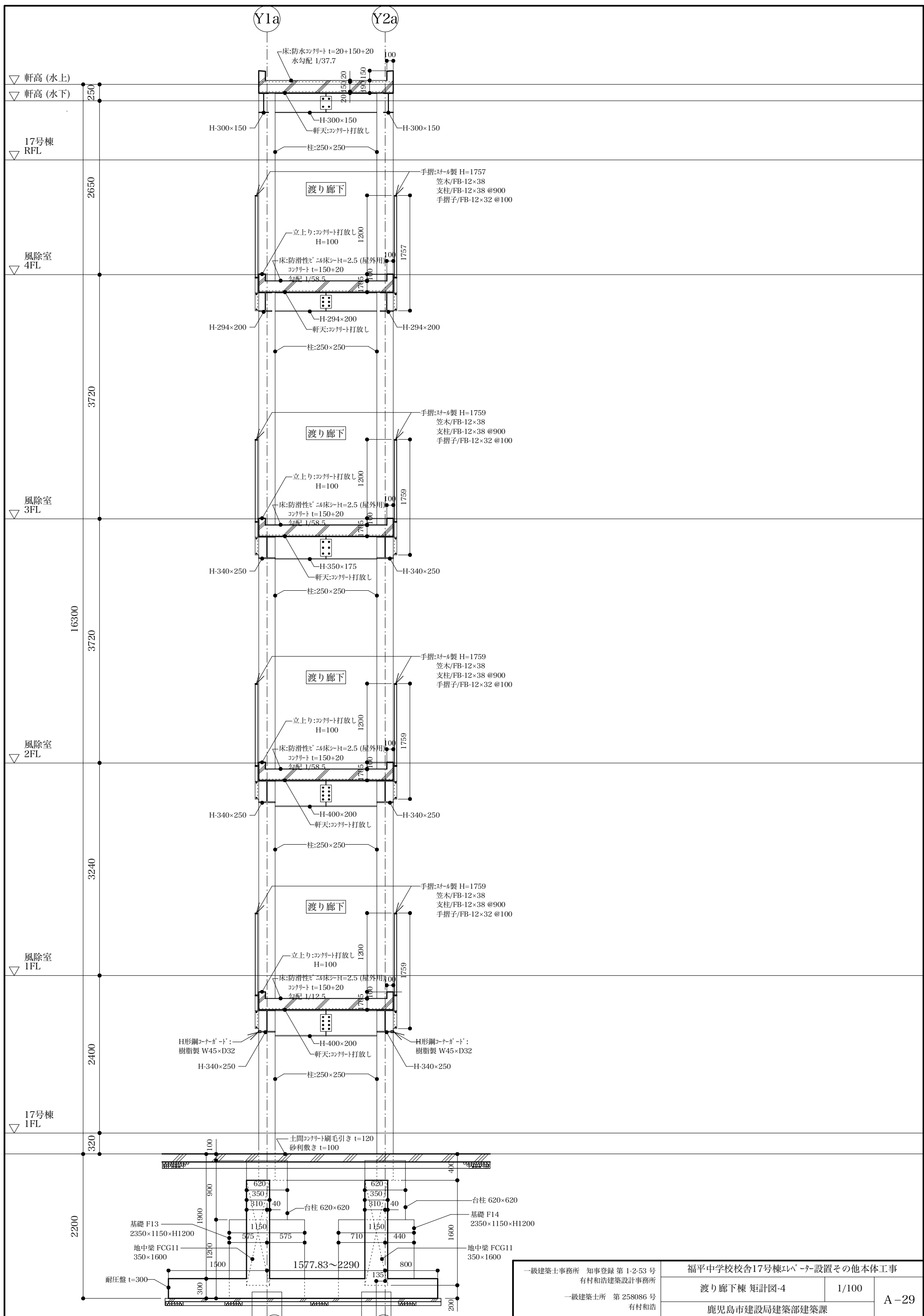


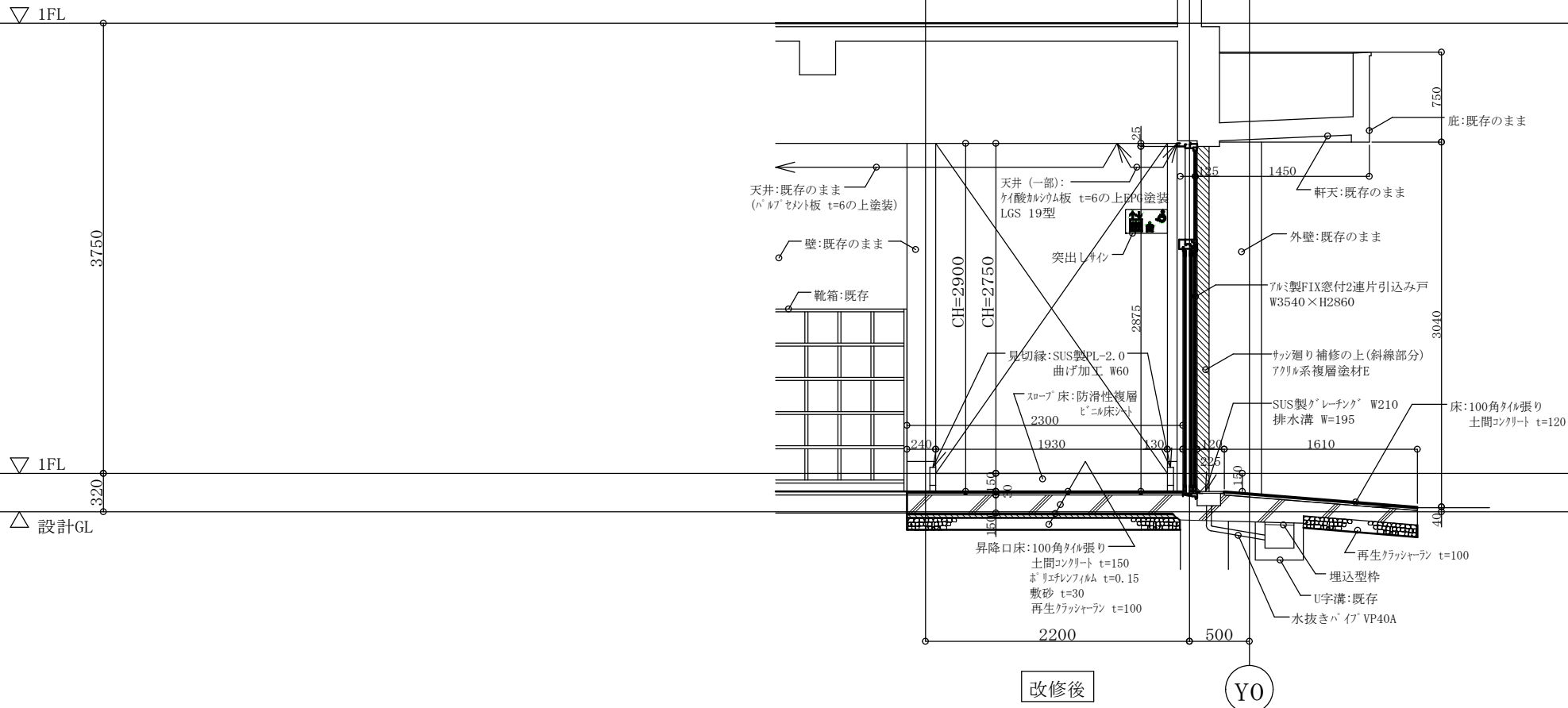
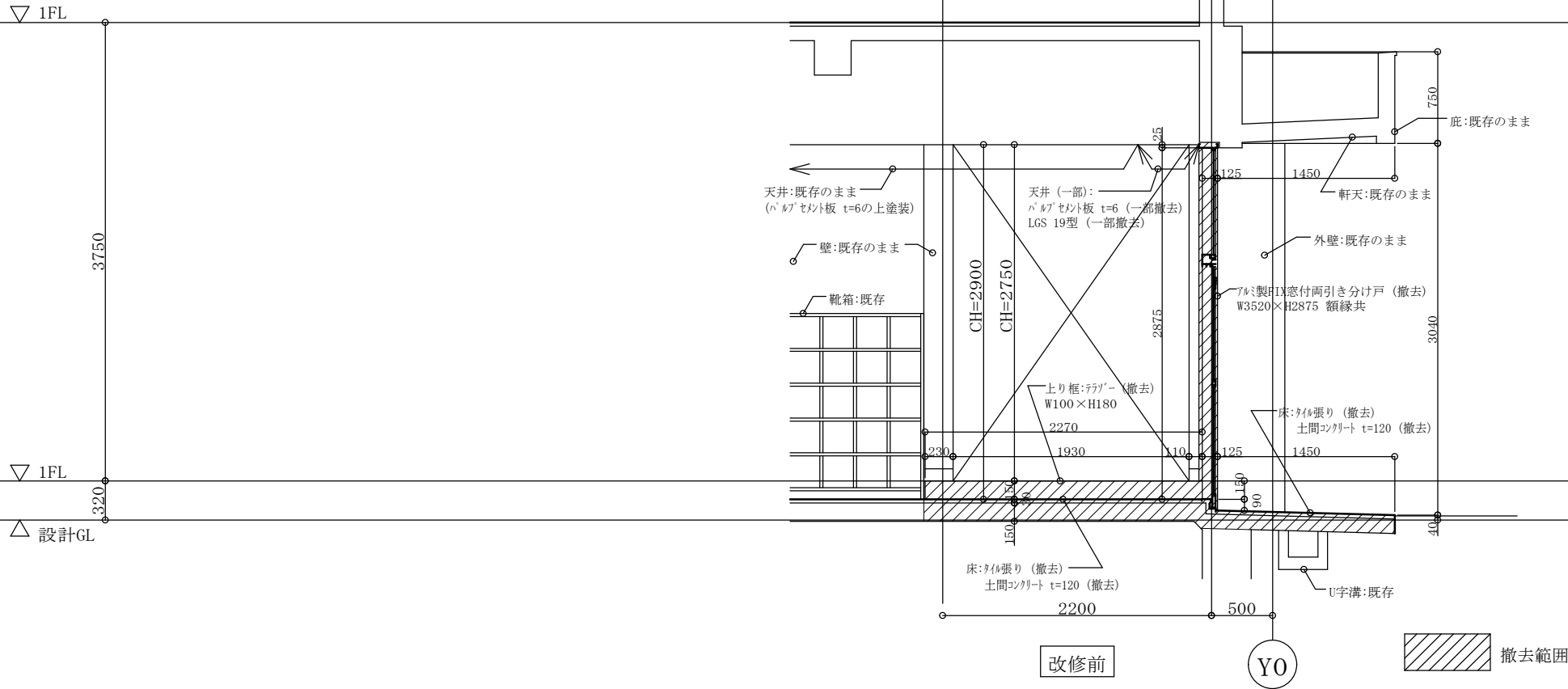


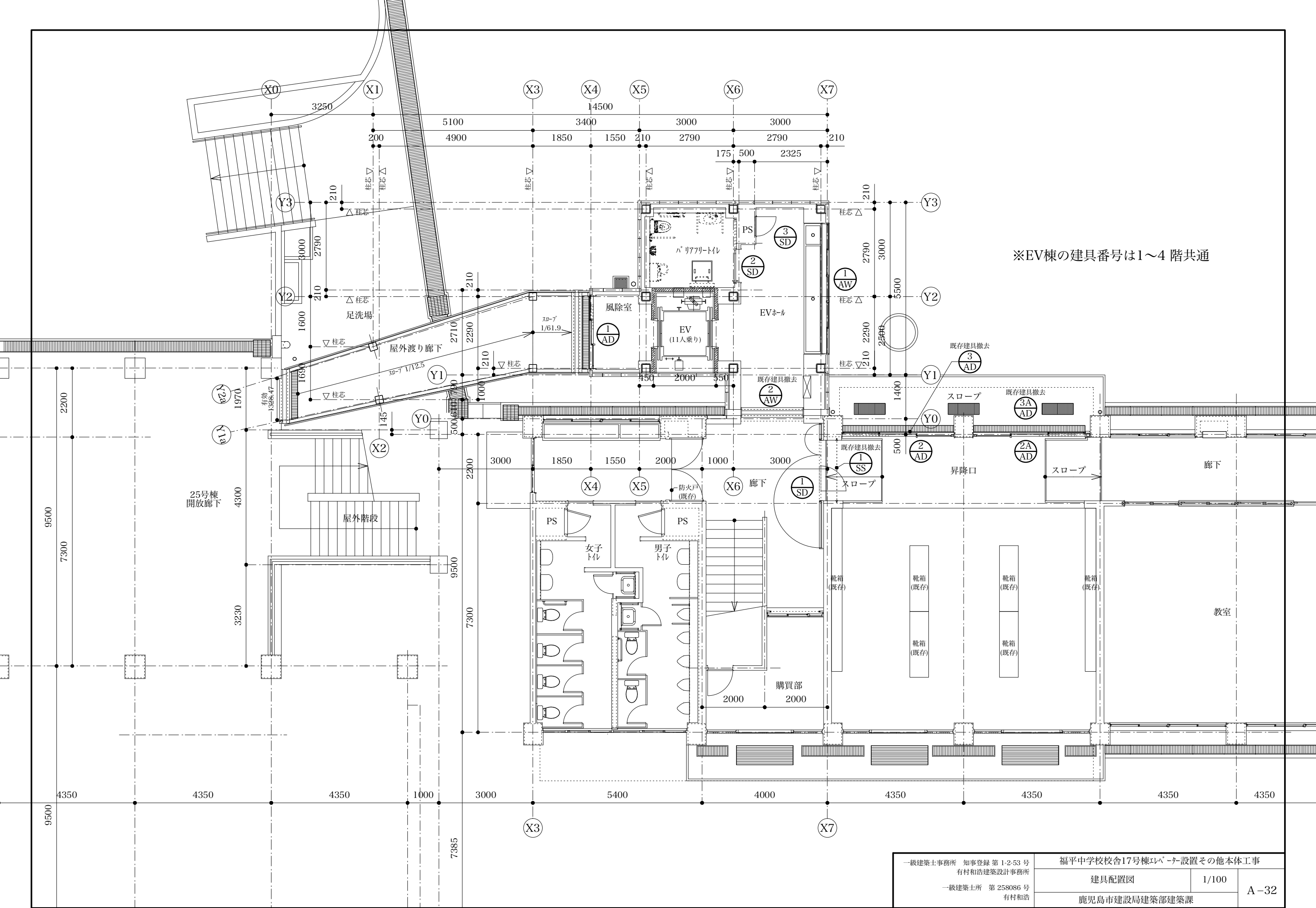
一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号
有村和浩建築設計事務所
一級建築士所 第 258086 号
有村和浩

福平中学校校舎17号棟
エレベーター設置その他本体工事

EV棟 矩計図-3	1/50	A-28
鹿児島市建設局建築部建築課		

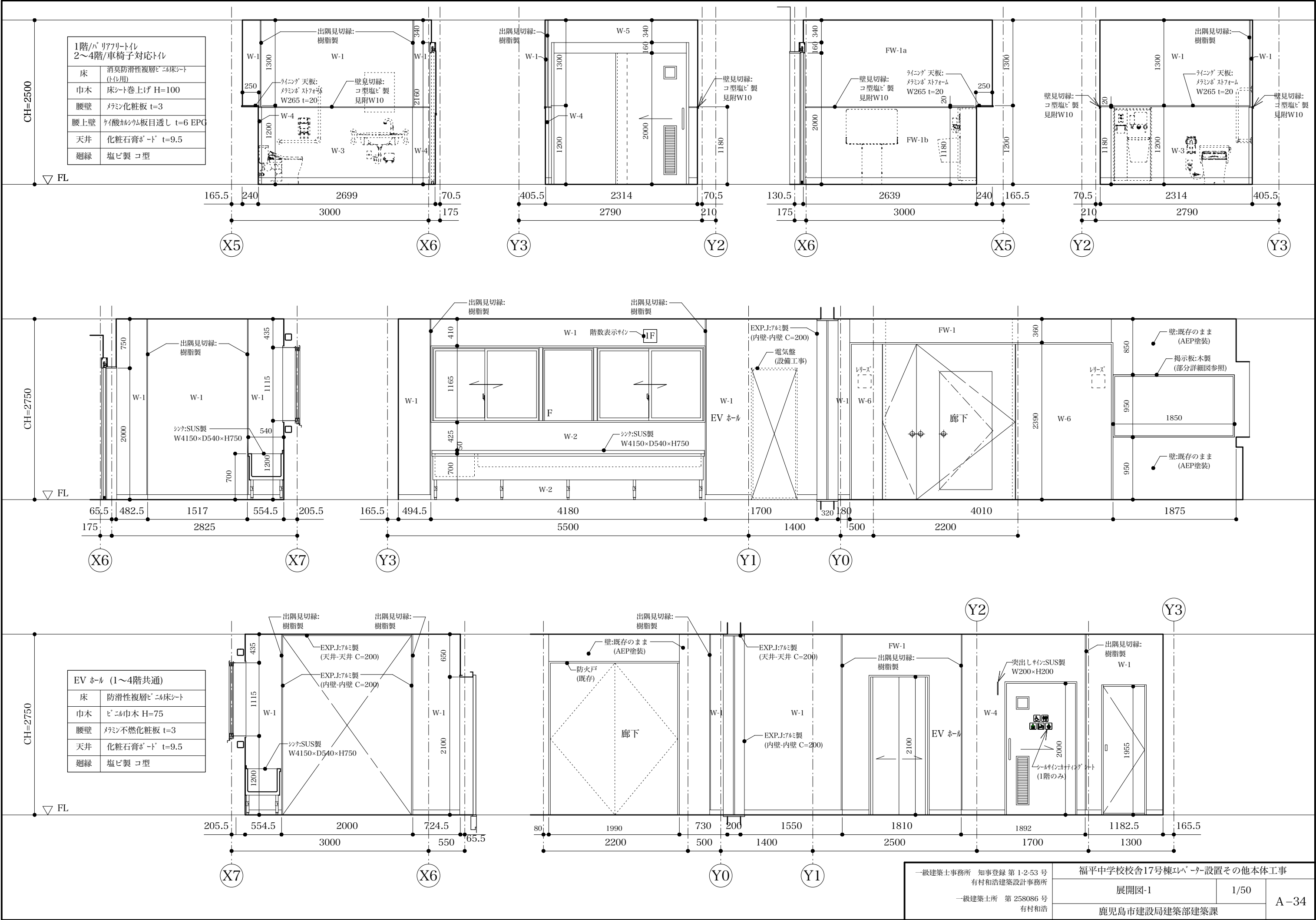


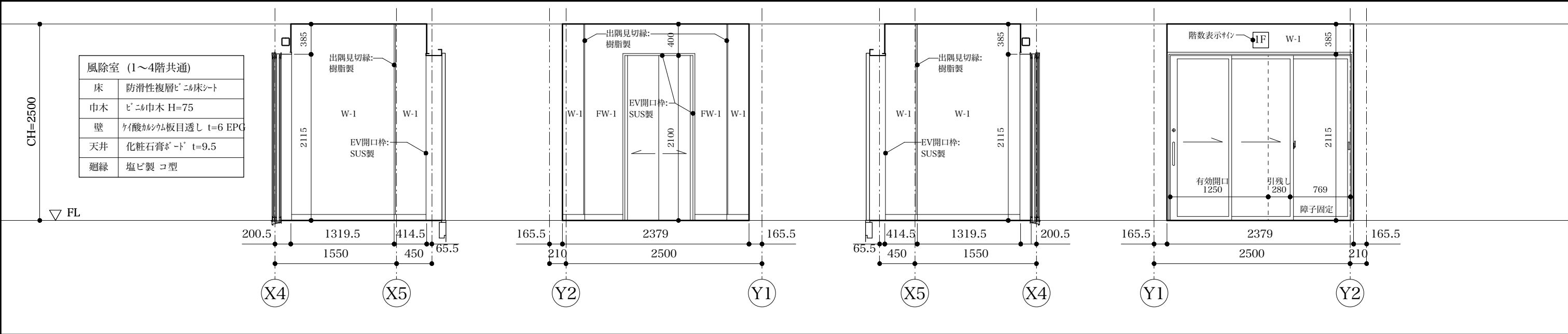




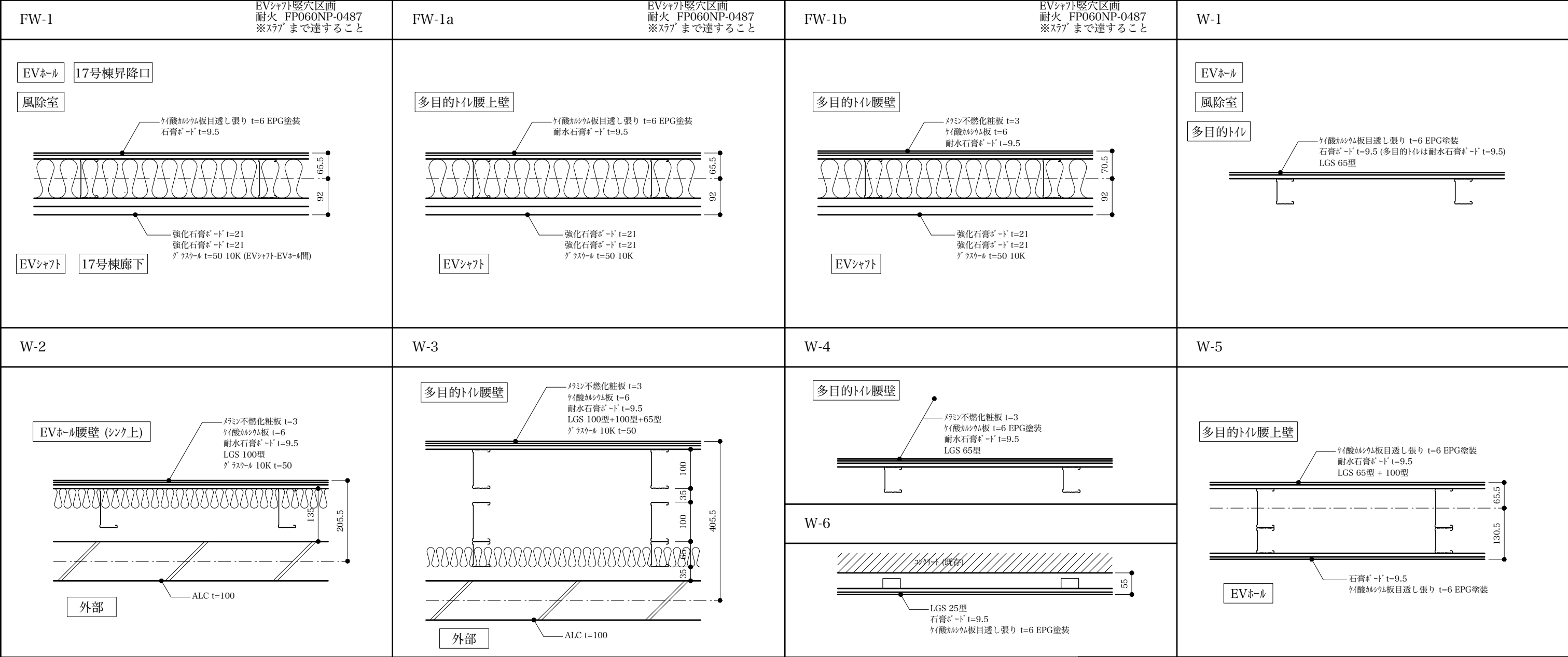
※EV棟の建具番号は1～4 階共通

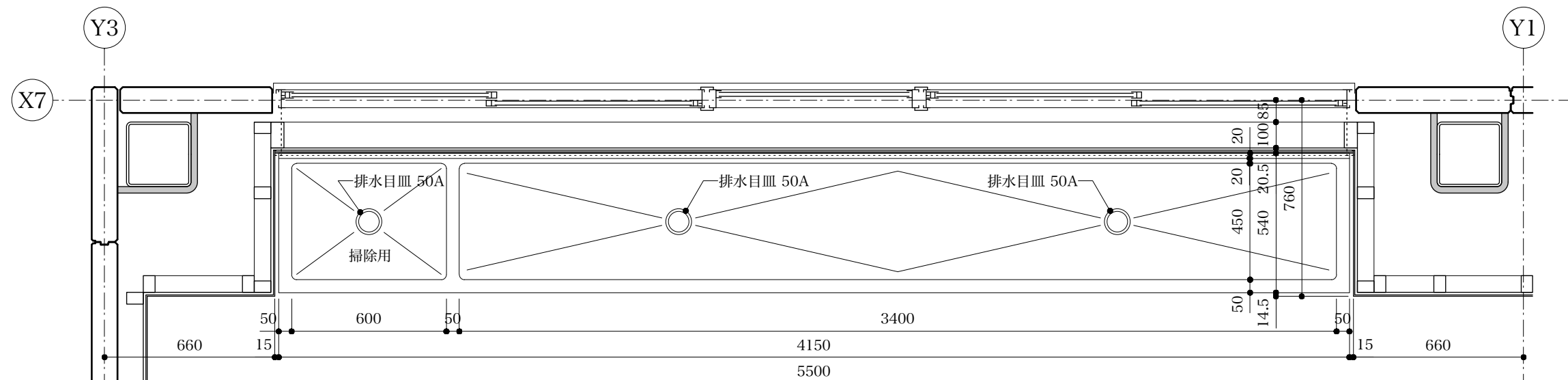
記号			場所			数量			AD-1			EV棟 中1～中4階風除室			4			AD-2			17号棟1階昇降口			1			SD-1			17号棟1階廊下			1			SD-2			EV棟1～4階多目的トイレ			4			SD-3			EV棟1～4階 PS			4																																																																									
姿 図 (内観図)									(新設)									(新設)									(新設)									(新設)									(新設)																																																																															
									▽ FL									▽ FL									▽ FL									▽ FL									▽ FL																																																																															
形 式			アルミ製3枚引違い框戸（袖部障子固定）																								アルミ製FIX段窓付3枚引違い框戸（袖部障子固定）																								スチール製親子開きフラッシュ防火戸（煙感知器連動）/ 常時開放特定防火設備																								スチール製手動上吊り式片引き戸（戸袋なし）																								スチール製片開き PS 戸（点検口）																									
建具			仕上		電解二次着色																								電解二次着色																								スチールPL-1.6 SOP																								化粧鋼板																								スチールPL-1.2 SOP																							
			見込		メーカーによる																								メーカーによる																								40																								40																								25																							
枠 額縁			仕上		電解二次着色																								電解二次着色																								スチールPL-2.3 SOP																								化粧鋼板																								スチールPL-1.2 SOP																							
			見込見付		120・25																								120・25																								120・40、160・25、50・60																								240・40／25																								60・25																							
ガラス			Low-E複層ガラス／透明Low-E t=3（外側）+A6+透明強化 t=4（内側）																								Low-E複層ガラス／透明強化 t=4（外側）+A6+透明Low-E t=3（内側）																								—																								型板ガラス t=4																								—																									
金 物			戸先錠、クレセント、SUS製引手棒 L=300																								戸先錠、クレセント、SUS製引手棒 L=300、SUS製フラット下枠																								SUS製ケースハンドル、オートヒンジ																								SUS製引手棒、表示付シリンダー錠、自閉装置																								平面ハンドル（鍵付）																									
			SUS製フラット下枠、アルミ製額縁 L=130、アルミ製断熱パネル t=18																								アルミ製額縁 L=50、アルミ板カバーPL-2.0曲げ加工 W175（外側）、アルミ製断熱パネル t=18																								電磁レリーズ（煙感知器連動）																								戸先・戸尻ゴム、明り窓、換気ガラリ（山型）																								SUS製蝶番、戸当りゴム																									
備 考			面一枠																								面一枠																																																																																																	
記号			場所			数量			AW-1			EV棟1～4階EVホール			4			AW-2			17号棟1～4階廊下			4			AD-3			17号棟1階昇降口			1			SS-1			17号棟1階廊下			1																																																																																		
姿 図 (内観図)									(新設)									(撤去)									(撤去)									(撤去)									(撤去)																																																																															
									▽ FL									▽ FL									▽ FL									▽ FL									▽ FL																																																																															
形 式			アルミ製中央FIX窓付両袖引違い連窓																								アルミ製引違い段窓付引違い連窓（既存撤去）																								アルミ製FIX段窓付両引分け框戸（既存撤去）																								スチール製煙感知器連動防火シャッター（既存撤去）																																																	
建具			仕上		電解二次着色																								電解二次着色																								電解二次着色																								スラット：スチールPL-1.6																																															
			見込		メーカーによる																								メーカーによる																								メーカーによる																								—																																															
枠 額縁			仕上		電解二次着色																								枠：電解二次着色 額縁：木製 OP																								電解二次着色																								ガイドレール：スチールPL-1.6 SOP																																															
			見込見付		70・25																								枠：70 額縁：50・25																								100・25																								60・55																																															
ガラス			Low-E複層ガラス／透明強化 t=4（外側）+A6+透明Low-E t=3（内側）																								透明強化 t=4																								透明強化 t=4																								—																																																	
金 物			クレセント、クレセント受け、戸車																								クレセント、クレセント受け																								大型クレセント、クレセント受け、SUS製下枠 W115×H90																								スチール製座板、スチール製まぐさ、スチール製ケース																																																	
			アルミ製額縁 L=190、水切り L=35																																																アルミ製額縁（三方）L=60、アルミパネル t=2																								手動閉鎖装置、開閉機																																																	
備 考			ALC枠																																																																																																																									
※ALC外壁部のアルミ製建具（AD-1、AW-1）廻りはロックウール t=50 充填及び二重シールとする。																								一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所 一級建築士所 第 258086 号 有村和浩												福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事																																																																																								
																								建具表												1/50																																																																																								
																								鹿児島市建設局建築部建築課												A-33																																																																																								



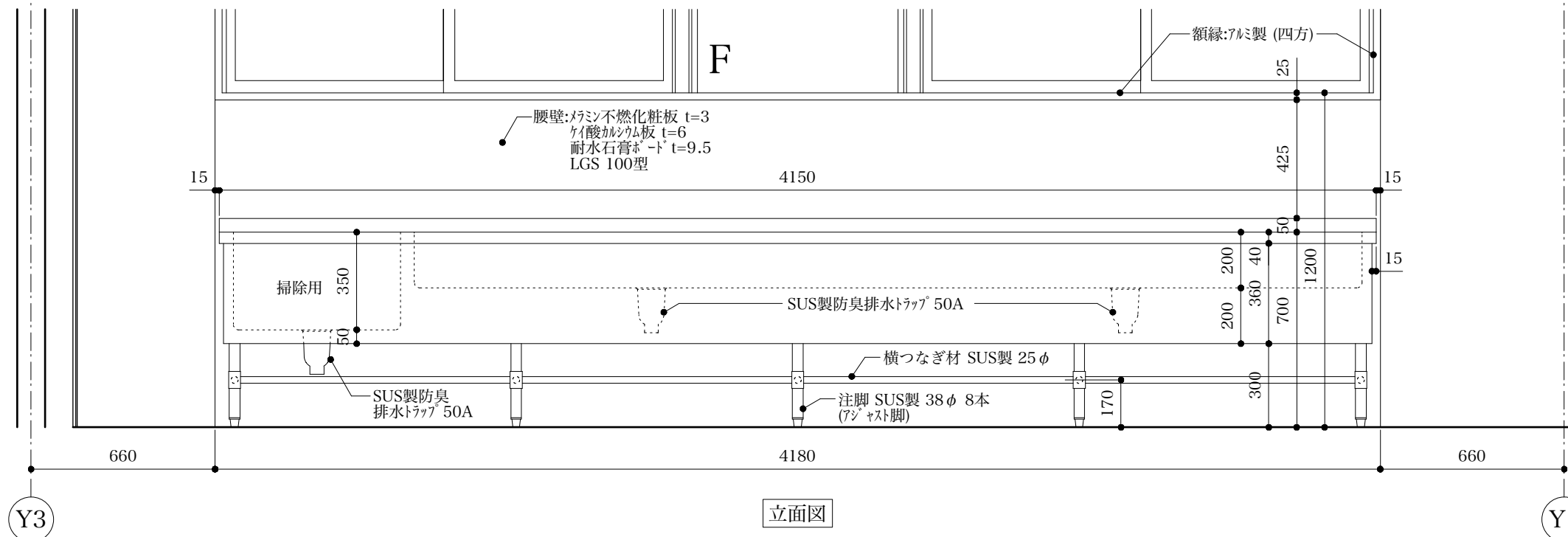


壁リスト S:1/10

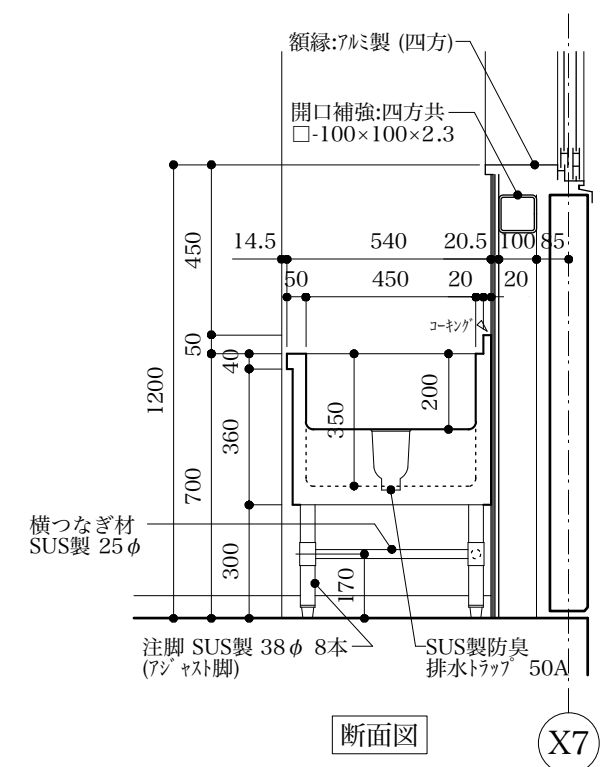




平面図



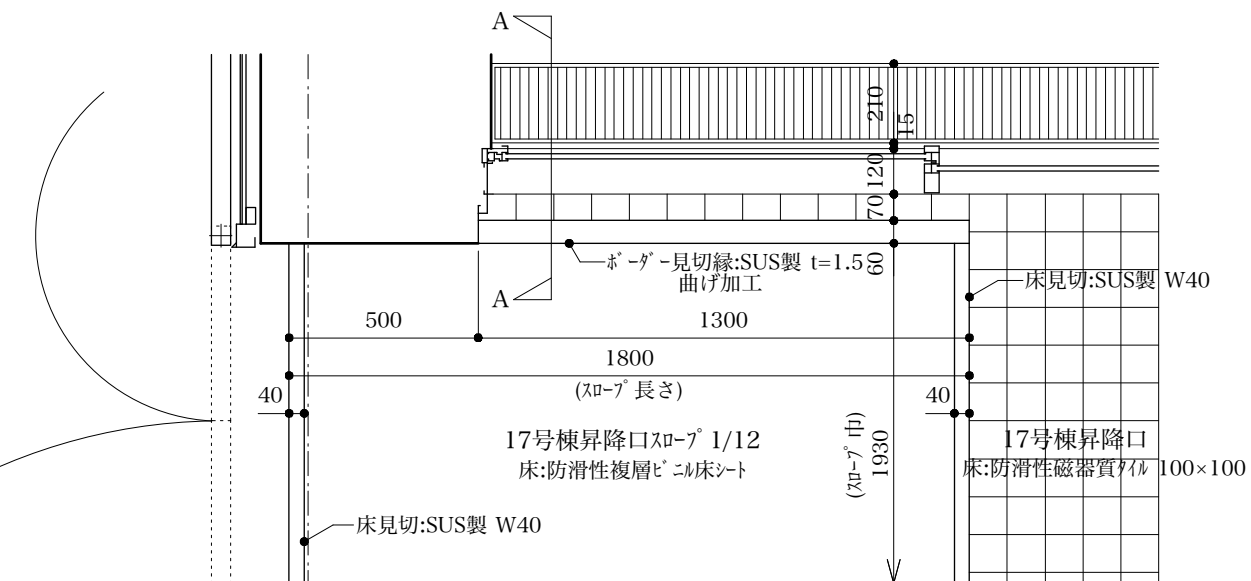
立面图



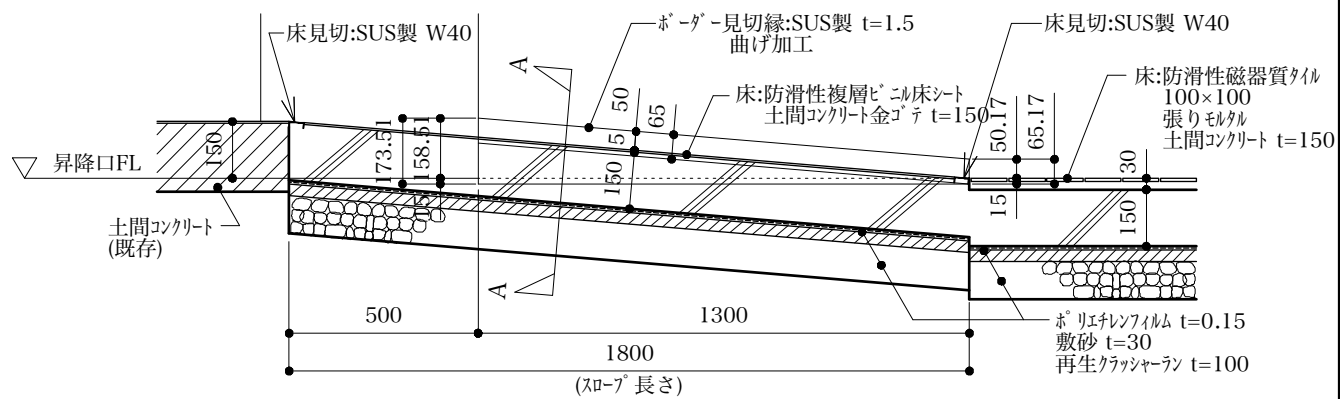
断面図

シンク：ステンレス製 (SUS 304) t=1.2
(シンク裏面/発泡材裏打ち)
W4150×D540×H700+50
※脚部は床面に固定すること。

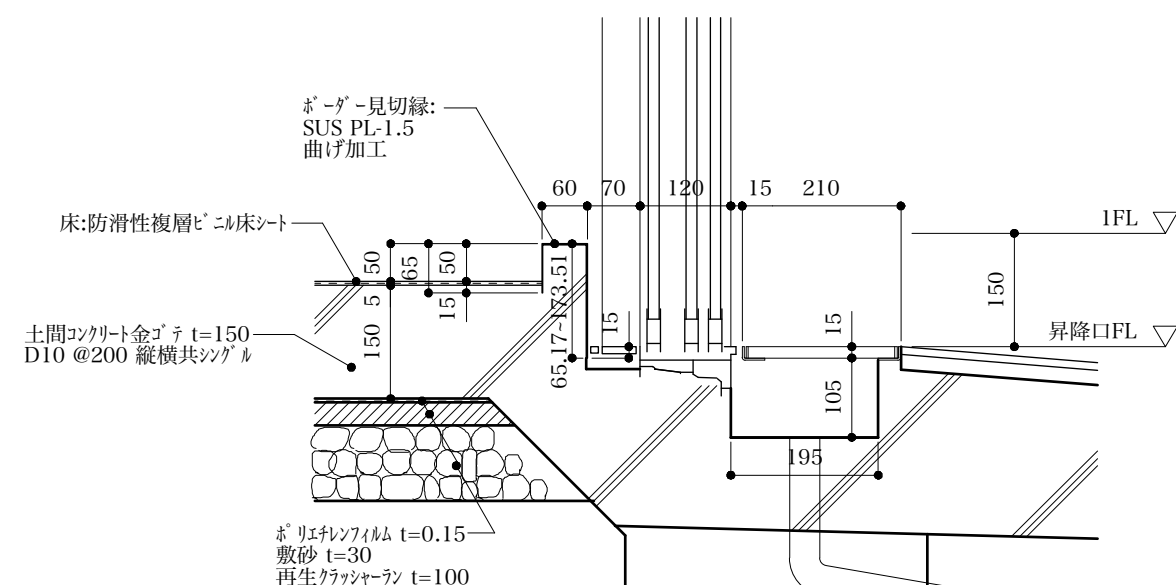
17号棟昇降口スロープ見切縁 S:1/20、S:1/10



平面図 S:1/20

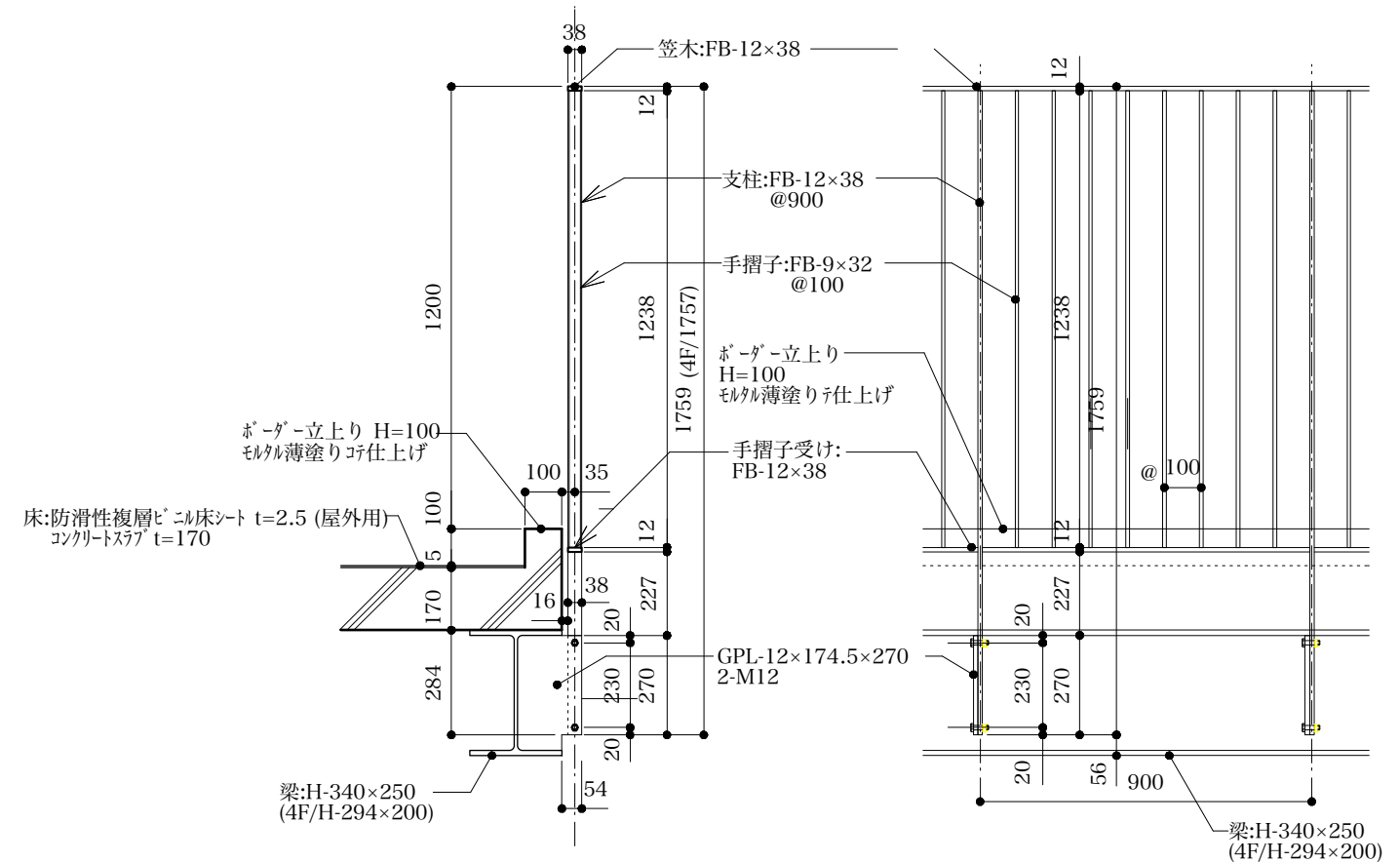


断面図 S:1/20



A-A断面図 S:1/10

渡り廊下手摺 S:1/20



断面図

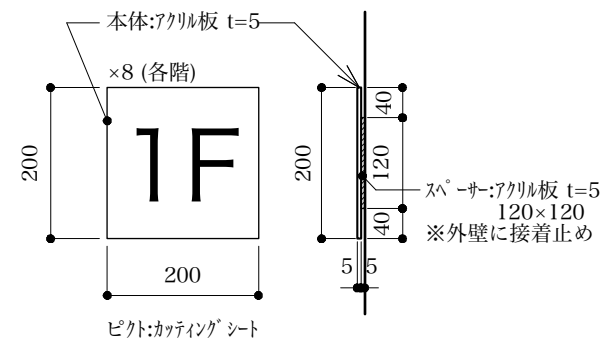
※スチール手摺は全て溶融亜鉛メッキ仕上

立面図

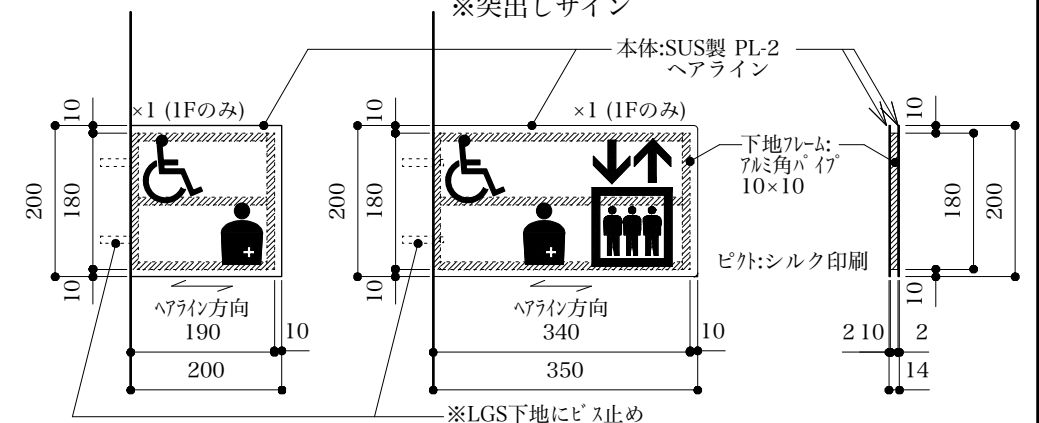
サイン S:1/10

※字体は丸ゴシックとする。
※表示内容は監督員の指示による。

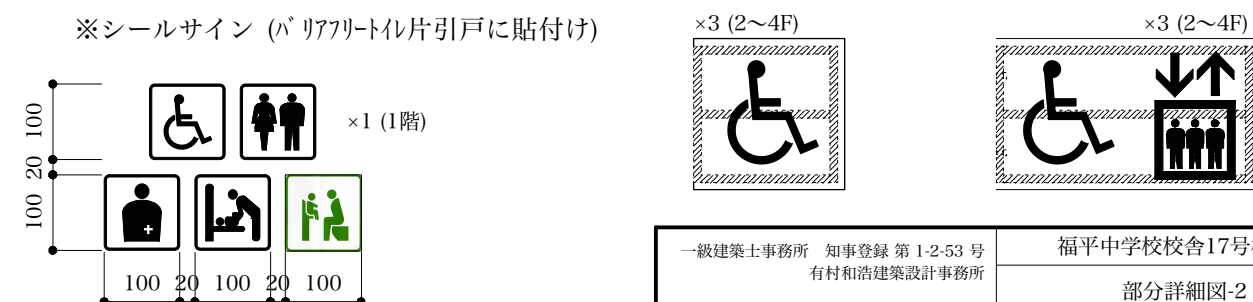
※階数表示サイン

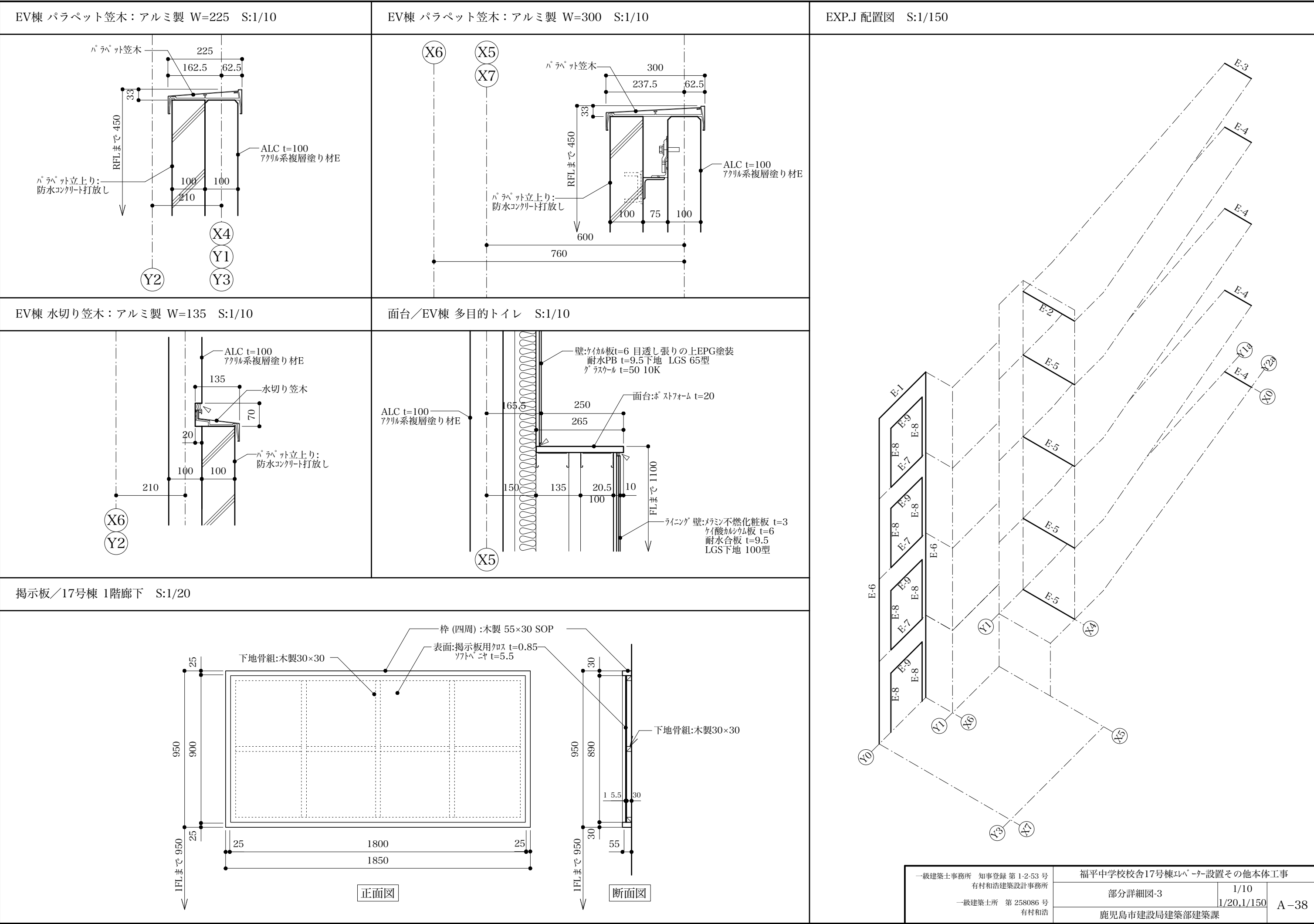


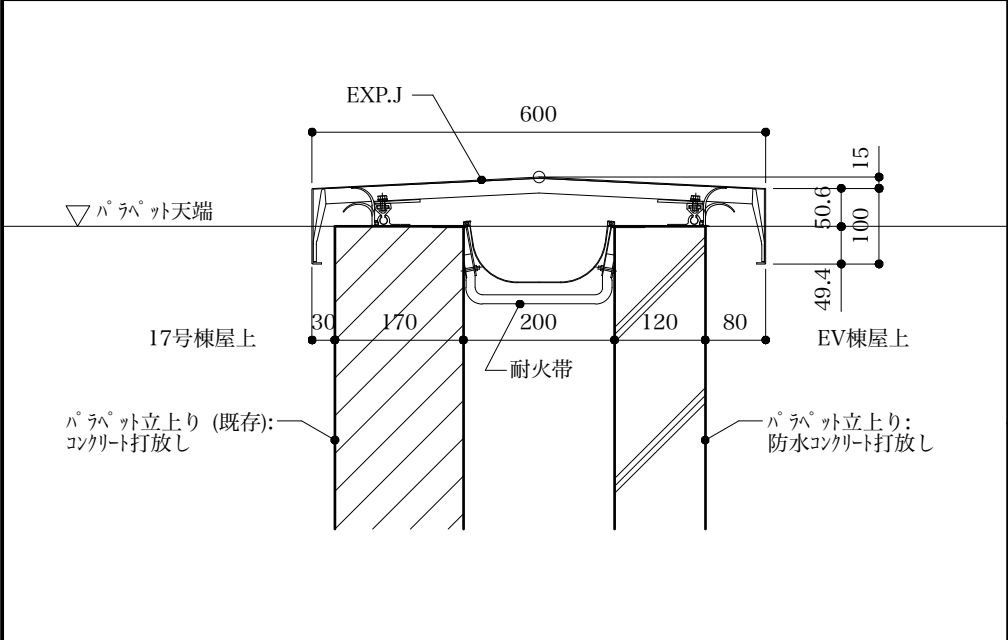
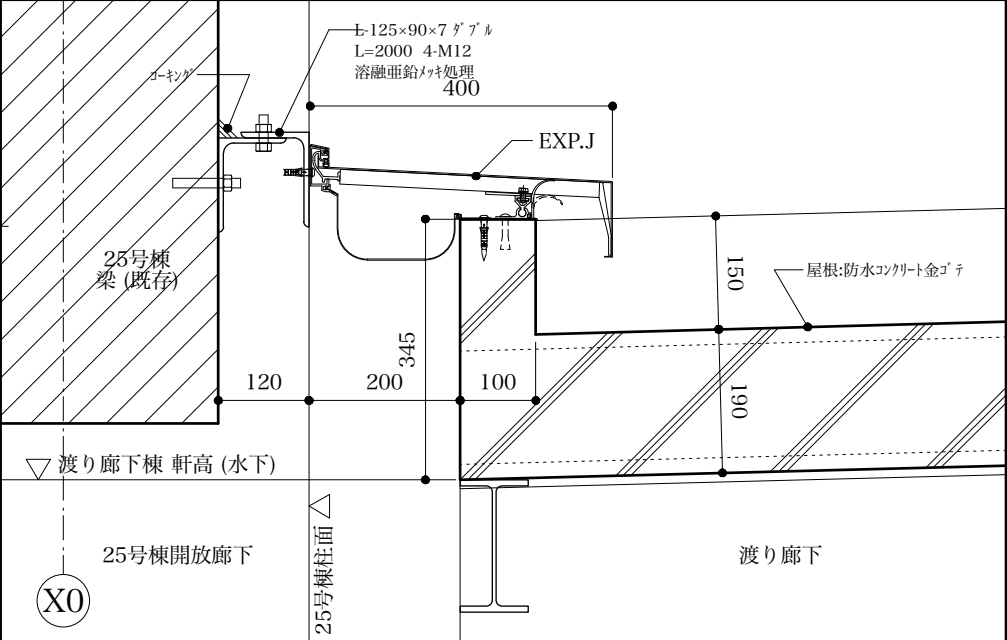
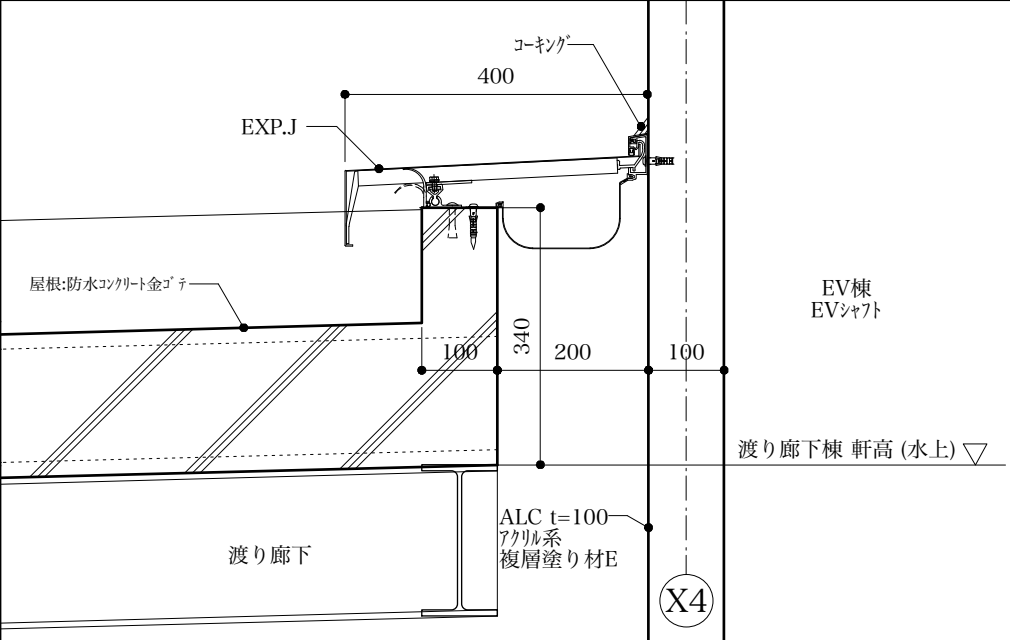
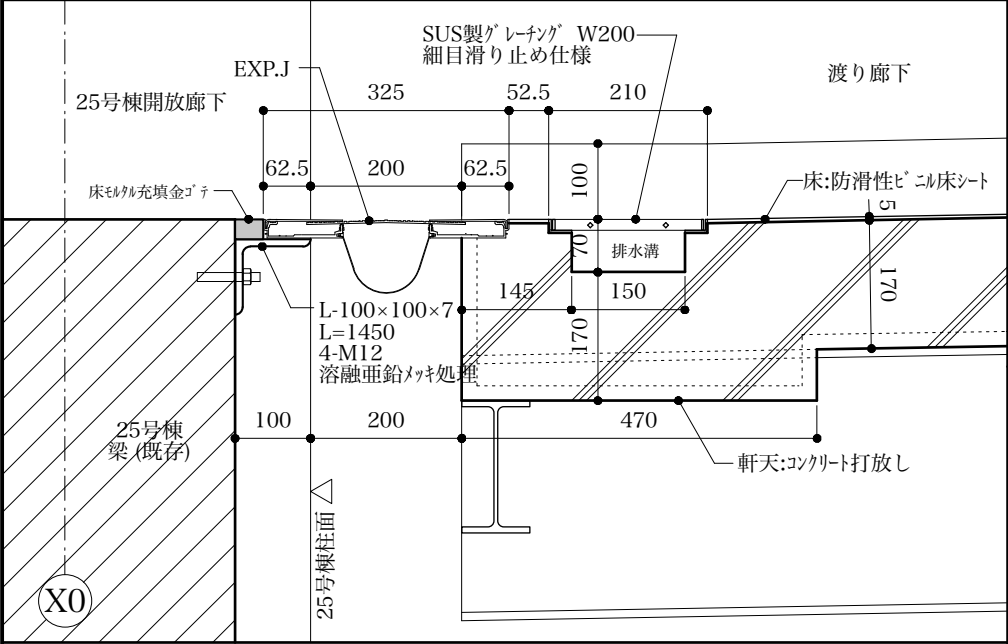
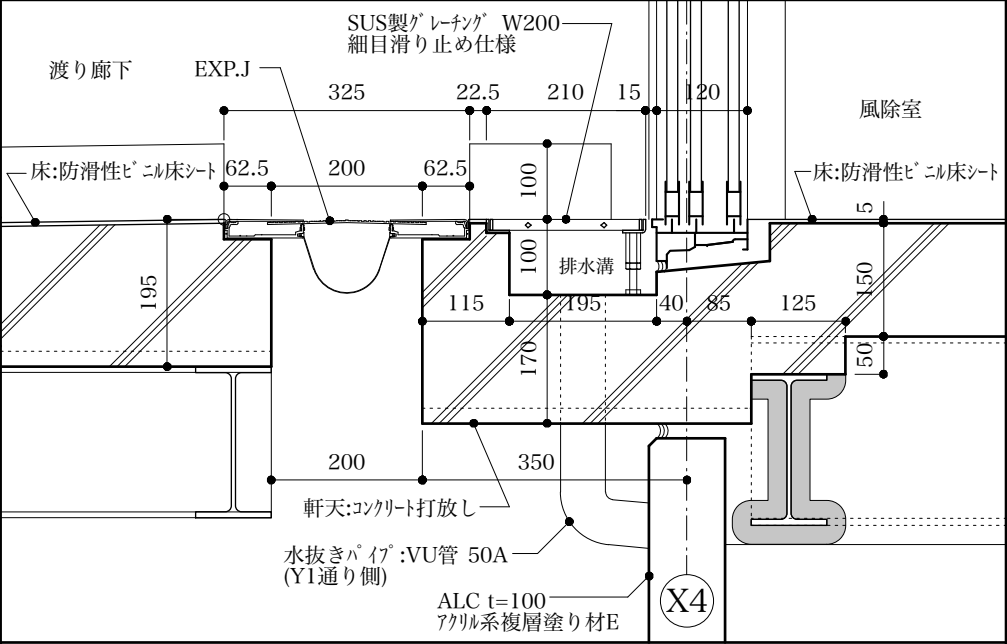
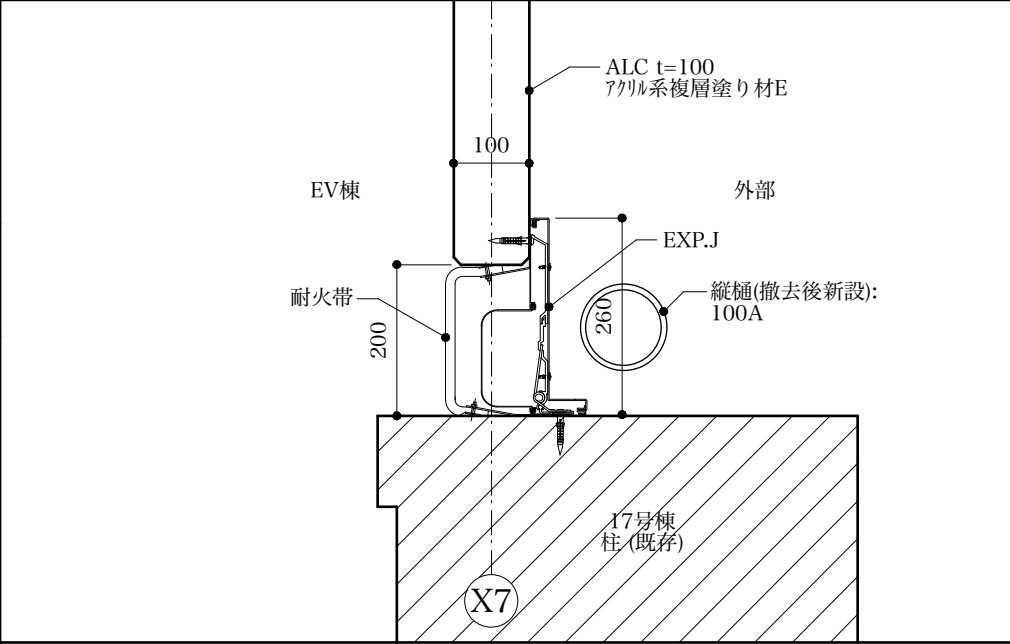
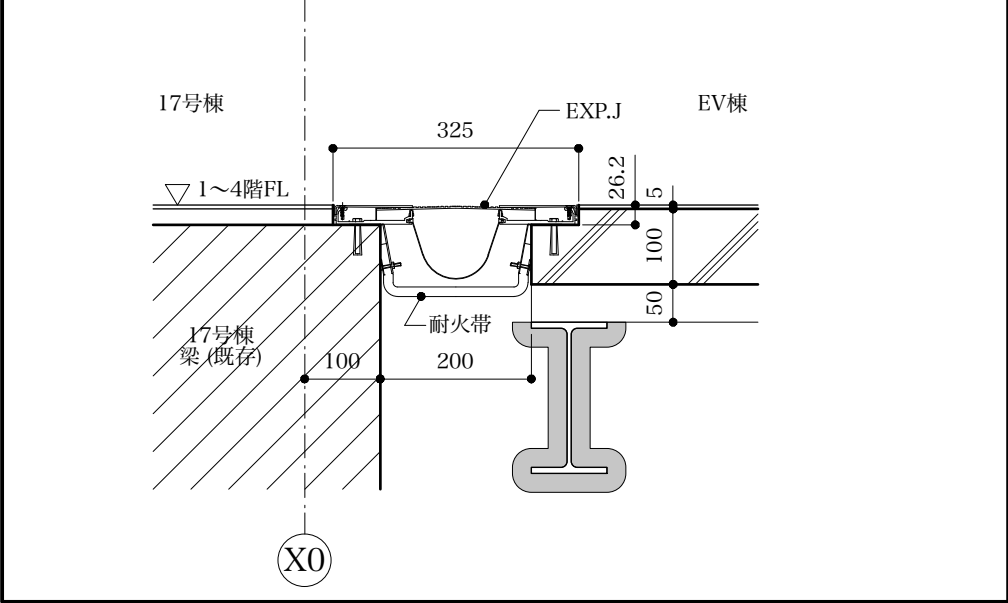
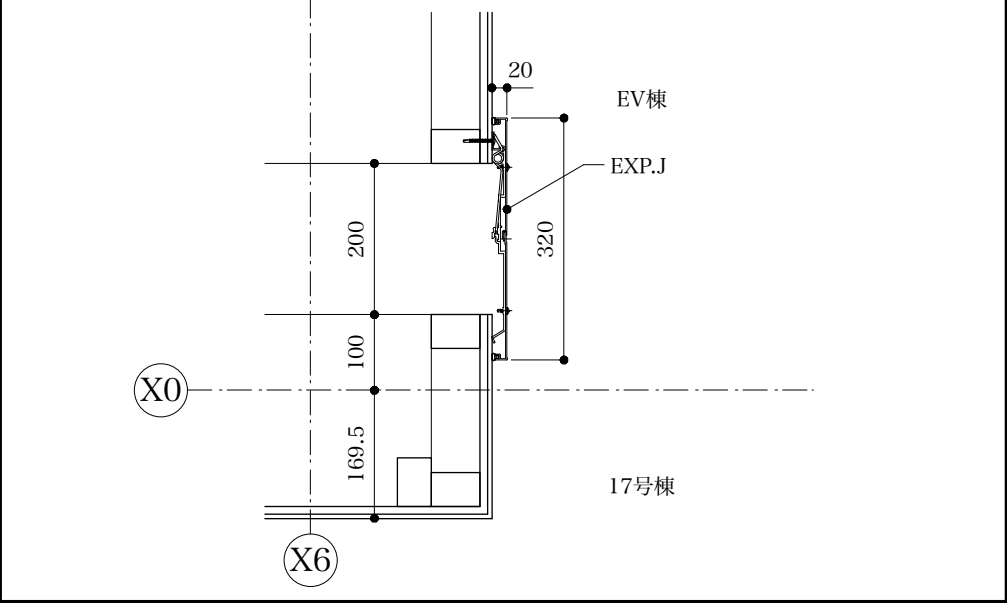
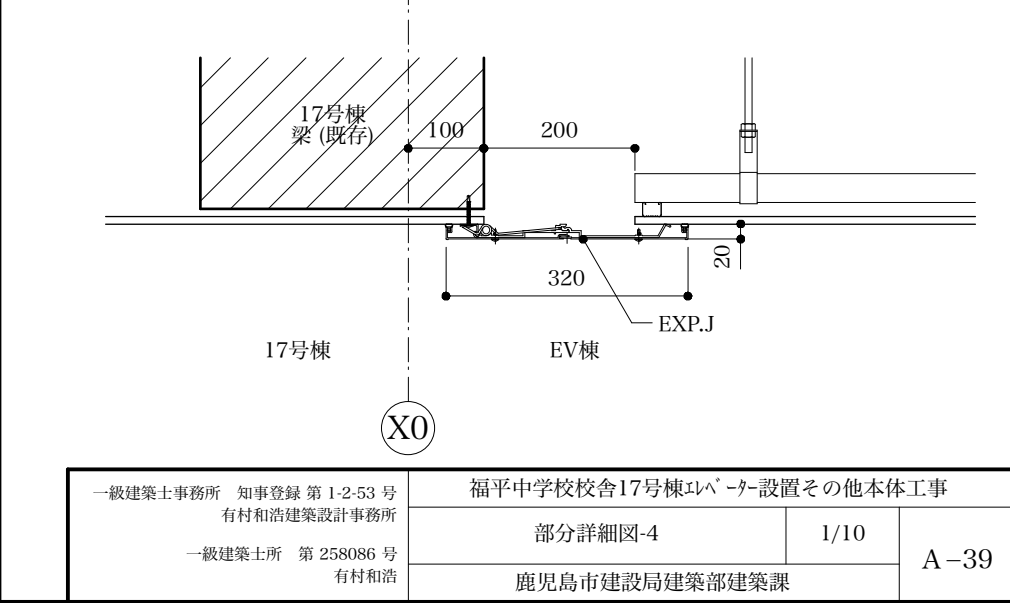
※突出しサイン



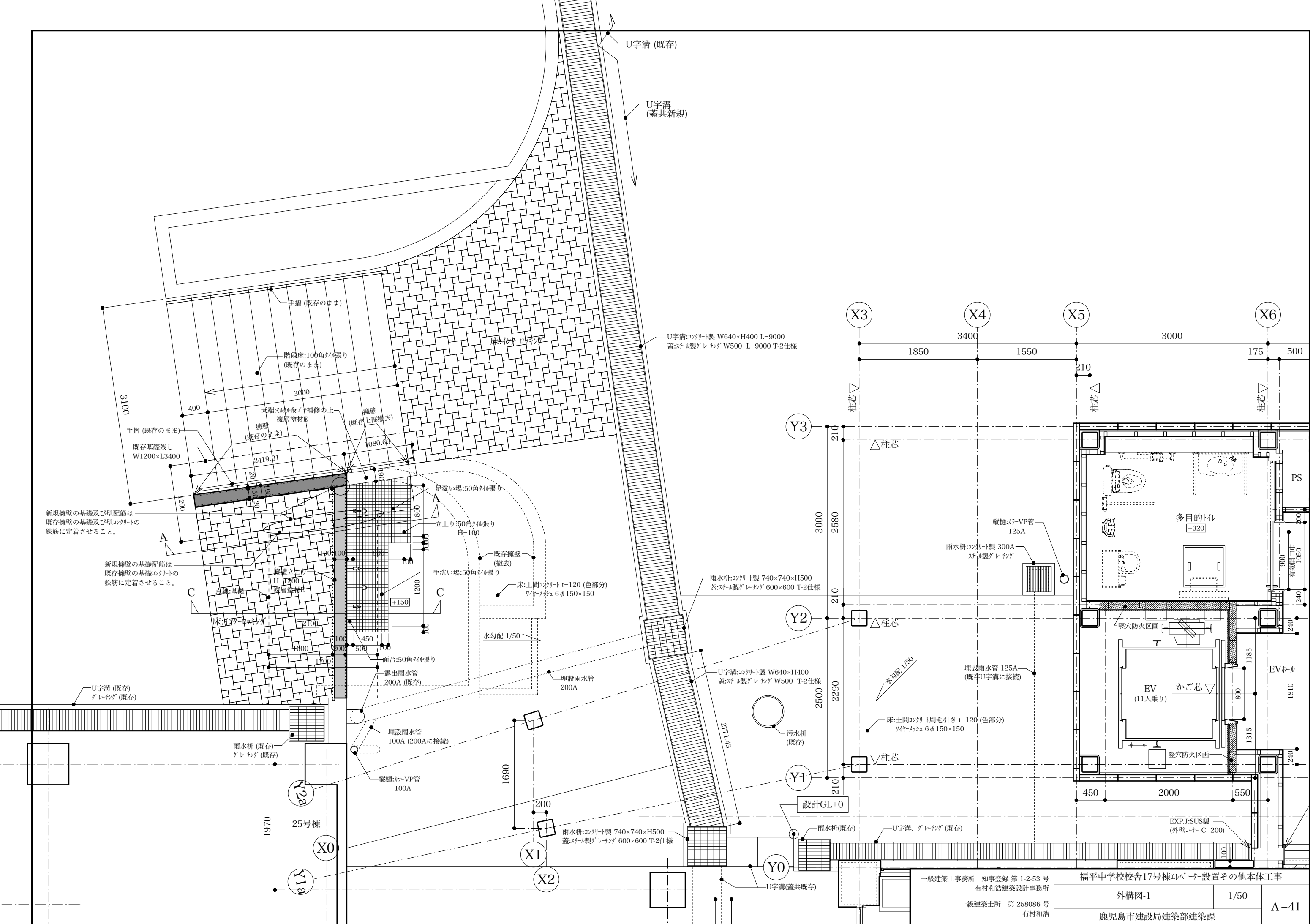
※シールサイン (パリアフリートイレ片引戸に貼付け)

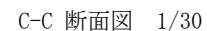
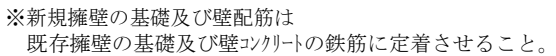
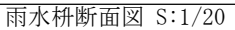
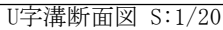


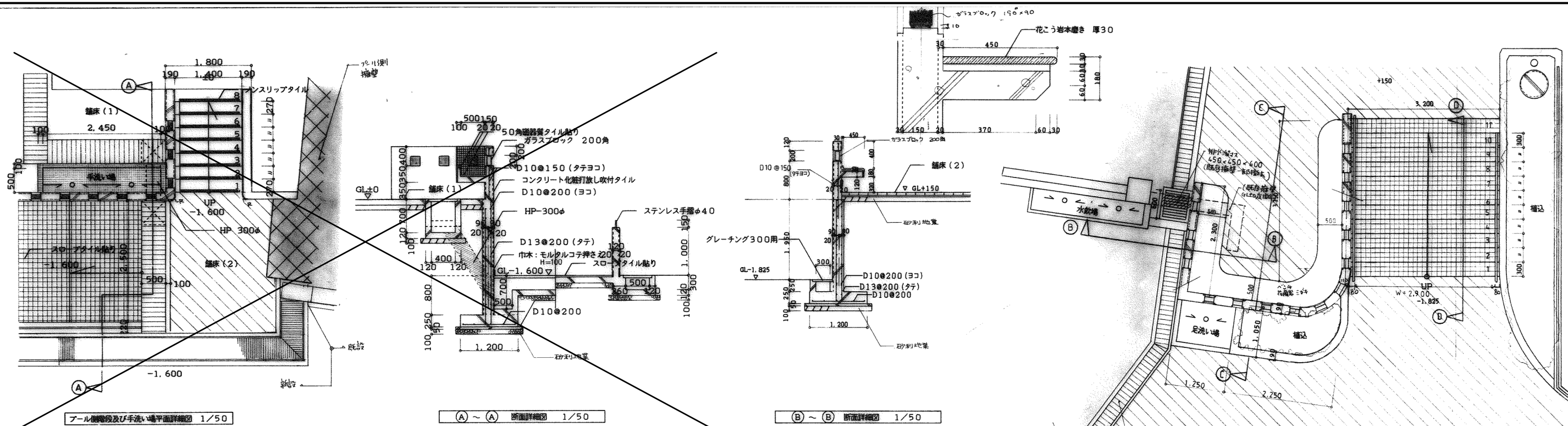


<p>E-1：EV棟-17号棟 EXP.J：アルミ製（屋根-屋根） C=200 耐火仕様 S:1/10</p> 	<p>E-2：渡り廊下棟-25号棟 EXP.J：アルミ製（屋根-外壁） C=200 S:1/10</p> 	<p>E-3：EV棟-渡り廊下棟 EXP.J：アルミ製（屋根-外壁） C=200 S:1/10</p> 
<p>E-4：渡り廊下棟-25号棟 EXP.J：SUS製（床-床） C=200 S:1/10</p> 	<p>E-5：EV棟-渡り廊下棟 EXP.J：SUS製（床-床） C=200 S:1/10</p> 	<p>E-6：EV棟-17号棟 EXP.J：アルミ製（外壁-外壁） C=200 耐火仕様 S:1/10</p> 
<p>E-7：EV棟-17号棟 EXP.J：SUS製（床-床） C=200 耐火仕様 S:1/10</p> 	<p>E-8：EV棟-17号棟 EXP.J：アルミ製（内壁-内壁） C=200 S:1/10</p> 	<p>E-9：EV棟-17号棟 EXP.J：アルミ製（天井-天井） C=200 S:1/10</p> 

ALCパネル詳細図 (コーナー部) S=1/10	ALCパネル詳細図 (立上り部分) S=1/10	ALCパネル詳細図 (段積み部分/2階・4階) S=1/10	ALCパネル詳細図 (段積み部分/3階) S=1/10
参考図	参考図	参考図	参考図
ALCパネル詳細図 (パラペット部分) S=1/10	ALCパネル詳細図 (開口部廻り) S=1/10	北側出入口門柱詳細図 S=1/30	
参考図	参考図	※コンクリート製門柱：撤去処分後新設 ステンレス製門扉：取外し再取付	
		平面図	
		立面図	
		一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所	
		福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事	
		部分詳細図-5	1/10 1/30
		鹿児島市建設局建築部建築課	
		A-40	



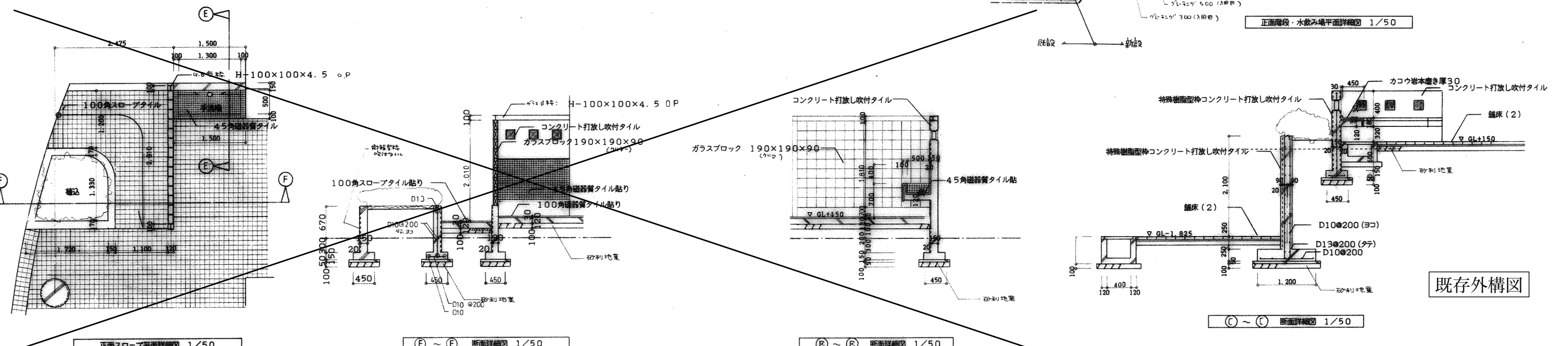




プール階段及び手洗い場平面詳細図 1/50

(A) ~ (A) 断面詳細図 1/50

(B) ~ (B) 断面詳細図 1/50



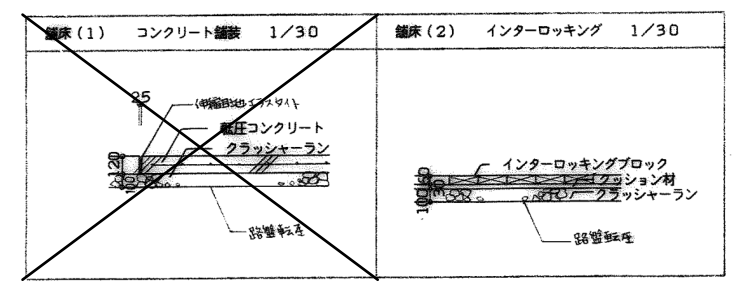
正面スロープ平面詳細図 1/50

(E) ~ (E) 断面詳細図 1/50

(F) ~ (F) 断面詳細図 1/50

(G) ~ (G) 断面詳細図 1/50

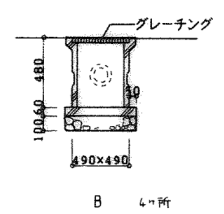
既存外構図



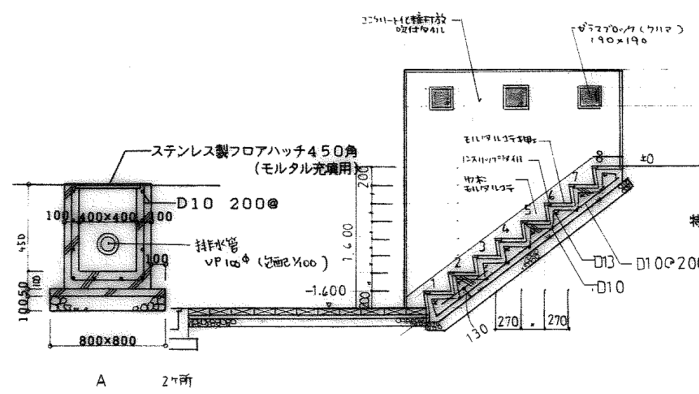
舗床(1) コンクリート舗床 1/30

舗床(2) インターロッキング 1/30

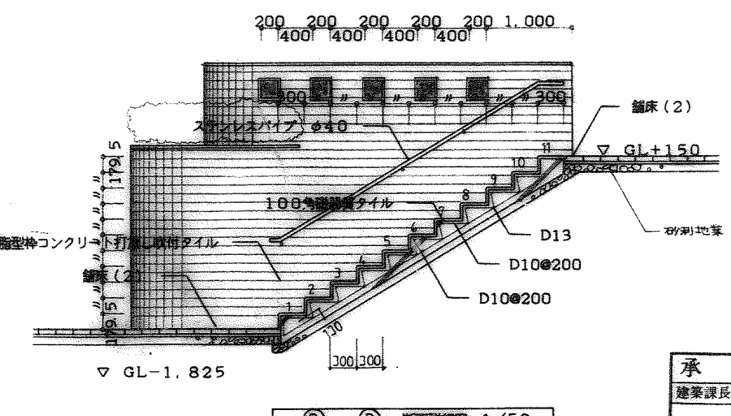
雨水マス 1/30



B 4ヶ所



A 2ヶ所



(D) ~ (D) 断面詳細図 1/50

承認	
建築課長	係長 係員

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	01号機
	機種名称	機械室レスエレベーター
基本仕様	機種形名	P11-CO
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ（内法間口）	1400mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm
	かご室内法高さ	2300mm
	出入口方式	二方向出入口（1ドア2ゲート）
	正面側停止数	4停止（M1，M2，M3，M4階）
	背面側停止数	4停止（1-4階）
その他基本仕様	動力用電源	AC3φ-210V-60Hz
	照明用電源	AC1φ-100V-60Hz
	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	戸閉走行保護装置	あり
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版
	数居間隔	10mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	乗場視覚障がい者用注意看板（追加分）	7枚
	地震時管制運転方式	P波＋S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご呼び取消機能	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠未広扉板なし 130mm～350mm ステンレスヘアライン（1，M1，2，M2，3，M3，4，M4階）
	乗場戸	銅板塗装（メーカー標準色）（1，M1，2，M2，3，M3，4，M4階）
	乗場数居	ステンレス製（1，M1，2，M2，3，M3，4，M4階）
	乗場インジケーター	一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1，M1，2，M2，3，M3，4，M4階）
	乗場インジケーター一体形ボタン	αβγδ（YU+03C633・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1,M1,2,M2,3,M3,4,M4階）
	乗場インジ運行表示灯1	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン一体形 ステンレスヘアライン（1，M1，2，M2，3，M3，4，M4階）
	車いす専用乗場ボタン	αβγδ（YU+03C633・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1,M1,2,M2,3,M3,4,M4階）
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込
かご室仕様	天井	スタンダード：フラット（白色） 天井面材：銅板塗装（メーカー標準色）
	側面壁	化粧銅板
	袖壁	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧銅板
	かご室戸	化粧銅板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
	かご室数居	ステンレス製 2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（YU+03C633・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（10、1インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英／中韓切替）、緊急時（日英中韓）
	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットLED（橙色）
その他仕様	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（YU+03C633・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	脱臭機能付ウイルス制御装置付ファン（ウイルス・菌・花粉抑制、脱臭、PM2.5集塵機能）
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）
	かご室鏡	上部平面鏡
	キックプレート	ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
	床保護マット	あり
	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸センサー付き）
	自動戸閉促進・乗場前検知挟まれ防止	あり
	遮煙機能	大臣認定品 2枚戸両引き用（1，M1，2，M2階）（認定番号 CAS-1247（2））
	点字名板取付方法	接着
	おもひ非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	冠水時管制運転	あり
その他仕様	インターホン型式	6V1局
	サービス切放し方式（一時解除付き）	開戸内スイッチ式（モード別設定）（8箇所）
	乗場呼び一時解除	キースイッチ式（乗場インジケーター設置）エレベーター手配（8箇所）
	戸閉延長ボタン	ステンレスクリックボタン（□32・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス
	かご室音響	かご室スピーカー
	到着予報チャイム	二連音各階取付（方向識別あり）
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品） 到着予報チャイム対応用（M1，2，M2，3，M3，4，M4階）
	レール支持方式	1フロア1ブラケット
	煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付
	揚重ビーム手配	エレベーター手配（施工後撤去あり）
	仮設動力電源	1式

No.01号機

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は5cm 辺り360Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 鉄骨構造階の数居取付材設置工事（数居への作用荷重に対して、たわみは1mm以下となる部材を設置すること）
- 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事
- 各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器揚重用のフック又はビームの設置工事（ kN）／台
- 通過階がある場合の非常数出口設置工事（かご数居先端から125mm以下）
- ビット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- ビット床下部使用の場合の建築対策工事
- ビットが深い場合の埋め戻し・浅い場合ははつり工事
- 段違いビット時のビット内保護柵工事（必要の場合）
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝播しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（200mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付けする

- その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（緊ぎ込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×10本）／台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
- 建設設備運動に必要な接点供給工事
- ビット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
・5C-2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合3線式とすること）
- 昇降路の換気設備工事（昇降路内温度40℃および昇降路温度上昇7℃を超える場合、換気設備が必要になります）
発熱量 エレベーター駆動部8801W／台
＋エアコン（－WV／台）
- 監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

仮設工事関係

つぎの事項を、弊社で用意・対応する場合は別途見積となります

- 据付工事用現場詰所および材料置場
- 据付工事用および試運転調整用電力、セメント、小石等
- 据付工事用の仮設電源
（本設電源と同じ電源仕様にて支給願います）
- 重量物の搬入に支障のない通路の確保
- 重量物の搬入横引き距離30m超
- エレベーターシャフトが隣接する場合の
落下物防止区画対策・安全対策（ネット等）
- 安全柵の先行取り付け
＊着工前、先行で取り付けた安全柵の管理も含む
- 展望用エレベーターの場合の施工時のガラス部分養生

エレベーターの工事使用に係る件

- エレベーターを工事用に使用される場合は、別途契約が必要です

工事関連事項

- 現場検査立会は、【完了検査】【引渡（施主）検査】の2回と致します
- 乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等、標準施工手順と異なる施工は本工事には含みません
- 施工写真撮影は本工事に含みません

注意事項

- 昇降路間口・奥行寸法は、昇降路全域（ビット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm 以上のこと
- 電源電圧の変動は＋5％～－10％以内、電圧不平衡率5％以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
（1）昇降路内の温度は－5℃～40℃以内、湿度は月平均90％・日平均95％未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
（2）金属を損耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと
①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化水素ガス、アンモニアガスおよび
海岸地区における潮風
※昇降路標準環境の基準例
硫化水素ガス・・・H2S＝0.005〔ppm〕以下
亜硫酸ガス・・・SO2＝0.01〔ppm〕以下
塩化水素ガス・・・HC1＝0.05〔ppm〕以下
塩素ガス・・・C12＝0.005〔ppm〕以下
アンモニアガスNH3＝0.1〔ppm〕以下
海岸地区における潮風YU+2026海岸より2km以上の地区（ブルサイドの場合は上記塩素ガスC12基準値以下）
※海岸より2km未満、ブルサイドの場合は昇降路内に潮風・ブル方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること
②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
（3）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと
電磁波の電界強度が10V/m以下の環境とすること
（4）原則、昇降路の設置場所は標高1000m以下の高さとすること
- （1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備により外部から風雨が侵入しないこと
（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、屋外又は、屋内ガラス越しから乗場及び駆動・制御装置（制御盤、秤装置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は250kg 以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（1）エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平12建告1402号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする必要があります
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア装置取付に支障が無いが、施工範囲と厚みを昇降機担当へ連絡し問題ないことを確認ください
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行うこと。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
- 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110,2130、JIS C-4034-1
制御盤：JEM1021,1460
尚、電動機の温度上昇試験
負荷特性試験は型式試験結果です

車椅子仕様

- かご専用操作盤（正・副2面取付）※車椅子マーク付
- かご内鏡
- かご内手摺：両側壁2方
- 乗場専用押ボタン（各階）※車椅子マーク付
- かごの戸光電装置
- 戸開放時間延長（10秒）
- 戸閉速度制御
- 床合わせ補正装置

視覚障害者仕様

- 各階乗場押ボタンに点字名板貼付
- かご操作盤に点字名板貼付
- 戸開放時間延長
- オートアナウンス装置

乗場遮煙ドア設置上の条件

- 乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
- 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧a接点，接点電圧DC24V）

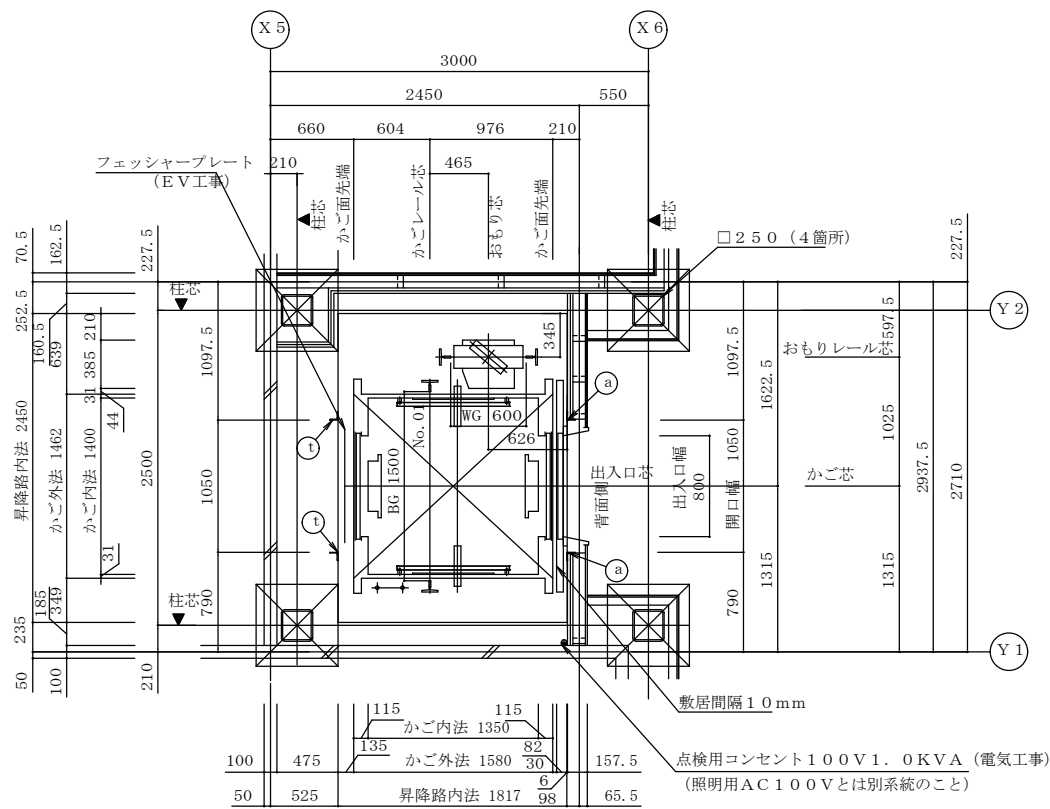
外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理人室等に設置する場合は、 24時間管理人が常駐する必要がある。
（建築基準法施行令第129条の10第3項第三号）
もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。
1. インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
2. 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。

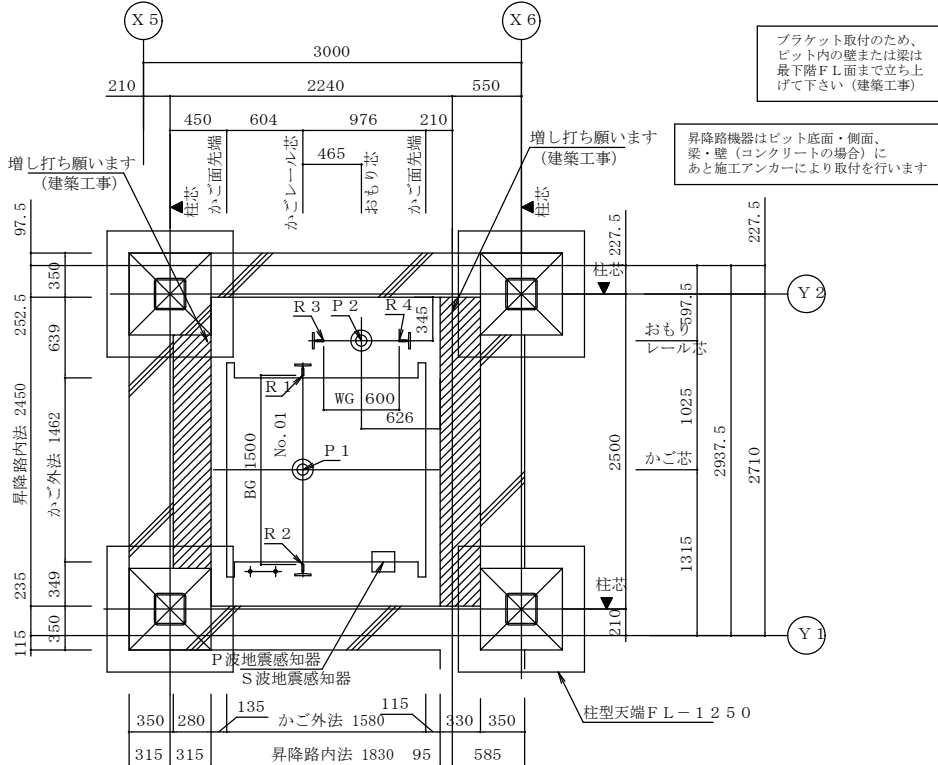
- かごの内装デザイン等が別途工事の場合、品質保証（変色、はがれ、劣化等の外観変化）対象外となります
また、昇降機保守対象外となります材質、構造等は以下を順守のこと
材質：不燃又は難燃認定品
構造：装飾品（鏡等含む）には、エレベーター非常止め動作時または緩衝器衝突時は4G（縦方向）、地震時は1G（横方向）相当の加速度が発生する可能性があるためそれに耐え、かつ接着固定による劣化を考慮した取付構造とすること
照度：かごの床面で50ルクス（乗用、殺合用以外にあっては25ルクス）以上の照度とすること
建築用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります
・かご照明の自動休止機能により、照明のON／OFF回数が多い
・かごの昇降による振動がある

参考図

一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所 一級建築士所 第 258086 号 有村和浩	福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事		
	エレベーター図 -1	—	A-44
	鹿児島市建設局建築部建築課		



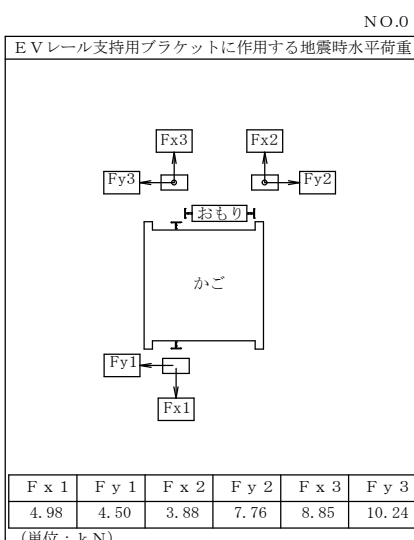
昇降路平面図 (1/60)
(1階)



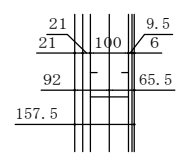
昇降路平面図 (1/60)
(ピット)

レール下端部荷重 (長期荷重)				ピット荷重 (短期荷重)	
R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)	P 1 (kN)	P 2 (kN)
5.9	25.9	38.8	28.9	75.2	62.9

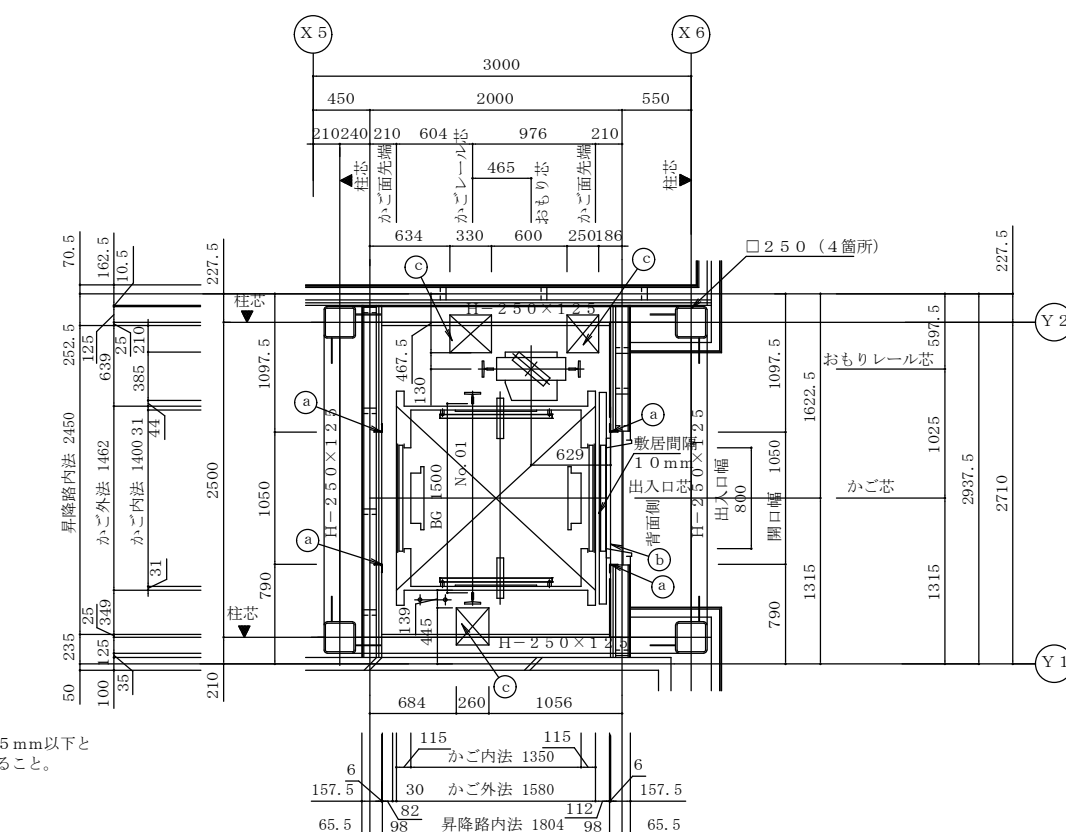
部材記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事



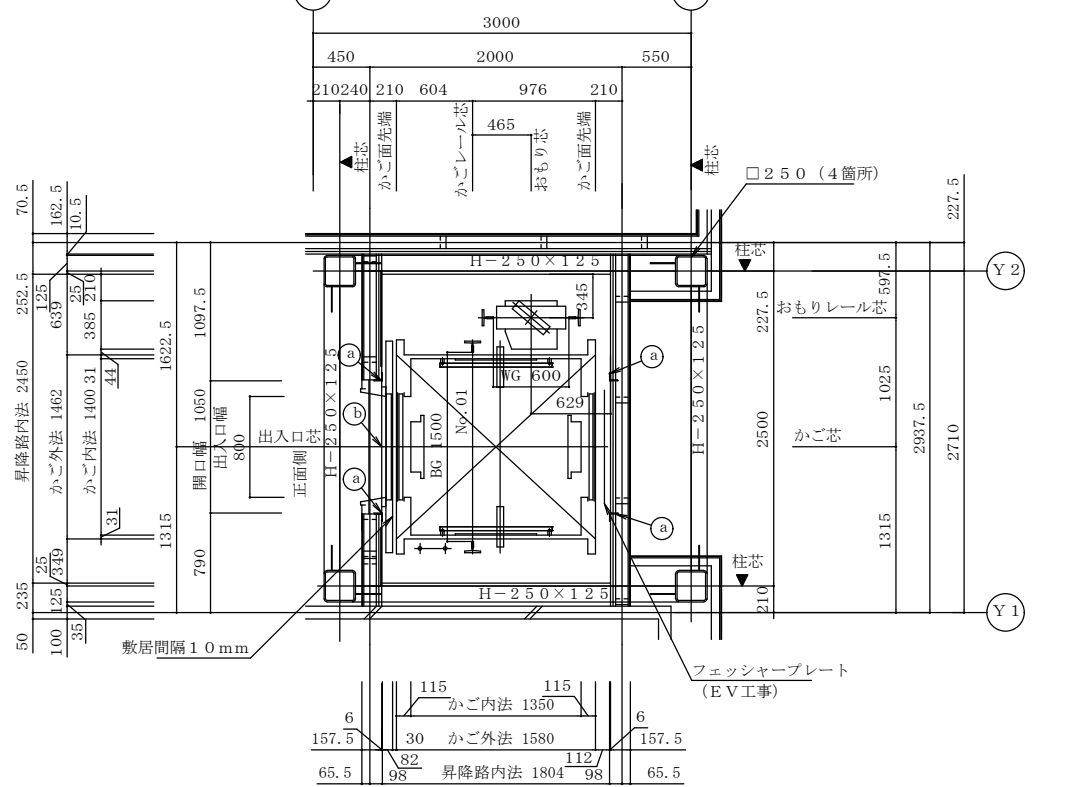
注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。



内壁詳細 (1/10)

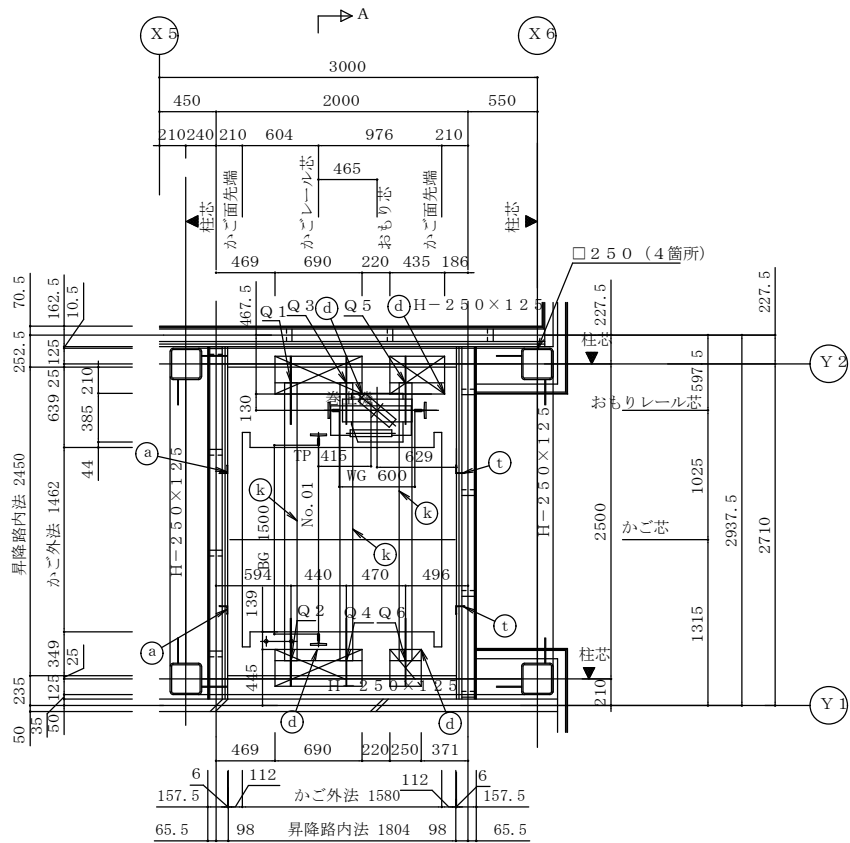


昇降路平面図 (1/60)
(2, 3, 4階)

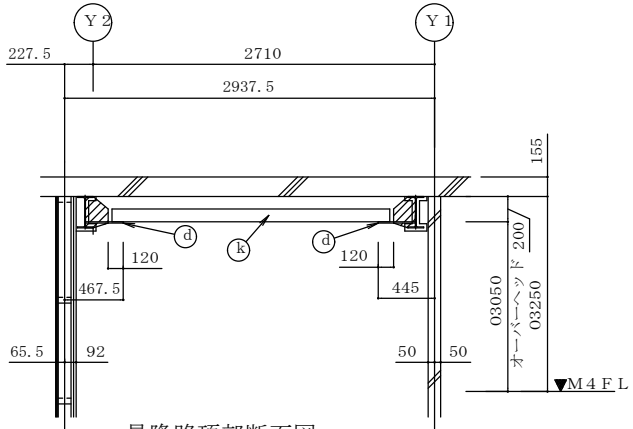


昇降路平面図 (1/60)
(M1, M2, M3階)

参考図



昇降路断面図(1／30)
断面A-A



昇降路断面図(1／30)
断面A-A

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100×10	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー (M4FL+1040ファスナー構造体より吊り下げ)	PL-t12	建築工事
d	揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム (据付後撤去)	H-100×100×6×8	E V 工事
t	フェッシャープレート取付材	L-65×65×6	建築工事

揚重ビームに掛かる荷重 N o . 0 1

Q 1 (k N)	Q 2 (k N)	Q 3 (k N)	Q 4 (k N)	Q 5 (k N)	Q 6 (k N)
5. 0	1. 0	8. 0	1 1. 0	1 2. 0	1 1. 0

Q 1 ～ Q 6 は E V 据付時に作用する

動力電源設備 (C V T 電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側 N F 容量	感度電流値 (＊) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
0 1	AC 3 φ 200 V 6 0 H z	3. 8 k W	4 k V A	4 0 A T	1 0 0 m A 以上 0. 2 秒以上	8 2 m まで 8 m m ² 1 4 2 m まで 1 4 m m ² 2 1 6 m まで 2 2 m m ²	3. 5 m m ²

(＊) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

照明用電源設備 (C V D 電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	照明電源容量	電源側 N F 容量	電線サイズ	接地線サイズ
0 1	AC 1 φ 100 V 6 0 H z	1 k V A	2 0 A T	4 3 m まで 8 m m ² 7 6 m まで 1 4 m m ² 1 1 8 m まで 2 2 m m ²	2. 0 m m ²

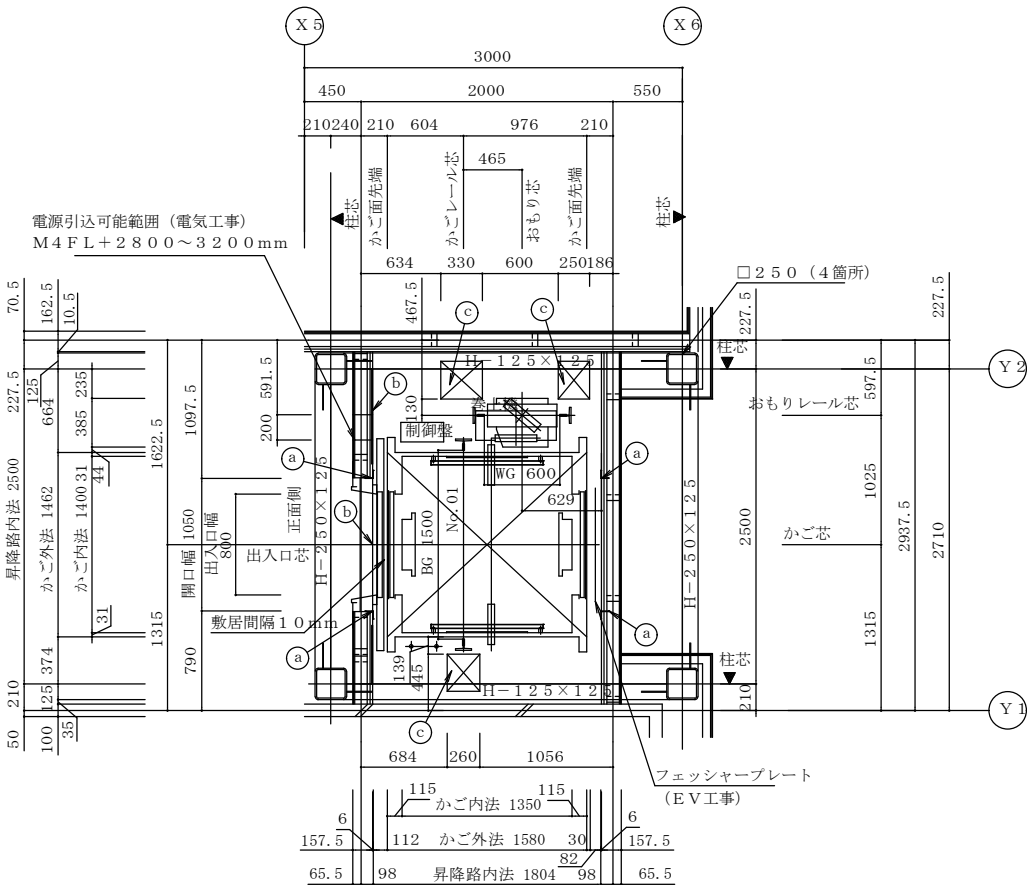
高調波対策 (高調波流出電流計算値)

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P i (kVA)	回路分類 細分 N o .	6 バルス 換算係数 (K i)	6 バルス等価 容量 [K i × P i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I n (%)							
									5 次	7 次	11 次	13 次	17 次	19 次	23 次	25 次
○ ノイズフィルタのみ (標準)	0 1 号機 機械室レスエレベーター (750kg-45m/min)	4. 8	1	4. 8	31	3. 4	16. 2	25	65	41	8. 5	7. 7	4. 3	3. 1	2. 6	1. 8
DC リアクトル追加 (K i = 1. 8 相当)					33	1. 8	8. 6	25	30	13	8. 4	5	4. 7	3. 2	3	2. 2

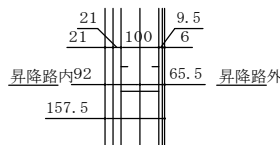
高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

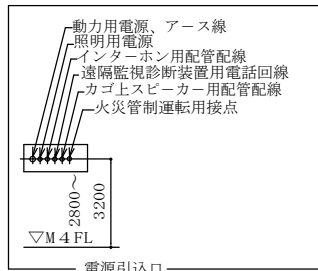
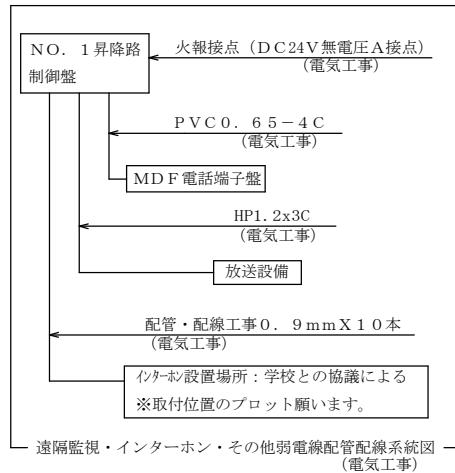
$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$



昇降路断面図(1／60)
(M 4 階)
(M 4 階+1 0 4 0 : ファスナー取付位置)



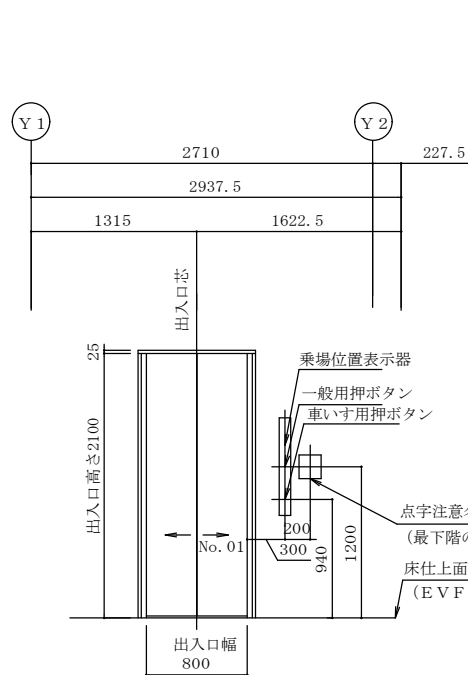
昇降路断面図(1／60)
(M 4 階)
(M 4 階+1 0 4 0 : ファスナー取付位置)



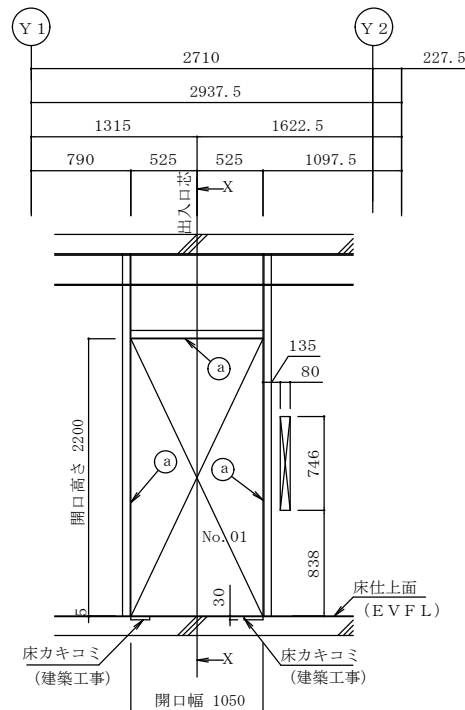
電源引込み口 (M 4 F L + 2 8 0 0 m m ～ 3 2 0 0 m m)
動力用 AC 3 φ - 2 1 0 V - 6 0 H z
照明用 AC 1 φ - 1 0 0 V - 6 0 H z
D 種接地工事
電源線引出し長さ 7 0 0 0 m m
(電気工事)

参考図

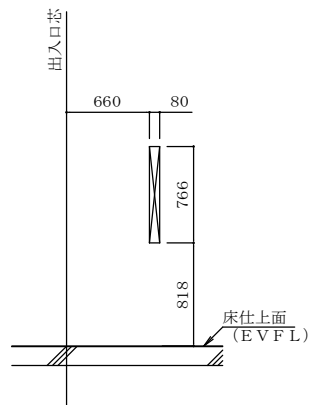
一級建築士事務所 知事登録 第 1-2-53 号 有村和浩建築設計事務所 一級建築士 第 258086 号 有村和浩	福平中学校校舎17号棟エレベーター設置その他本体工事		
	エレベーター図 -3	—	
	鹿児島市建設局建築部建築課		A-46



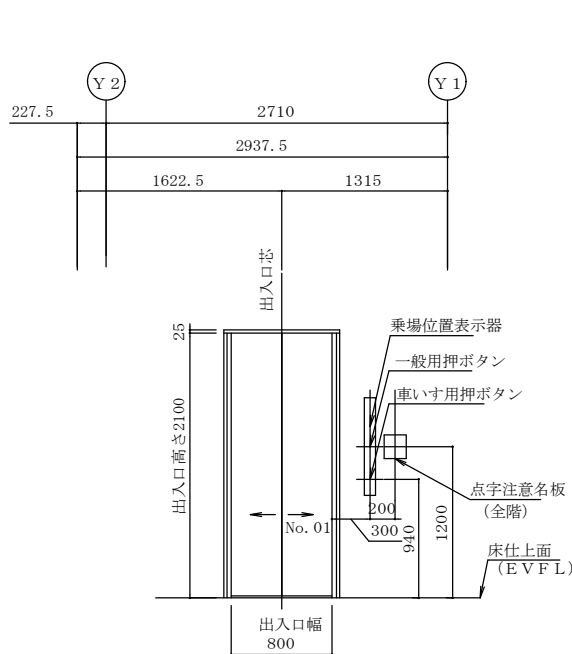
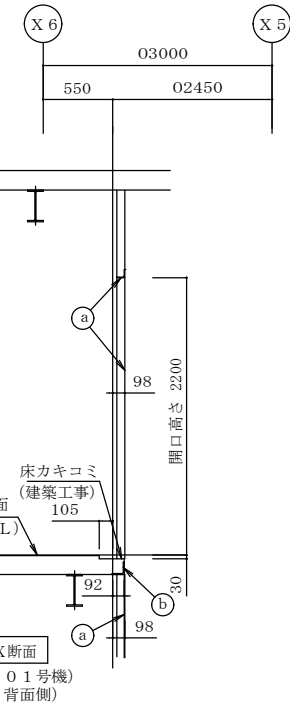
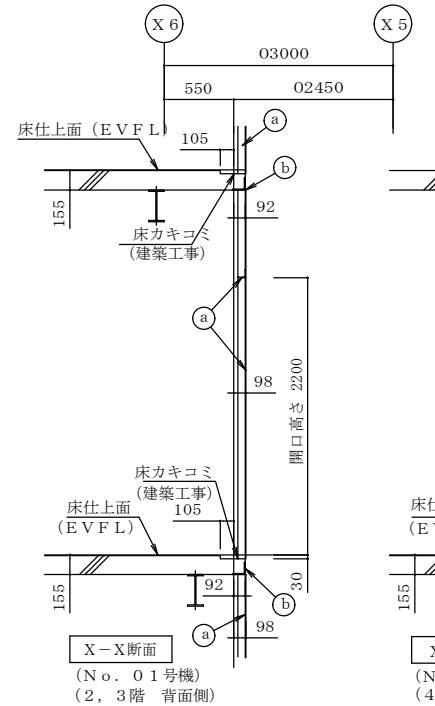
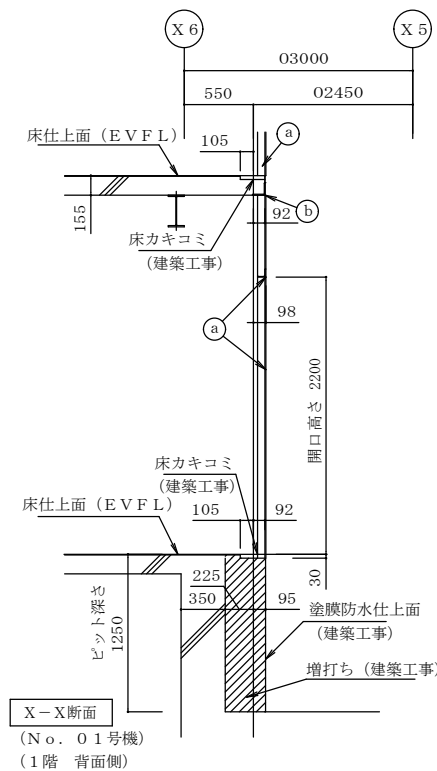
乗場正面図 (1/60)
(No. 01号機)
(1, 2, 3, 4階 背面側)



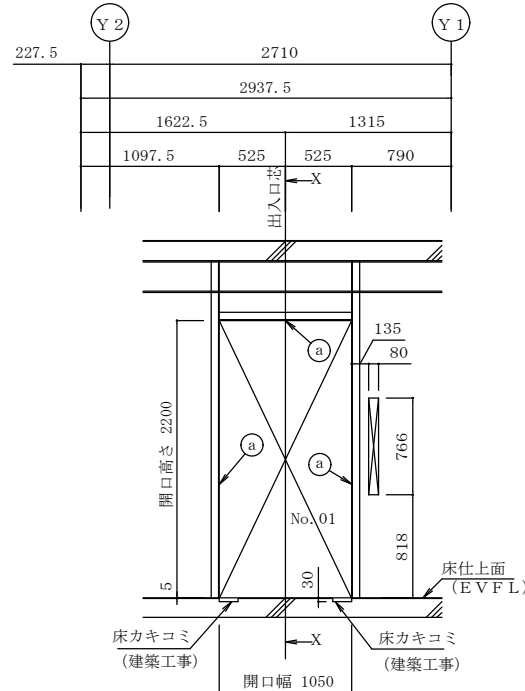
乗場穴あけ図 (1/60)
(No. 01号機)
(1, 2, 3, 4階 背面側)



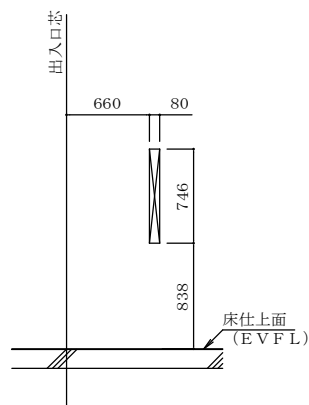
乗場インジ穴あけ図 (1/60)
(No. 01号機)
(2, 3, 4階 背面側)



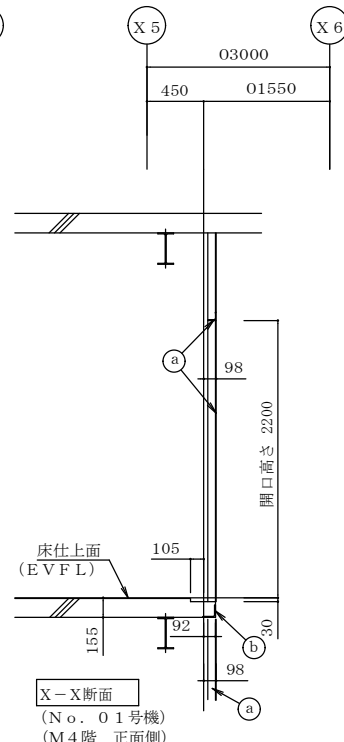
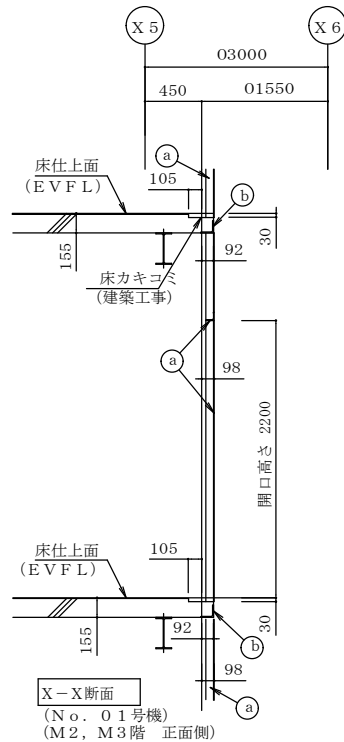
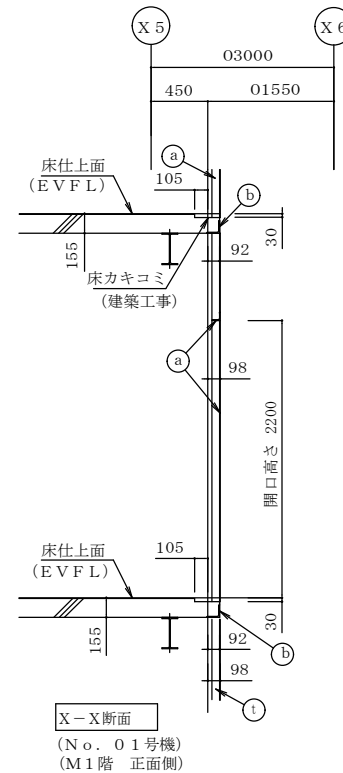
乗場正面図 (1/60)
(No. 01号機)
(M1, M2, M3, M4階 正面側)



乗場穴あけ図 (1/60)
(No. 01号機)
(M1, M2, M3, M4階 正面側)



乗場インジ穴あけ図 (1/60)
(No. 01号機)
(M4階 正面側)



部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100×10	建築工事
t	フェッシャープレート取付材	L-65×65×6	建築工事

参考図